brother

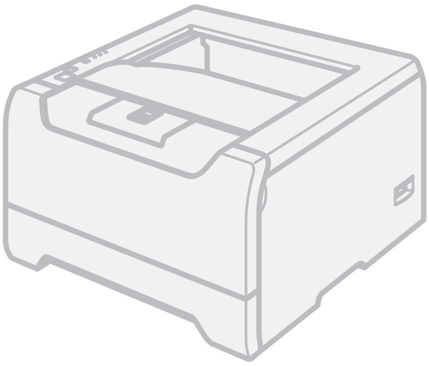
本マニュアルをよくお読みになって、製品をご利用ください。

レーザープリンタ

HL-5240/HL-5250DN

画面で見るマニュアル（ユーザーズガイド）

やりたいこと目次
やりたいこと別の目次があります。



困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 第５章「困ったときは」で調べる　5-1 ページ

2 サポート ブラザー　検索　ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる http://solutions.brother.co.jp/

オンラインユーザー登録 ▶ https://regist.brother.jp/

Version 7

マニュアルのご案内

本機を正しくご使用いただくため、また幅広く活用していただくため、次のマニュアルを用意しています。
本機をご使用になる前に必ずお読みください。

かんたん設置ガイド

プリンタの設置、プリンタドライバやソフトウェアのインストール方法など、プリンタを使えるようにするための準備について説明しています。
本マニュアルをお読みになる前に必ずお読みください。

画面で見るマニュアル（ユーザーズガイド）

プリンタの基本的な機能の説明、トレイや用紙ごとの印刷方法、オプションの追加やプリンタのメンテナンスについて説明しています。
また、紙づまりの解決方法などのトラブルシューティングも記載していますので、トラブルの原因や対処方法を調べたいときは、「困ったときは」P.5-1 をお読みください。

トナーカートリッジとドラムユニットの回収リサイクルのご案内

http://www.brother.co.jp/product/printer/recycle/index.htm

ブラザーでは環境保護に対する取り組みの一環としてトナーカートリッジとドラムユニットのリサイクルに取り組んでおります。使い終わりましたブラザー製トナー/ ドラムがございましたら回収にご協力お願い申し上げます。詳しくは、ホームページをご参照ください。

物質エミッションの放散に関する認定基準について

粉塵、オゾン、スチレンの放散については、エコマーク No.122「プリンタ Version2.0」の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。
（トナーは本製品用に推奨しております TN-35J/37J を使用し、白黒印刷を行った場合について、試験方法：JBMS-66 に基づき試験を実施しました。）
オゾン：0.02 mg/m^3 以下　粉塵：0.075 mg/m^3 以下　スチレン：0.07 mg/m^3 以下

VCCI 規格

この機器は、情報処理設置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく B 情報技術機器です。この機器は、家庭環境で使用することを目的としていますが、ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
ユーザーズガイドにしたがって正しい取り扱いをしてください。

レーザーに関する安全性

本製品は、米国において、保健および安全に関する放射線規制法（1968 年制定）にしたがった米国厚生省（DHHS）施行基準で、クラス Ⅰ レーザー製品であることが証明されており、危険なレーザー放射のないことが確認されています。
製品内部で発生する放射は保護ケースと外側カバーによって完全に保護されており、ユーザーが操作しているときに、レーザー光が製品から漏れることはありません。

警告

（本ガイドで指示されている以外の）機器の分解や改造はしないでください。レーザー光線への被ばくや、レーザー光漏れによる失明の恐れがあります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

電源高周波

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機および類似の機器の高周波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

安全にご使用いただくために

ご使用になる前の注意事項

このたびは本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
この画面で見るマニュアル（ユーザーズガイド）には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用いただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性がある内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	ご使用いただく上での注意事項、制限事項などの内容を示しています。

本マニュアルで使用している絵文字の意味は次のとおりです。

特定しない禁止事項	分解してはいけません	水に濡らしてはいけません	火気に近づけてはいけません
特定しない義務行為	電源プラグを抜いてください	アースをつないでください	
特定しない危険通告	感電の危険があります	火災の危険があります	火傷の危険があります

- 本マニュアルの内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お客様相談窓口 0120-590-382 へご連絡ください。
- 「かんたん設置ガイド」など、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店またはダイレクトクラブへ申し出ていただければ購入できます。

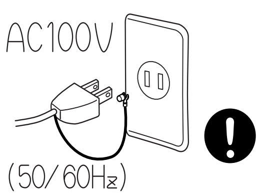
ご使用の前に、次の「警告・注意・お願い」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

電源について

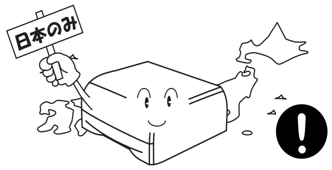
火災や感電、やけどの原因になります。

警告

電源は AC100V、50Hz または 60Hz でご使用ください。



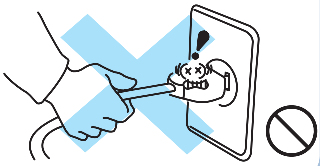
日本国内のみでご使用ください。海外ではご使用になれません。



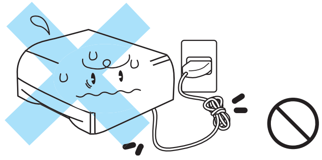
ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。

警告

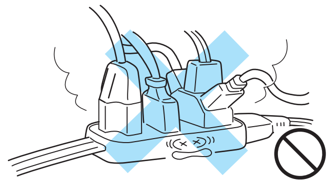
電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずにプラグの本体（金属でない部分）を持って抜いてください。



電源コードの上に重い物をのせたり、引っぱったり、束ねたりしないでください。



タコ足配線はしないでください。



電源プラグや AC アダプタは根元まで確実に差し込んでください。

傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。

アース線のない延長用コードを使用しないでください。保護動作が無効になります。

同梱されている電源コードは、本製品専用です。本製品以外に使用しないでください。また、同梱されている電源コード以外の電源コードを本製品に使用しないでください。

必ずアース線を接続してください

万一漏電した場合の感電防止や外部からの電圧（雷など）がかかったとき本機を守るため、アース線を接続してください。

アース線の接続は、必ず電源コードをコンセントにつなぐ前に行ってください。

また、アース線を外すときは、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いた後でアース線を外してください。

接続するところ

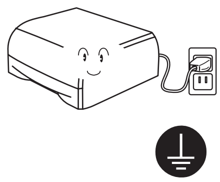
例）

・電源コンセントのアース端子
・銅片などを 65cm 以上、地中に埋めたもの
・接地工事（第 3 種）が行われているアース端子

絶対に接続してはいけないところ

例）

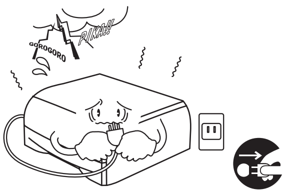
・電話専用アース線
・避雷針
・ガス管



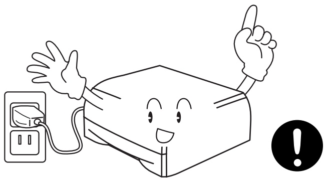
安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

注意

雷がはげしいときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

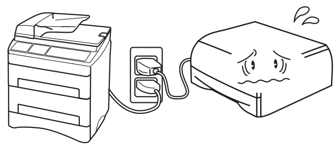


電源コードはコンセントに確実に差し込んでください。



お願い

電源コンセントの共用にはご注意ください。
コピー機などと同じ電源は避けてください。

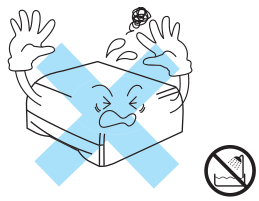


このような場所に置かないで

以下の場所には設置しないでください。故障や変形、火災の原因となります。

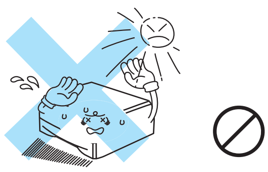
警告

湿度の高い場所
浴室や加湿器などのそばに置かないでください。

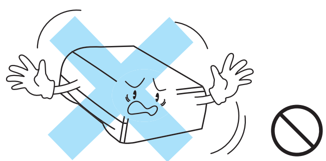


注意

温度の高い場所
直射日光の当たるところ、暖房設備などのそば



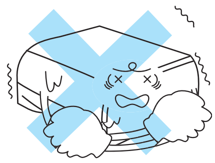
不安定な場所
ぐらついた台の上や傾いたところ



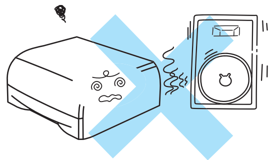
油飛びや湯気の当たる場所
調理台などのそば

! お願い

いちじるしく低温な場所
製氷倉庫など

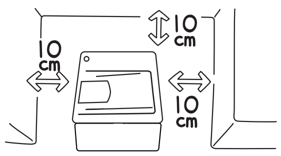


磁気の発生する場所
テレビ、ラジオ、スピーカー、こたつなど

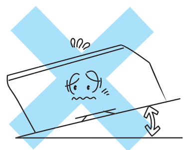


高温、多湿、低温の場所
本機をご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。
温度：10 ～ 32.5 ℃
湿度：20 ～ 80％
（結露なし）

壁のそば
本体を正しく使用し性能を維持するために設置スペースを確保してください。



傾いたところ
水平な机、台の上に設置してください。傾いたところに置くと正常に動作しない場合があります。



◎急激に温度が変化する場所
◎風が直接あたる場所
（クーラー、換気口など）
◎ホコリ、鉄粉や振動の多い場所
◎換気の悪い場所
◎揮発性可燃物やカーテンに近い場所
◎じゅうたんやカーペットの上
上記のようなところに置くと正常に動作しない場合があります。

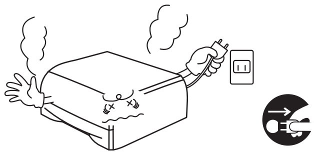
換気の悪い場所
換気の悪い部屋などで長時間使用したり、大量の印刷を行うと、オゾンなどの臭気が発生する恐れがあります。また、印刷動作中には、化学物質の放散があります。
快適な環境でご使用いただくために、換気や通風を十分に行うよう心がけてください。

もしもこんなときには

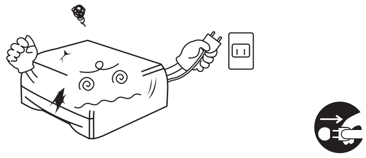
下記の状況でそのまま使用すると火災、感電の原因となります。必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

警告

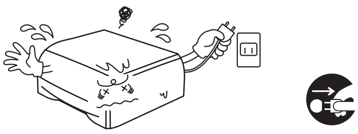
煙が出たり、異臭がしたとき
すぐに電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



本機を落としたり、破損したとき
電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。



内部に水が入ったとき
電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。



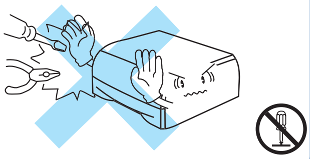
内部に異物が入ったとき
電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。

その他のご注意

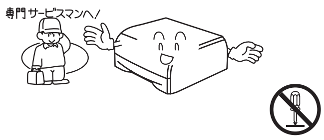
故障や火災、感電、けがの原因となります。

警告

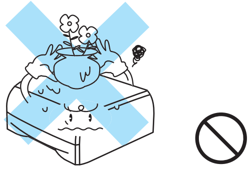
分解しないでください。
火災、感電の原因となります。



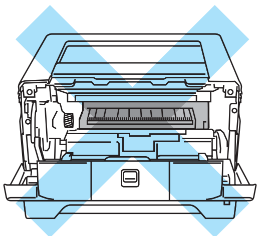
改造しないでください。
修理などはコールセンターにご相談ください。

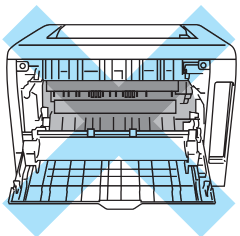


本機の上に水、薬品などを置かないでください。

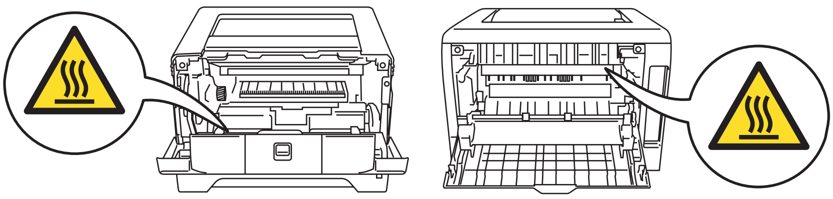


プリンタを使用した直後は、プリンタ内部がたいへん高温になっています。フロントカバーまたはバックカバーを開ける際には、下図のグレーの部分には絶対に手を触れないでください。

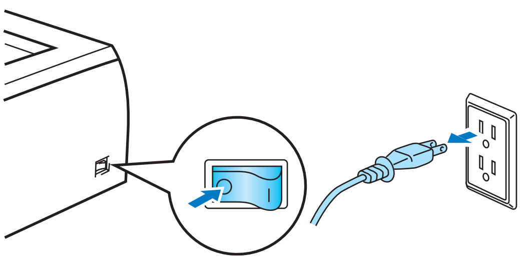




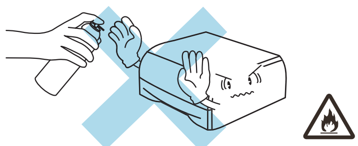
本機には下図のような警告ラベルが表示されています。警告ラベルの内容を十分に理解し、記載事項を守って作業を行ってください。また、警告ラベルがはがれたり、傷ついたりしないように十分に注意してください。



本機の内部には、電圧の高い箇所があります。本機を清掃するときは、必ず電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。



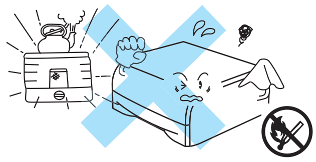
本機の近くで可燃性のスプレーなどは使用しないでください。火災、感電の原因になります。



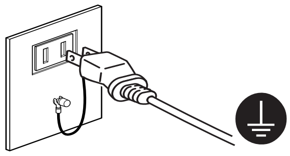
安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

注意

火気を近づけないでください。
故障や火災・感電の原因となります。



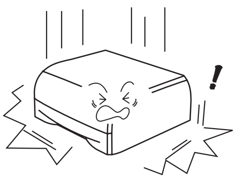
アース線について
万一漏電した場合の感電防止や外部から雷などの電圧がかかったときに本機を守るため、アース線を取り付けてください。



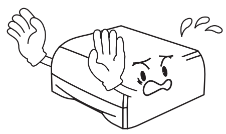
- クリーニングには水か中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンなどの揮発性有機溶剤を使用すると、本機の表面が損傷を受けます。
- アンモニアを含有するクリーニング材料を使用しないでください。プリンタ本体およびドラムユニットに損傷を与えます。

お願い

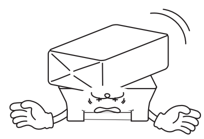
落下、衝撃を与えないでください。



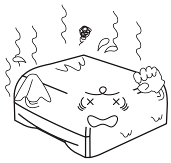
動作中に電源コードを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。



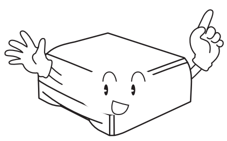
本機の上に物を置かないでください。



室内温度を急激に変えないでください。
装置内部が結露する恐れがあります。



指定以外の部品は使用しないでください。



本機に貼られているラベル類ははがさないでください。

お買い上げいただいた本製品を廃棄する際、事業所等でご使用の場合は、産業廃棄物処理業者に委託してください。一般家庭でご使用の場合は、お客様がお住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。なお、詳しくは各自治体にお問い合わせください。

トナーについて

健康障害や火災の原因になります。

警告

トナーカートリッジを無理に開けないでください。
トナーが漏れる恐れがあります。

トナーが漏れた場合は、ほうきで掃除するか、固く絞った布などで拭き取ってください。
掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内で紛じん発火し、爆発する恐れがあります。

トナーカートリッジは小さなお子様の手が届かない場所に保管してください。
万一、お子様がトナーを飲み込んでしまった場合は、すぐに医師の診断を受けてください。

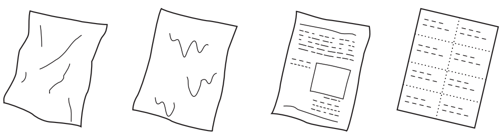
漏れたトナーを誤って吸引しないよう、また皮膚や目などに付着しないよう、注意してください。

- 衣服や皮膚に付着した場合
  石けんを使って水でよく洗い流してください。
- 吸引した場合
  新鮮な空気の場所へ移動し、多量の水でうがいをしてください。
  せきなどの症状があれば医師の診察を受けてください。
- 飲み込んだ場合
  口の中をよくすすぎ、大量の水を飲んで薄めてください。すみやかに医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合
  すぐに流水でよく洗ってください。刺激や痛みが残るようであれば、医師の診察を受けてください。

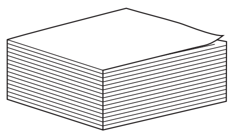
用紙について

お願い

使用する用紙にはご注意ください。
しわ、折れのある紙、湿っている紙、ミシン目の入った紙、印刷済みの紙、カールした紙などは使用しないでください。



保管は直射日光、高温、多湿を避けてください。



やりたいこと目次

やりたいこと目次

- 普通紙に印刷したい。 P.2-34
- 官製はがきに印刷したい。 P.2-47
- ラベル紙に印刷したい。 P.2-56
- 封筒に印刷したい。 P.2-52
- 複数ページを1枚にまとめて印刷したい。 P.2-68
- 両面に印刷したい。 P.2-59
- 用紙サイズを変えて拡大縮小印刷したい。 P.2-71
- 便利な機能を使いたい。 P.1-10

目　次

本マニュアルの読みかた

本マニュアルのレイアウトについて

参照ページです。
クリックすると、関連する情報が記載されているページに移動します。

大見出しです。

小見出しです。

注意項目です。

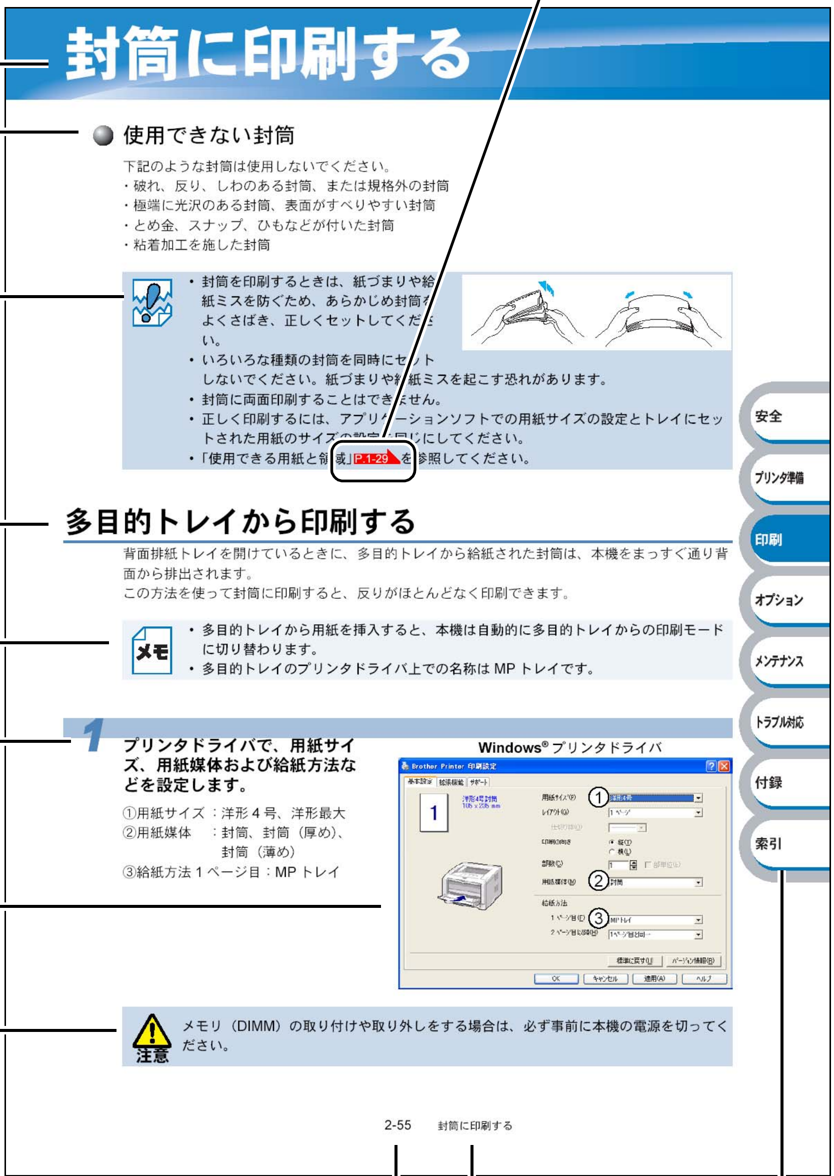
中見出しです。

メモです。

操作手順です。

操作手順を補足する手順画面やイラストです。

警告や注意です。ここに記載されている事項を遵守しない場合、製品の故障につながる恐れがあります。



封筒に印刷する

● 使用できない封筒

下記のような封筒は使用しないでください。
・破れ、反り、しわのある封筒、または規格外の封筒
・極端に光沢のある封筒、表面がすべりやすい封筒
・とめ金、スナップ、ひもなどが付いた封筒
・粘着加工を施した封筒

・封筒を印刷するときは、紙づまりや給紙ミスを防ぐため、あらかじめ封筒をよくさばき、正しくセットしてください。
・いろいろな種類の封筒を同時にセットしないでください。紙づまりや給紙ミスを起こす恐れがあります。
・封筒に両面印刷することはできません。
・正しく印刷するには、アプリケーションソフトでの用紙サイズの設定とトレイにセットされた用紙のサイズの設定を同じにしてください。
・「使用できる用紙と領域」P.1-29 を参照してください。

多目的トレイから印刷する

背面排紙トレイを開けているときに、多目的トレイから給紙された封筒は、本機をまっすぐ通り背面から排出されます。
この方法を使って封筒に印刷すると、反りがほとんどなく印刷できます。

メモ
・多目的トレイから用紙を挿入すると、本機は自動的に多目的トレイからの印刷モードに切り替わります。
・多目的トレイのプリンタドライバ上での名称は MP トレイです。

1 プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。

①用紙サイズ ：洋形４号、洋形最大
②用紙媒体 ：封筒、封筒（厚め）、封筒（薄め）
③給紙方法 1 ページ目：MP トレイ

Windows® プリンタドライバ

注意
メモリ（DIMM）の取り付けや取り外しをする場合は、必ず事前に本機の電源を切ってください。

2-55 封筒に印刷する

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
トラブル対応
付録
索引

ページ番号です。

大見出しを示します。

インデックスです。
現在の章を青色で示します。

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

本マニュアルで使われている記号やマーク・表記について

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

マークについて

	本機をご使用になるにあたって、厳守していただきたいことがらを説明しています。
	本機をご使用になるにあたって、注意していただきたいことがらを説明しています。
	本機の操作手順に関する補足情報を説明しています。

商標について

Brother のロゴはブラザー工業株式会社の登録商標です。
Windows 95 の正式名称は、Microsoft Windows 95 operating system です。
Windows 98 の正式名称は、Microsoft Windows 98 operating system です。
Windows 98SE の正式名称は、Microsoft Windows 98 Second Edition operating system です。
Windows 2000 Professional の正式名称は、Microsoft Windows 2000 Professional operating system です。（本文中では Windows 2000 と表記しています。）
Windows Me の正式名称は、Microsoft Windows Millennium Edition operating system です。
Windows NT Workstation 4.0 の正式名称は、Microsoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0 です。（本文中では Windows NT と表記しています。）
Windows XP の正式名称は、Microsoft Windows XP operating system です。
本文中では、OS 名称を略記しています。
Microsoft 、MS-DOS、Windows および Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Apple のロゴ、Macintosh、Mac OS は、アップルコンピュータ社の登録商標です。また TrueType は同社の商標です。
Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Adobe Reader、Photoshop および PostScript は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標です。
Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。
IBM は、IBM Corporation の商標です。
本マニュアルに記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

編集ならびに出版における通告

ブラザー工業株式会社は、本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

Adobe Reader 簡単な機能･便利な機能

本マニュアルをお読みになるときに、知っておくと便利な Adobe Reader の基本機能について説明します。

Adobe Reader の基本機能

	機能名称	説　明
①	印刷	開いている文書を印刷します。
②	ズームメニュー	ズームインツール / ズームアウトツール / ダイナミックズームツールを選択して、ズームメニューを切り替えることができます。クリックまたはドラッグして特定の範囲を選択して、文書の表示倍率を変更します。
③	実際の大きさ	文書の実際の大きさで表示します。
④	全体表示	ページ全体を表示できる大きさで、画面に表示します。
⑤	幅に合わせる	画面幅いっぱいに文書の横幅を合わせて表示します。
⑥	ズームアウト	クリックするごとに、文書を縮小表示します。
⑦	倍率ボックス	任意の倍率を数値入力して、文書を拡大 / 縮小表示します。▼をクリックして表示されたメニューから選択して、拡大 / 縮小表示することもできます。
⑧	ズームイン	クリックするごとに、文書を拡大表示します。
⑨	しおり	「ナビゲーションウィンドウ」を表示している場合、［しおり］タブでしおりを表示できます。階層表示されている見出しをクリックすると、該当ページに移動します。
⑩	最初のページ	開いている文書の最初のページを表示します。
⑪	前ページ	前ページを表示します。
⑫	ページ番号ボックス	“現在のページ / 総ページ”の形式で、現在何ページ目を表示しているかを示しています。表示したいページ番号を数値入力して、表示することもできます。
⑬	次ページ	次ページを表示します。
⑭	最後のページ	開いている文書の最後のページを表示します。
⑮	前の画面	ページを移動したり、表示倍率を切り替えたときなど、それまで見てきた文書表示を 1 操作単位で逆に戻ります。
⑯	次の画面	「⑮前の画面」で戻った文書の画面を 1 操作単位で次に進んで表示します。
⑰	ページレイアウト	クリックして、開いている文書のページレイアウト（単一ページ / 連続ページ / 連続見開きページ / 見開きページ）を切り替えます。

メモ

Adobe Reader 6.0 以降または Acrobat 5.0 以降をご使用の方は、画面上の PDF の線をなめらかにして見ることができます。下記の手順で操作してください。

Adobe Reader 6.0 の場合

① PDF を開きます。
② ツールバーの［編集］メニューから［環境設定］を選択します。
③ 画面左側の項目から［スムージング］を選択します。
④［スムージング］の「ラインアートのスムージング」チェックボックスをチェックします。
⑤［OK］をクリックします。

Acrobat Reader 5.0 の場合

① PDF を開きます。
② ツールバーの［編集］メニューから［環境設定］－［一般］を選択します。
③ 画面左側の項目から［表示］を選択します。
④［スムージング］の「ラインアートのスムージング」チェックボックスをチェックします。
⑤［OK］をクリックします。

第 1 章 プリンタをご使用になる前に

本製品の機能と特長

高速 24 枚 / 分の印刷速度

ハイスピードなプリンティングを実現する 24PPM（A4 サイズ）エンジンと、スムーズなデータ処理を実現する高速 RISC チップを搭載しています。
部数の多いドキュメント出力の場合や、複数の人が使用する状況、効率化が求められる現場でも、快適なプリントアウトを実現できます。

高品質なドキュメント作成

高解像度 1200dpi × 1200dpi※1 により、細かい文字もくっきりと、写真やイラストも美しくプリントアウトできます。
※ 1　解像度を 1200dpi に設定した時は、印字スピードは半分の速度になります。

大容量 250 枚のトレイ給紙

250 枚の普通紙がセット可能な用紙トレイを標準装備しています。さらにオプションのローワートレイユニット（LT-5300）（250 枚）をセカンドカセットとして最大 2 つまで装着することができます。
多目的トレイ（50 枚）と合わせて、最大 800 枚の給紙が可能です。

ランニングコストを節約する分離型カートリッジを採用

経済的な設計のトナーとドラムの分離型カートリッジを採用しています。トナーのみの交換ができるため無駄がなく、約 3,500 枚印刷可能な標準トナー（TN-35J）と約 7,000 枚印刷可能な大容量トナー（TN-37J）によって、それぞれ交換時 2.33 円／枚（TN-35J）、2 円／枚（TN-37J）という低ランニングコストを実現します。※2
また、手動両面印刷機能やプリンタドライバからオン／オフの選択ができるトナーセーブ機能で、さらに印刷コストを削減することができます。
※ 2　A4 普通紙に 5％印字比率で印刷した場合の数値です。
　　印刷するデータや用紙、環境によって異なる場合があります。
　　ランニングコストは税別表示で、用紙代、ドラムユニット代は含みません。
　　製品同梱のトナーは TN-35J（約 3,500 枚印刷可能）です。

Hi-Speed USB 2.0 / パラレルインターフェース標準装備

パラレルインターフェースに加え、データの高速通信が可能な Hi-Speed USB 2.0 にも対応しています。パソコンの電源が入ったままでも USB ケーブルの抜き差しが可能なため、簡単かつ便利にパソコンと接続できます。さらにインターフェース自動切替により、複数のパソコンでの共有も容易です。（USB ケーブルの対応 OS は Windows 98/Me/2000/XP です。）

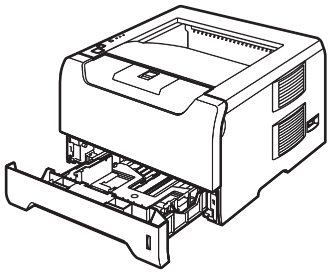
多様なネットワーク環境に対応（HL-5250DN）

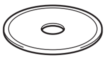
高速大容量転送を現実する 10BASE-T/100BASE-TX イーサネットをサポートし、Windows や Macintosh などさまざまなネットワーク環境に対応するネットワークボードを標準装備しています。
さらに Windows ではピアツーピア印刷にも対応しており、簡単にネットワーク印刷を現実できます。

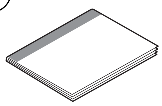
梱包内容の確認

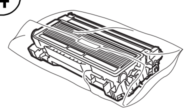
同梱物

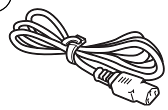
本機を箱から取り出したら、最初に以下の同梱物があることを確認してください。

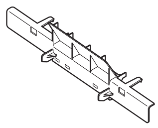
①


②


③


④


⑤


⑥


① プリンタ本体
② CD-ROM
③ かんたん設置ガイド
④ ドラムユニット（トナーカートリッジ含む）
⑤ 電源コード
⑥ はがき印刷サポート（使い方は、「官製はがきに印刷する」P.2-47 を参照してください。）

インターフェースケーブル

インターフェースケーブルは同梱されていません。
パソコンによっては USB ポートとパラレルポートの両方を備えているものがあります。ご使用になるインターフェースに適したケーブルをお近くの販売店でご購入ください。

USB ケーブルをご使用になる場合

- iMac のキーボードにある USB ポートには接続しないでください。
- 2 メートルを超える USB ケーブルは使用しないことをおすすめします。
- Windows 95 および Windows NT4.0 は USB をサポートしていません。
- パソコン本体の USB 端子に確実に接続してください。

パラレルケーブルをご使用になる場合

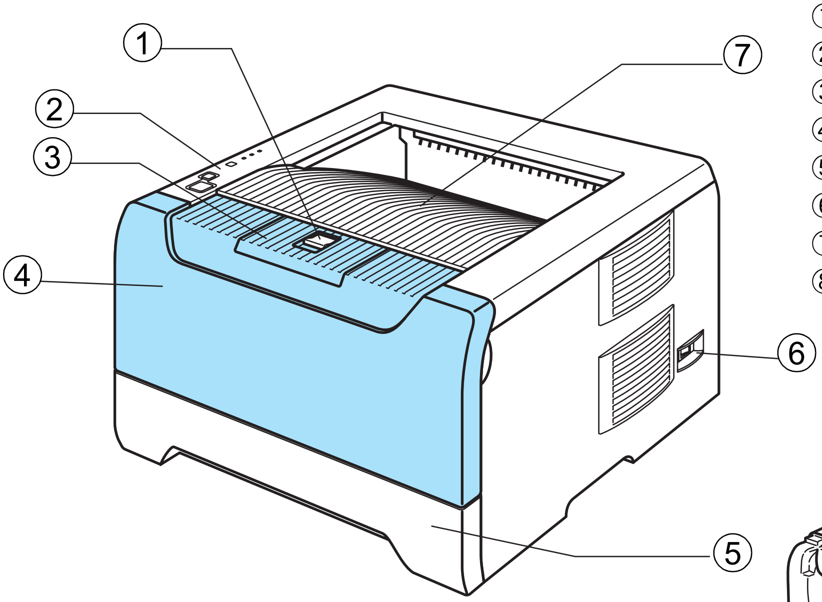
- プリンタの機能を最大限に引き出すため、IEEE1284 準拠のパラレルケーブルをご使用いただくことをおすすめします。
- 2 メートルを超えるパラレルケーブルは使用しないことをおすすめします。

ネットワークケーブルをご使用になる場合

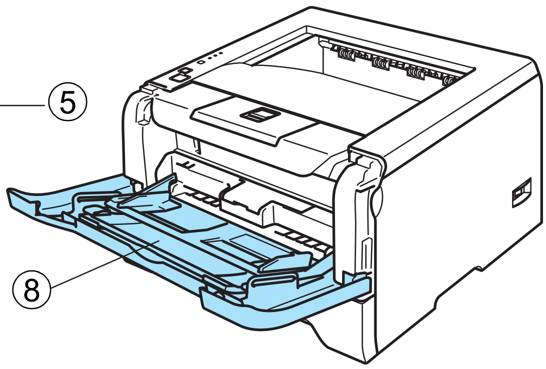
- カテゴリー 5 以上の 10BASE-T または 100BASE-TX のストレートケーブルをご使用下さい。

本体各部の名称

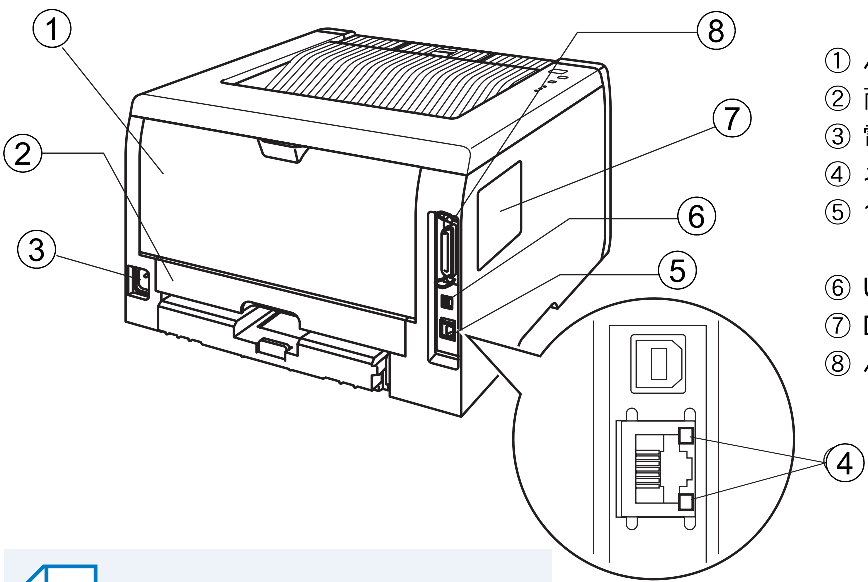
前面



① フロントカバーリリースボタン
② 操作パネル
③ 上面排紙トレイ用紙ストッパー
④ フロントカバー
⑤ 用紙トレイ
⑥ 電源スイッチ
⑦ 上面排紙トレイ
⑧ 多目的トレイ（MP トレイ）



背面



① バックカバー
② 両面印刷トレイ（HL-5250DN）
③ 電源コード差し込み口
④ ネットワーク LED（HL-5250DN）
⑤ 10BASE-T/100BASE-TX ポート（HL-5250DN）
⑥ USB ポート
⑦ DIMM（メモリ）カバー
⑧ パラレルポート

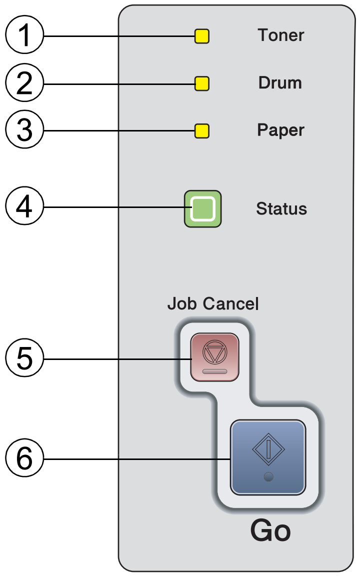
メモ　イラストは HL-5250DN です。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

操作パネルの使いかた

操作パネル上のランプとボタンについて説明します。

操作パネルの名称と機能



① **Toner ランプ**
トナーの残量が少なくなったことやトナーがなくなったことを示すランプです。

② **Drum ランプ**
ドラムユニットの寿命が少なくなったことを示すランプです。

③ **Paper ランプ**
トレイに用紙がなくなったこと、紙づまりや給紙ミスが起こったことなどを示すランプです。

④ **Status ランプ**
プリンタの状態を示すランプです。

⑤ **Job Cancel ボタン**
印刷をキャンセルするときに使用するボタンです。

⑥ **Go ボタン**
解除可能なエラーを解除するとき、またスリープ状態から復帰するときなどに押すボタンです。

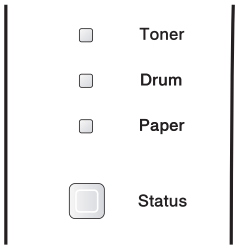
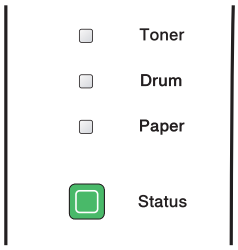
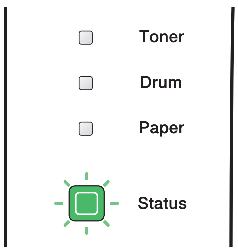
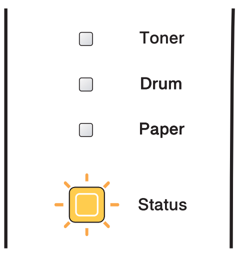
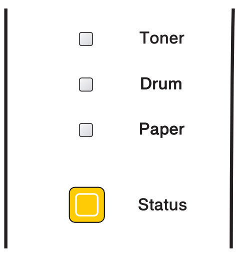
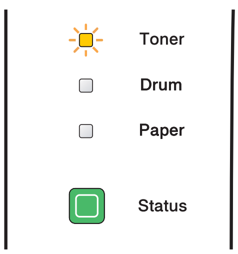
ランプによるプリンタの状態表示

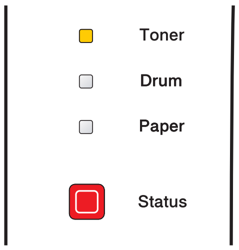
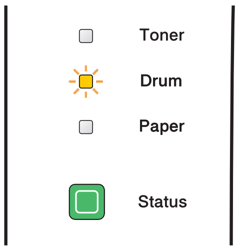
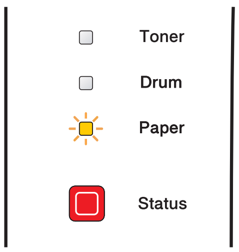
操作パネル上の 4 つのランプは、点灯・点滅・消灯の組み合わせによって、プリンタの状態を示します。
各ランプの状態は、下記のように表現します。

	ランプ点灯
	ランプ点滅
	ランプ消灯

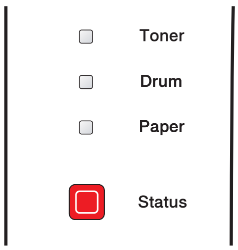
メモ
電源スイッチがオフになっているとき、またはプリンタがスリープ状態になっているときには、すべてのランプが消灯しています。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

ランプ	プリンタの状態
	**スリープ状態** 電源スイッチがオフになっているか、またはプリンタがスリープ状態になっています。スリープ状態から復帰するときは、(Go) を押してください。
	**印刷可能状態** 印刷できる状態です。
	**ウォーミングアップ状態** ウォーミングアップ中です。 **クーリングダウン状態** クーリングダウン中です。内部が冷めるまでしばらくお待ちください。
	**データ受信中** パソコンからデータを受信中、データを処理中、またはデータを印刷中です。
	**プリンタメモリに印字データあり** メモリに印字データが残っています。この状態が長く続き、印刷されない場合は、(Go) を押すと、メモリに残っているデータを印刷します。
	**トナー残りわずか** トナーの残量が少なくなっています。新しいトナーカートリッジを購入し、トナー切れが表示されたときのために準備してください。**「ご注文シート」**を参照してください。 Toner ランプは 2 秒間点灯、3 秒間消灯を交互に繰り返します。

ランプ	プリンタの状態
	**トナー寿命** 「トナーカートリッジを交換する」P.4-4 にしたがってトナーカートリッジを新しいものに交換してください。**「ご注文シート」**を参照してください。
	カートリッジエラー トナーカートリッジが正しく取り付けられていません。トナーカートリッジを再度正しく取り付けてください。
	**ドラムユニット寿命** ドラムユニットの寿命が少なくなっています。新しいドラムユニットを購入し、現在のものと交換することをおすすめします。「ドラムユニットを交換する」P.4-9 を参照してください。**「ご注文シート」**を参照してください。 Drum ランプは 2 秒間点灯、3 秒間消灯を交互に繰り返します。
	**トレイ用紙切れ** 「第 2 章　印刷する」P.2-1 にしたがってトレイに用紙を補給してください。 （Go）を押してください。
	紙づまり 「紙づまりが起きたときは」P.5-8 を参照して、つまった用紙を取り除きます。プリンタが自動的に回復しない場合は、（Go）を押してください。
	自動両面印刷の用紙違い（HL-5250DN） 自動両面印刷の用紙サイズが違います。 「自動両面印刷」P.2-66 にしたがい正しいサイズの用紙にしてください。 （Go）または（Job Cancel）を押してください。 自動両面印刷ができる用紙サイズは A4 です。
	両面印刷トレイのセット不良（HL-5250DN） 両面印刷トレイを外しもう一度正しい位置に入れ直してください。

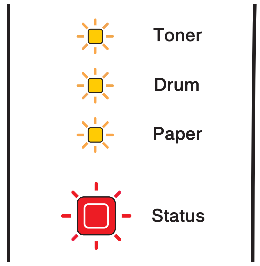
安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

ランプ	プリンタの状態
	フロントカバーオープン フロントカバーを閉じてください。
	バックカバーオープン バックカバーを閉じてください。 メモ　バックカバーを閉じているのにバックカバーオープンのエラーが表示される場合は、バックカバー、定着器カバーを開け、紙詰まりがないか確認してください。紙詰まりの状態のまま電源をオン / オフすると、バックカバーオープンのエラーが表示されることがあります。
	ドラムよごれ コロナワイヤーを清掃してください。 「コロナワイヤーをクリーニングする」P.4-17 を参照してください。
	トレイが多過ぎます オプショントレイは最大で 2 つまでです。余分なトレイを外してください。
	バッファーエラー パソコンとプリンタ間の接続ケーブルをチェックしてください。
	**メモリフル** • (Go) を押してプリンタ内に残っているデータを印刷してください。 プリンタ内に残っているデータを消去したいときは、「印刷の中止」P.1-10 を参照してください。 • 文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてください。 • 市販の DIMM メモリで本機のメモリを増してください。「メモリ(DIMM) を増設する」P.3-4 を参照してください。
	プリントオーバーラン • (Go) を押してプリンタ内に残っているデータを印刷してください。 プリンタ内に残っているデータを消去したいときは、「印刷の中止」P.1-10 を参照してください。 • 文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてください。 • プリンタドライバのページプロテクトを ON にしてください。「ページプロテクト」P.2-26 を参照してください。 • 市販の DIMM メモリで本機のメモリを増してください。「メモリ(DIMM) を増設する」P.3-4 を参照してください。
	ダウンロードフル プリンタのダウンロードバッファーがいっぱいです。 市販の DIMM メモリで本機のメモリを増してください。「メモリ (DIMM) を増設する」P.3-4 を参照してください。
	フォントフル プリンタのフォントメモリ領域がいっぱいです。フォントを削除するか市販の DIMM メモリで本機のメモリを増してください。「メモリ (DIMM) を増設する」P.3-4 を参照してください。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

サービスエラー

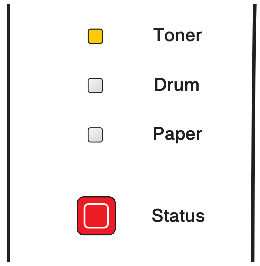
解除不可能なエラーが発生した場合には、下記の例のようにすべてのランプが点滅します。このようなサービスエラーの表示が発生した場合は、次の手順にしたがってください。



1 **電源スイッチを切って、数秒後にもう一度電源を入れて、印刷してみてください。**

2 **それでもエラーが解除できず、電源を入れた後も同じように表示される場合は、（Go）と（Job Cancel）ボタンを一緒に押してさらに詳しいエラーの状態を確認します。**

（Go）と（Job Cancel）ボタンを一緒に押すと、P.1-10 の表の組み合わせのいずれかで、ランプが点灯します。
例えば、下の図は「定着器の故障」を表示しています。



安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

(Go) と (Job Cancel) を同時に押したときのランプ表示

ランプ	メイン基板故障	定着器故障※1	レーザーユニット故障	メインモーター故障	高電圧故障	DIMM 故障※2
Toner	黄	黄	灰	灰	灰	黄
Drum	黄	灰	黄	灰	黄	灰
Paper	灰	灰	灰	黄	黄	黄
Status	赤	赤	赤	赤	赤	赤

3 **上記の表を参照してエラーの状況を記録し、お客様相談窓口に連絡してください。**

ご相談される前に、フロントカバーが完全に閉じていることを確認してください。

※1　このエラーが発生したら、電源を切って 2、3 秒後に電源を再び入れてください。電源を入れたまま 10 分間状況を見て、まだエラーが解除されない場合は、お客様相談窓口に連絡してください。

※2　このエラーが発生したら、DIMM が正しく取り付けられていることを確認してください。「メモリ（DIMM）を増設する」P.3-4 を参照してください。

Go・Job Cancel ボタン

操作パネルの (Go) と (Job Cancel) は、次のような用途に使用します。

スリープ状態からの復帰

プリンタがスリープ状態に入っているときに (Go) 又は (Job Cancel) を押すと、スリープ状態から復帰して、印刷できる状態になります。

エラー状態からの復帰

プリンタが自動的にエラーから回復しないときは、(Go) を押してください。解除可能なエラーを解除します。

用紙排出

Status ランプ（黄色）が長時間点灯する場合は、(Go) を押してください。プリンタメモリに残っているデータを印刷します。

印刷の中止

印刷中に (Job Cancel) を押すと、ただちに印刷を中止し用紙が排出されます。

再印刷

印刷した直前の文章を再度印刷したいときは、(Go) をすべてのランプ（Toner、Drum、Paper、Status）が点灯するまで 4 秒間押し、その後 (Go) を離すと 1 枚再印刷出来ます。

複数枚再印刷するときは、(Go) を押してすべてのランプが点灯後 2 秒以内に必要枚数分 (Go) を押すと押した回数分の再印刷が出来ます（何もしない状態が 2 秒以上継続すると 1 枚のみ再印刷されます）。

(Go) を押している間は、Toner ランプ、Drum ランプ、Paper ランプ、Status ランプが順に点灯します。プリンタの電源を入れ直したり、パソコンを再起動すると、直前のデータは削除され、再印刷は出来ません。

テストページの印刷

1 プリンタの電源を切ります。

2 フロントカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認します。

3 （Go）を押したままの状態で、電源を入れます。

最初全てのランプが点灯し、その後、Status ランプが消灯します。次に、（Go）から指を離しますと全てのランプが消灯します。

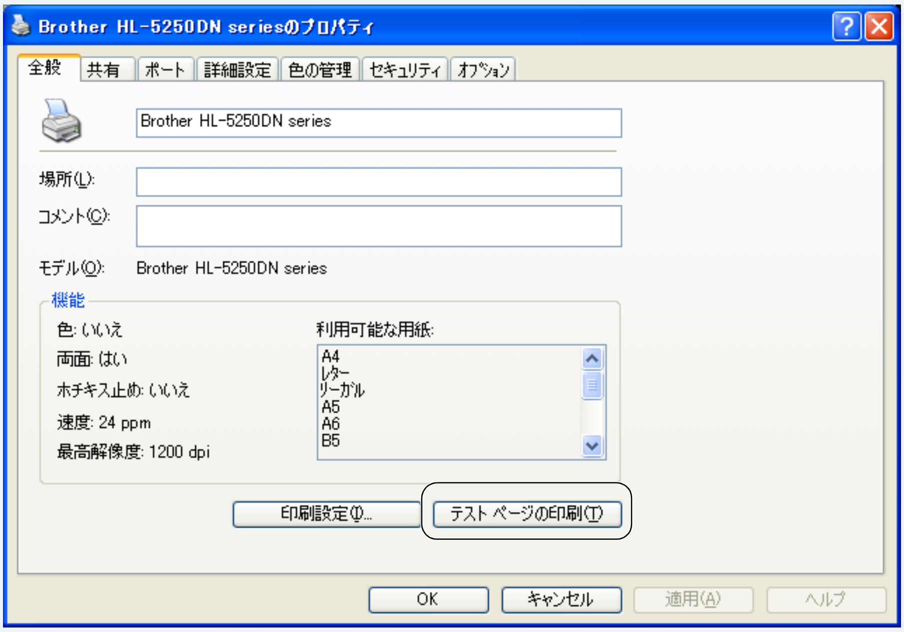
4 もう一度、（Go）を押します。

テストページが印刷されます。

メモ

プリンタドライバからの印刷方法

ブラザーの Windows 用プリンタドライバを使用している場合は、「Brother HL-5250DN (5240) series のプロパティ」ダイアログボックスの［全般］タブにある [テスト ページの印刷(T)] をクリックします。



プリンタ設定一覧の印刷

1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **フロントカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認します。**

3 **電源を入れて、印刷可能状態になるまで待ちます。**

4 **（Go）を 3 回押します。（2 秒以内）**

プリンタ設定一覧が印刷されます。

フォントの印刷

1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **フロントカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認します。**

3 **（Go）を押したままの状態で、電源を入れます。**

最初に全てのランプが点灯し、その後 Status ランプが消灯します。次に（Go）から指を離しますと全てのランプが消灯します。

4 **（Go）を 2 回押します。**

内蔵フォントの一覧が印刷されます。

使用できる用紙と領域

推奨紙

用紙種類	用紙名
普通紙	富士ゼロックス　オフィスサプライ（株）P（上質プリンター用紙）
再生紙	富士ゼロックス　オフィスサプライ（株）グリーン 100※
OHP	住友 3M CG3300
ラベル	エーワンレーザーラベル 28362

※ 古紙パルプ 100％の再生紙を使用しています。

印刷用紙と寸法

本機は本体の用紙トレイ、多目的トレイから用紙を給紙します。
プリンタドライバ上では、下記の名称で表示しています。

実際の名称	プリンタドライバでの名称
用紙トレイ	トレイ 1
多目的トレイ	MP トレイ
オプションのローワートレイユニット	トレイ 2，トレイ 3

下表の マークをクリックすると、それぞれの用紙のセット方法が参照できます。

用紙の種類	トレイ 1	トレイ 2 トレイ 3	多目的トレイ	自動両面印刷	プリンタドライバで用紙媒体を選択
普通紙 $75g/m^2$ ～ $105g/m^2$	P.2-34	P.2-34	P.2-37	P.2-66	普通紙（厚め） 普通紙
再生紙	P.2-34	P.2-34	P.2-37	P.2-66	再生紙
ボンド紙 $60g/m^2$ ～ $161g/m^2$	P.2-34 $60g/m^2$ ～ $105g/m^2$	P.2-34 $60g/m^2$ ～ $105g/m^2$	P.2-37 $60g/m^2$ ～ $161g/m^2$		ボンド紙
厚紙 $105g/m^2$ ～ $161g/m^2$			P.2-50		厚紙（ハガキ） 超厚紙
官製はがき※	P.2-48 最大 30 枚		P.2-50		厚紙（ハガキ） 超厚紙
OHP フィルム （A4、レターサイズのみ）	P.2-41 最大 10 枚		P.2-44		OHP
ラベル紙 （A4、レターサイズのみ）			P.2-57		超厚紙
封筒			P.2-53		封筒 封筒（厚め） 封筒（薄め）
薄紙 $60g/m^2$ ～ $75g/m^2$	P.2-34	P.2-34	P.2-37	P.2-66	普通紙

※ インクジェット用はがき、私製はがき、往復はがき、印刷済みはがきは使用できません。

各トレイで使用できる用紙サイズと枚数は、次のようになります。

トレイ	多目的 (MP) トレイ	トレイ 1	トレイ 2 ／トレイ 3	自動両面印刷時
用紙サイズ	幅 69.9 ～ 215.9mm × 長さ 116 ～ 406.4mm	A4、レター、はがき、 B5（JIS）、A5※、A6	A4、レター、B5 （JIS）、A5	A4
枚数（容量）	50 枚（$80g/m^2$）	250 枚（$80g/m^2$）	250 枚（$80g/m^2$）	—

たくさんの用紙を購入する場合、必ず小部数を印刷して正しく印刷されることを確認してから、購入してください。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

用紙を購入するときは、次の点に注意してください。

- 普通紙コピー用の用紙をご使用ください。
- 用紙は中性紙を使用し、酸性やアルカリ性紙は使用しないでください。
- 用紙は縦目をご使用ください。
- 用紙の水分は約 5％のものをご使用ください。

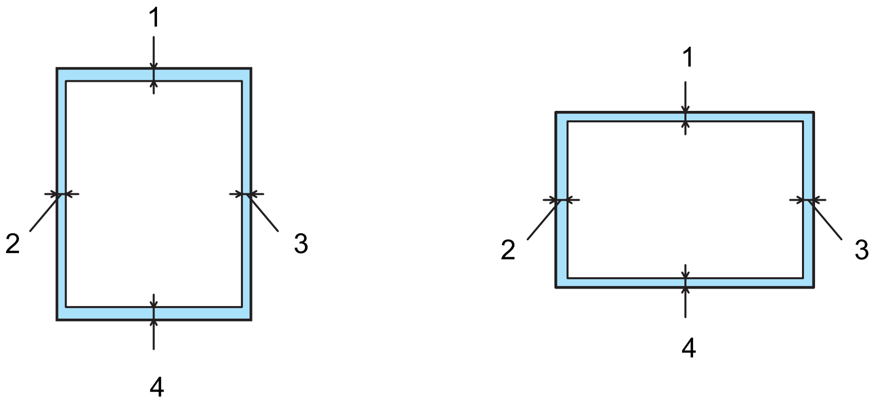
- ミシン目の入った用紙、印刷済みの用紙を使用しないでください。紙づまりを起こし、故障の原因になります。
- インクジェット紙を使用しないでください。紙づまりを起こし、故障の原因になります。
- 台紙が付いていないラベル紙、塗工紙は使用しないでください。本機に損傷を与える恐れがあります。

メモ

本機で使用できる用紙については、「用紙仕様」P.6-11 の「対応用紙」を参照してください。

印刷可能領域

各用紙サイズに対する印刷できない範囲（縁）を下図に示します。
用紙サイズから縁寸法を引いた部分が、印刷可能領域になります。



	A4、レター、B5（JIS）、A5、A6
1	4.2 mm
2	4.2 mm
3	4.2 mm
4	4.2 mm

第 2 章

印刷する

プリンタドライバについて

プリンタドライバとは、アプリケーションソフトから印刷を実行するときに、プリンタの各機能や動作を設定するためのソフトウェアです。

Windows または Macintosh のプリンタドライバは CD-ROM またはサポートホームページ「ブラザーソリューションセンター」からインストールすることができます。最新のプリンタドライバは、以下の「ブラザーソリューションセンター」からダウンロードすることもできます。

ブラザーソリューションセンター **http://solutions.brother.co.jp**

表示される画面は、ご使用のオペレーティングシステム（OS）によって異なります。プリンタドライバの機能の詳細は、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

Windows 95/98/Me/2000/XP、Windows NT 4.0 用プリンタドライバ

- Windows プリンタドライバ・・・・・・・・ CD-ROM メニューの「プリンタドライバのインストール」からインストールできます。

Windows XP Professional X 64 Edition 用プリンタドライバ

- Windows プリンタドライバ・・・・・・・・ 「ブラザーソリューションセンター」からダウンロードできます。
http://solution.brother.co.jp

Macintosh 用プリンタドライバ

- ブラザーレーザードライバ・・・・・・・・・ CD-ROM からインストールできます。
「Macintosh 用プリンタドライバを設定する」P.2-31 を参照してください。

Linux 用プリンタドライバ※ Linux 用プリンタドライバは英語のみの対応となります。

- LPR プリンタドライバ
- CUPS プリンタドライバ

・・・・・・・・・「ブラザーソリューションセンター」からダウンロードできます。
http://solutions.brother.co.jp

	Windows プリンタドライバ	ブラザーレーザードライバ	LPR / CUPS プリンタドライバ
Windows 95/98/Me	○		
Windows NT 4.0 Windows 2000 Professional Windows XP Home Edition Windows XP Professional	○		
Windows XP Professional x64 Edition	○		
Mac OS 9.1 to 9.2 Mac OS X 10.2.4 or greater		○	
Linux (Mandrake, Red Hat, SuSE Linux, Debian)			○

Windows 用プリンタドライバを設定する

パソコンのデータをプリンタから印刷するときは、プリンタドライバで各種の設定ができます。

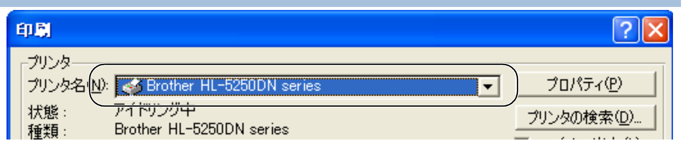
メモ
- このセクションの画面は、Windows XP の画面です。パソコン画面は、ご使用の OS によって異なります。
- 最新のプリンタドライバやその他の情報は、「ブラザーソリューションセンター」（**http://solutions.brother.co.jp**）から入手できます。

Windows プリンタドライバの設定方法

プリンタドライバの設定方法について説明します。
次の手順でプリンタドライバの設定画面を表示し、設定または変更した後は、［適用(A)］または［OK］をクリックして、その設定を有効にしてください。

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

2 ［印刷］ダイアログボックスのプリンタ名から「Brother HL-5250DN（5240）series」を選択し、［プロパティ(P)］をクリックします。

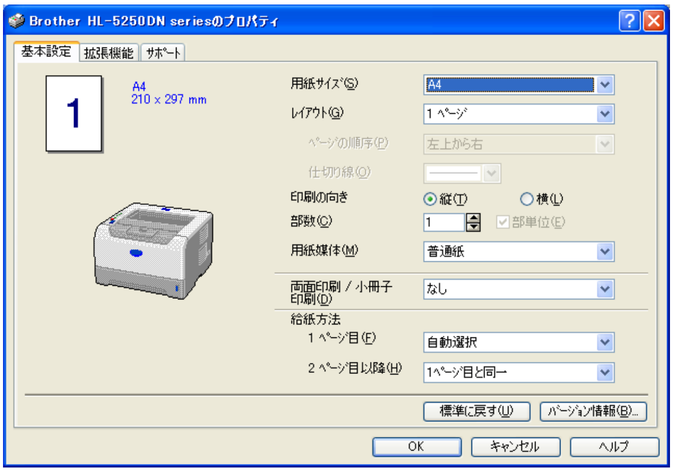


プリンタドライバの設定画面「Brother HL-5250DN（5240）series のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

メモ
プリンタドライバの設定画面は［スタート］メニューから表示することもできます。
① Windows XP の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックします。
Windows 95/98/Me/2000、Windows NT 4.0 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。
②「Brother HL-5250DN（5240）series」のアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。
③ Windows 2000/XP、Windows NT 4.0 の場合は、「Brother HL-5250DN（5240）series のプロパティ」ダイアログボックスの［全般］タブにある［印刷設定(I)...］をクリックします。「Brother HL-5250DN（5240）series 印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。
Windows 95/98/Me の場合は、「Brother HL-5250DN（5240）series のプロパティ」に各項目が表示されます。

3 各項目を設定します。

設定内容の詳細は「Windows プリンタドライバの設定内容」P.2-5 を参照してください。



4 [適用(A)] または [OK] をクリックします。

各タブで変更した設定が確定されます。[OK] をクリックした場合は、［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

メモ

- [適用(A)] をクリックしなくても、[OK] をクリックすると、各タブで変更した設定が確定されます。
- [キャンセル] をクリックすると、各タブで変更した設定がキャンセルされ［印刷］ダイアログボックスに戻ります。
- お買い上げ時の設定に戻す場合は、手順 3 で [標準に戻す(U)] をクリックしてから [適用(A)] または [OK] をクリックします。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

Windows プリンタドライバの設定内容

プリンタドライバで設定・変更できる項目について説明します。
プリンタドライバで設定できる項目は、ご使用の OS によっては利用できない項目があります。
また、ご使用のアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、アプリケーションソフト側の設定が優先されます。

●［基本設定］タブでの設定項目

次の項目を設定できます。
（下記の ▶ マークをクリックすると、各項目の詳細を説明しているページが表示されます。）

①用紙サイズ P.2-6
②レイアウト P.2-7
③印刷の向き P.2-8
④部数 P.2-8
⑤用紙媒体 P.2-8
⑥両面印刷／小冊子印刷 P.2-8
⑦給紙方法 P.2-9

［適用(A)］または［OK］をクリックして、変更した設定を確定します。標準（初期）設定に戻すときは［標準に戻す(U)］をクリックします。

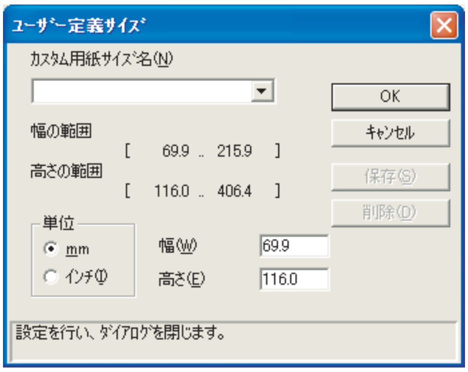
メモ
用紙サイズ、レイアウトの設定項目は、プリンタドライバの設定画面左側のイラストに現在の設定が表示されます。また、レイアウトと給紙方法の設定は、イラストをクリックして変更することもできます。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

①用紙サイズ

用紙サイズの選択では、さまざまな標準用紙サイズから選ぶことができます。必要に応じて、横 69.9 ～ 215.9mm ×縦 116 ～ 406.4mm の間で、任意のサイズを作成することもできます。プルダウンメニューから、使用する用紙サイズを選択してください。

ユーザー定義サイズを選択して、任意のサイズを入力することもできます。適正な印刷品質を得るためには、適切な厚さの用紙を使ってください。

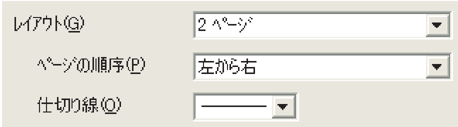


メモ

- アプリケーションソフトによっては、用紙サイズの設定が無効になる場合があります。ご使用のアプリケーションソフトに、適切な用紙サイズが設定されていることを確認してください。
- 最小の用紙サイズを設定した場合は、余白の設定を確認してください。何も印刷されないことがあります。

②レイアウト

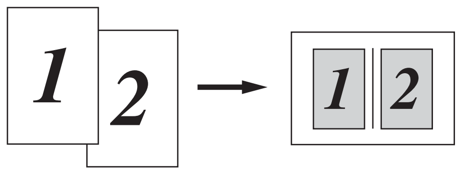
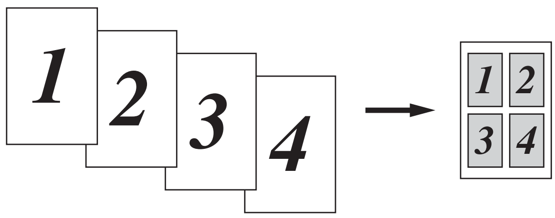
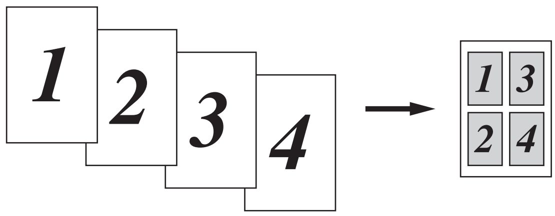
レイアウトの選択によって、1 ページの画像サイズを縮小して、複数のページを 1 枚の用紙に印刷したり、画像サイズを拡大して 1 ページを複数の用紙に印刷することが出来ます。



ページの順序

レイアウト機能を使って、複数のページ（最大 25 ページ）を 1 枚の用紙に印刷するときは、ページの並び順を選ぶことが出来ます。

レイアウト／ページの順序を使用したときの例

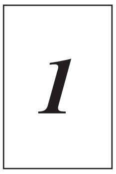
レイアウト	ページの順序	印刷結果
2 ページ	左から右	**2 ページを縮小して 1 枚の用紙に印刷します。** 
4 ページ	左上から右	**4 ページを縮小して 1 枚の用紙に印刷します。** 
	左上から下	**4 ページを縮小して 1 枚の用紙に印刷します。** 

仕切り線

レイアウト機能を使って、複数のページ（最大 25 ページ）を 1 枚の用紙に印刷するときは、各ページの境界に実線または点線の境界線を入れることが出来ます。

③印刷の向き

文書を印刷する向き（縦または横）を選択します。

縦	横
	

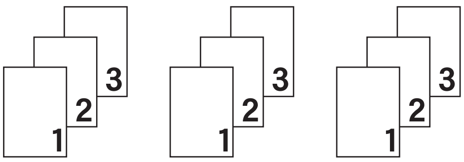
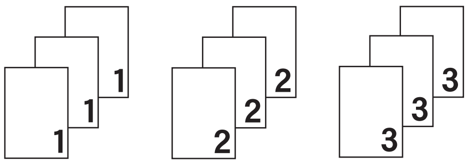
④部数

印刷する部数（1 ～ 999）を入力します。

部単位

「部単位」チェックボックスをチェックすると、文書一式が 1 部印刷されてから、選択した部数だけ印刷が繰り返されます。「部単位」チェックボックスをチェックしていないときは、各ページが選択された部数だけ印刷されてから、次のページが印刷されます。

例えば、3 ページの文書を 3 部印刷したときは次のようになります。

「部単位」をチェックした場合	「部単位」をチェックしていない場合
 1 部目　2 部目　3 部目	 1ページ目 3部　2ページ目 3部　3ページ目 3部

⑤用紙媒体

次の種類の用紙に印刷できます。最良の印刷品質を得るために、ご使用の用紙に応じて用紙媒体を設定してください。

「普通紙（厚め）」：	市販されている普通紙やコピー用紙に印刷する場合
「普通紙」：	市販されている薄めの普通紙やコピー用紙に印刷する場合
「厚紙（ハガキ）」：	ラベル、官製はがきなどの厚めの用紙に印刷する場合
「超厚紙」：	「厚紙（ハガキ）」を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合
「ボンド紙」：	ボンド紙に印刷する場合
「OHP」：	OHP フィルムに印刷する場合
「封筒」：	封筒に印刷する場合
「封筒（厚め）」：	「封筒」を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合
「封筒（薄め）」：	「封筒」を選択して印刷したときに印刷された封筒がしわになる場合
「再生紙」：	「再生紙」に印刷する場合

⑥両面印刷／小冊子印刷

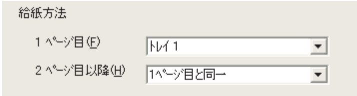
両面印刷や小冊子印刷を行う場合、この機能を利用します。

拡張機能タブの両面印刷設定画面にてより詳細な設定を行うことが出来ます。

「両面印刷」P.2-12 を参照してください。

⑦給紙方法

給紙するトレイを選択します。



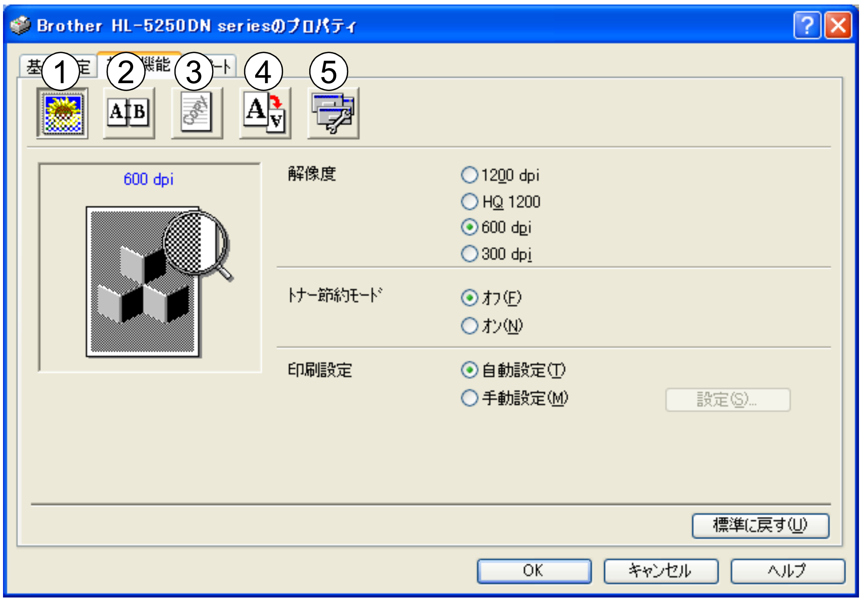
「自動選択」：	本機が自動的にトレイを選択します。
「トレイ 1」：	用紙トレイから普通紙を印刷する場合に選択します。「用紙トレイから印刷する」P.2-34 を参照してください。
「トレイ 2，トレイ 3」：	オプションのローワートレイユニットを使用するときに選択します。オプションは別売品です。P.3-3 を参照してください。
「MP トレイ，手差し」：	多目的トレイから封筒または厚い用紙に印刷する場合に選択します。「多目的トレイ（MP トレイ）から印刷する」P.2-37 を参照してください。

また、1 ページ目と 2 ページ目以降で給紙方法を切り替えることができます。

「1 ページ目」：	1 ページ目を印刷するときの給紙方法を設定します。
「2 ページ目以降」：	2 ページ目以降を印刷するときの給紙方法を設定します。

メモ　多目的トレイのプリンタドライバ上での名称は MP トレイです。

［拡張機能］タブでの設定項目



アイコンをクリックして、次の項目を設定・変更することができます。

①グラフィックス P.2-11

②両面印刷 P.2-12

③ウォーターマーク P.2-13

④ページ設定 P.2-17

⑤その他特殊機能 P.2-18

［適用(A)］または［OK］をクリックして、変更した設定を確定します。標準（初期）設定に戻すときは［標準に戻す(U)］をクリックします。

メモ プリンタドライバの設定画面左側のイラストに現在の設定が表示されます。

グラフィックス

解像度、トナー節約モード、印刷設定などが設定できます。

①解像度

解像度を次の 4 種類から選択します。

「1200 dpi」：　1 インチあたり※ 1200 × 1200 ドットの解像度で印刷します。（印字スピードは半分の速度になります。）

「HQ1200」：　1 インチあたり 2400 × 600 ドットの解像度で印刷します。

「600 dpi」：　1 インチあたり 600 × 600 ドットの解像度で印刷します。

「300 dpi」：　1 インチあたり 300 × 300 ドットの解像度で印刷します。

※ 1 インチは 25.4 mm です。

> " メモリフル " エラーがでる場合は、プリンタにメモリを追加するか、解像度を下げて印刷してください。

②トナー節約モード

トナー節約モードで印刷することにより、消費するトナーを節約してランニングコストを節減することができます。

> - トナー節約モード設定で写真やグレースケールイメージの印刷はお勧めできません。
> - 「1200 dpi」及び「HQ1200」にはトナー節約モードの設定はありません。

③印刷設定

輝度、コントラストなどの設定を手動で設定できます。

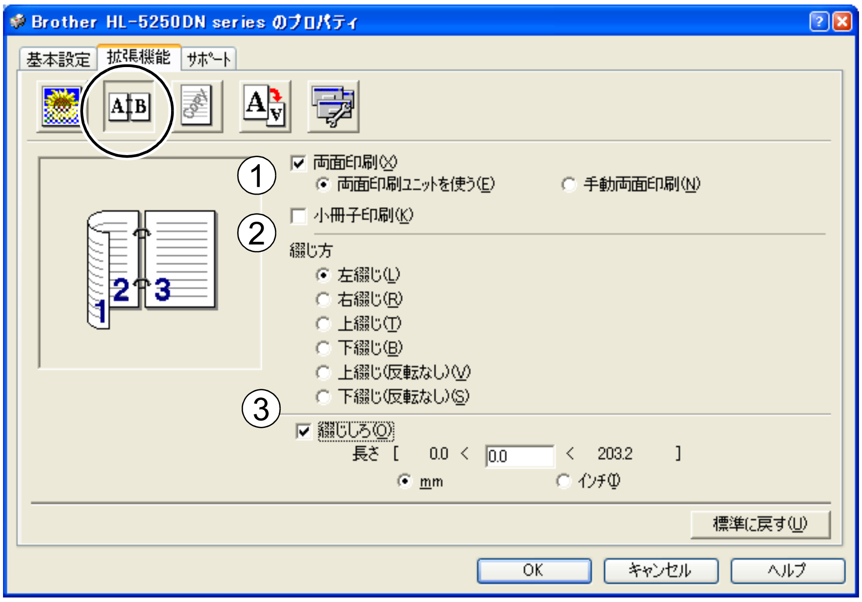
「自動設定」：プリンタに適切な設定を自動設定します。

「手動設定」：手動で設定を変更します。

- 設定(S) ボタンにて輝度、コントラストなどが設定できます。

両面印刷

手動両面印刷の設定ができ、6 種類の綴じ方や綴じしろの設定ができます。
印刷の詳細は「両面印刷する」P.2-59 を参照してください。

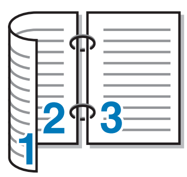
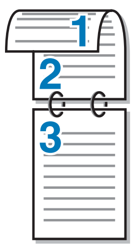
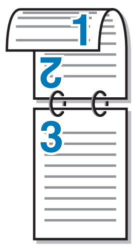
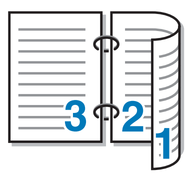
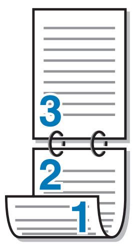
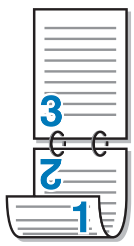


①両面印刷

「両面印刷ユニットをつかう」(HL-5250DN)
自動で両面印刷ができます。手動で用紙をセットし直す必要がありません。
自動両面印刷に使用できる用紙は、A 4の普通用紙および再生紙です。
「手動両面印刷」
はじめに偶数ページ(裏面)をすべて印刷します。本機がいったん停止して、偶数ページ(裏面)が印刷された用紙の再セットを促す指示メッセージが表示されます。メッセージの指示にしたがって用紙を再セットし、 OK をクリックすると、奇数ページ(表面)の印刷を開始します。
「小冊子印刷」
両面印刷機能とレイアウト機能の「2 ページ」(2 ページ分を 1 枚の用紙で印刷)を組み合わせることで、小冊子のような印刷物を作ることができます。

②綴じ方

印刷の向き、縦または横など 6 種類の綴じ方があります。

左綴じ	上綴じ	上綴じ(反転なし)
		
右綴じ	**下綴じ**	**下綴じ(反転なし)**
		

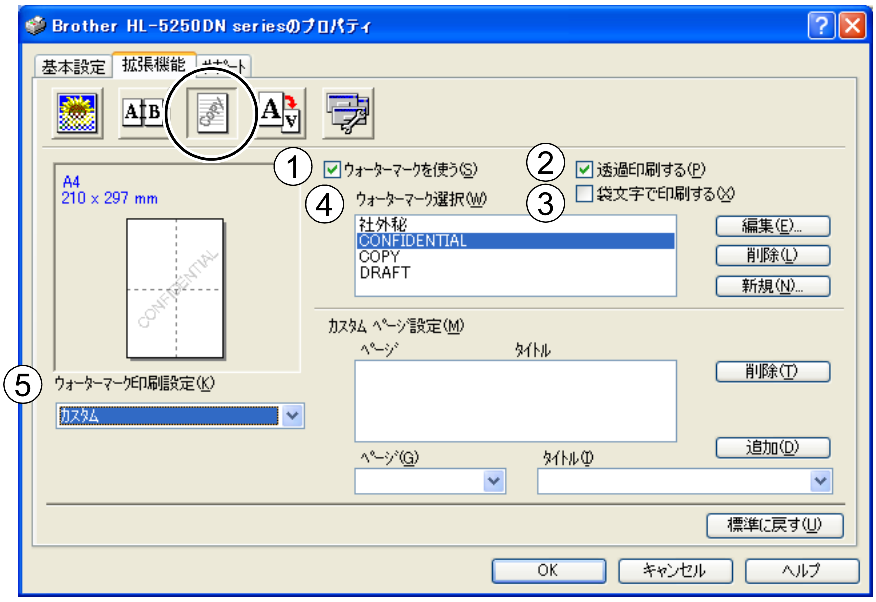
③綴じしろ

「綴じしろ」を選択すると、綴じしろの量をインチまたはミリメートルで設定できます。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

● ウォーターマーク

ロゴやテキストをウォーターマーク（すかし）として文書に入れることができます。あらかじめいくつかウォーターマークが登録されていますが、ビットマップファイルまたはテキストファイルを作成して使うことができます。
印刷の詳細は「ウォーターマーク（すかし）を入れて印刷する」P.2-70 を参照してください。



①ウォーターマークを使う

「ウォーターマークを使う」チェックボックスをチェックすると、「ウォーターマーク選択」から選択したウォーターマークを文書に入れて印刷できるようになります。また、選択したウォーターマークは編集することもできます。「ウォーターマーク設定」P.2-15 を参照してください。

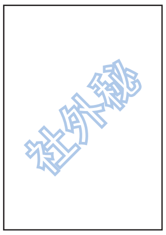
②透過印刷する

「透過印刷する」チェックボックスをチェックすると、文書の背景にウォーターマークが印刷されます。これをチェックしていないときは、文書の一番上にウォーターマークが印刷されます。

「透過印刷する」をチェックした場合	「透過印刷する」をチェックしていない場合

③袋文字で印刷する（WindowsNT4.0、Windows 2000/XP のみ）

ウォーターマークの輪郭のみを印刷したいときは、「袋文字で印刷する」チェックボックスをチェックします。

「袋文字で印刷する」をチェックした場合	「袋文字で印刷する」をチェックしていない場合
	

④ウォーターマーク選択

使用するウォーターマークを選択します。

⑤ウォーターマーク印刷設定

「ウォーターマーク印刷設定」には、次の選択項目があります。

「全ページ」：	全ページにウォーターマークが印刷されます。
「開始ページのみ」：	2 ページ以上の印刷の場合、最初のページにだけウォーターマークが印刷されます。
「2 ページ目から」：	2 ページ以上の印刷の場合、2 ページ目以降にウォーターマークが印刷されます。
「カスタム」：	2 ページ以上の印刷の場合は、各ページに対し別々のウォーターマーク設定ができます。 「カスタムページ設定」P.2-16 を参照してください。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

ウォーターマーク設定

「ウォーターマークを使う」チェックボックスをチェックし、編集(E)をクリックすると、「ウォーターマーク設定」画面が表示され、ウォーターマークのサイズとページ上の位置を変更することができます。新しいウォーターマークを追加したい場合は、新規(N)をクリックし、［スタイル］の［文字を使う］または［ビットマップを使う］を選択します。

①**位置**

ページ上のウォーターマークを配置する位置や角度を設定します。

②**タイトル**

設定したウォーターマークの名前を設定します。ここで設定した名前は、「ウォーターマーク選択」に表示されます。

③**スタイル**

新しく追加するウォーターマークが、文字かビットマップかを選択します。

④**ウォーターマーク文字**

ウォーターマークの文字を「表示内容」に入力して、「フォント」、「サイズ」、「スタイル」、「濃さ」を選択します。

⑤**ウォーターマークビットマップ**

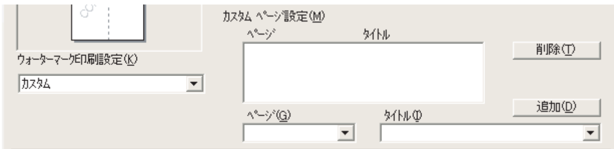
「ファイル」ボックスにビットマップイメージのファイル名を入力するか、参照(W)をクリックして、ビットマップファイルを指定します。

⑥**拡大・縮小**

イメージのサイズを設定します。

カスタムページ設定

各ページに対して別々のウォーターマークの設定ができます。「ウォーターマーク印刷設定」で「カスタム」を選択したときのみ有効になります。



- **設定テーブル**

  各ページに対して設定されている内容が表示されます。

  設定の追加

  ①「ページ」から設定したいページを入力します。
  　ページ設定として番号以外にその他のページが選択できます。
  ②「タイトル」から使用したいウォーターマークを選択します。
  　選択したページにウォーターマークを付けたくない場合は、なしを選択します。
  ③ 追加(D) をクリックします。
  　設定テーブルに追加されます。

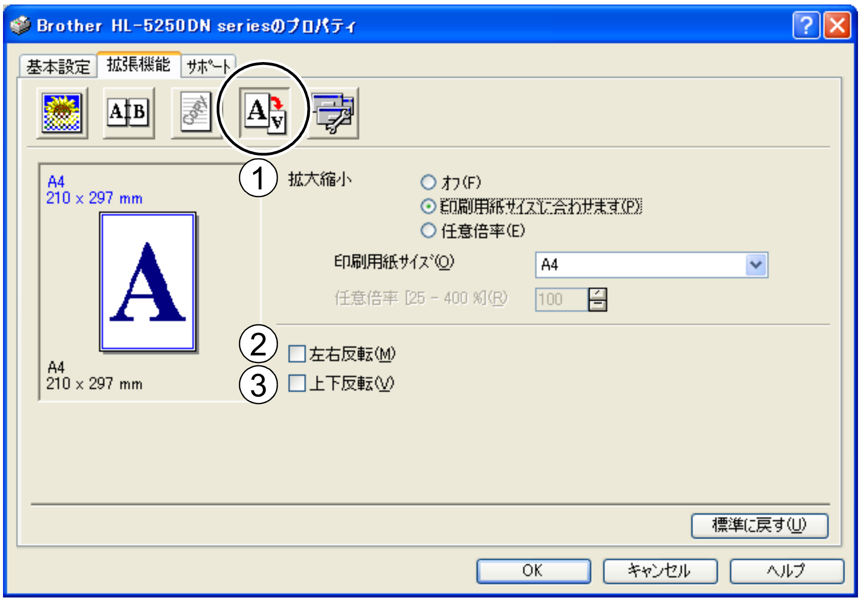
  設定の削除

  ① 設定テーブルから削除したいページの設定を選択します。
  ② 削除(T) をクリックします。
  　設定テーブルから削除されます。

  印刷の詳細は「ウォーターマーク（すかし）を入れて印刷する」P.2-70 を参照してください。

ページ設定

アプリケーションソフトで作成した文書や画像のデータを変更せずに、ページイメージをそのまま拡大縮小して用紙サイズを変更して印刷できます。またページイメージをそのまま左右反転、上下反転して印刷することもできます。



[適用(A)]または[OK]をクリックして、選択した設定を確定します。標準（初期）設定に戻すときは[標準に戻す(U)]をクリックします。

①拡大縮小

「オフ」：	画面に表示されたとおりに文書を印刷します。
「印刷用紙サイズに合わせます」：	文書が非定形サイズの場合や標準サイズの用紙しかない場合は、「印刷用紙サイズに合わせます」を選択し、「印刷用紙サイズ」で選択した用紙サイズに拡大縮小して印刷します。
「任意倍率」：	「任意倍率［25 – 400％］」で設定した倍率で印刷します。

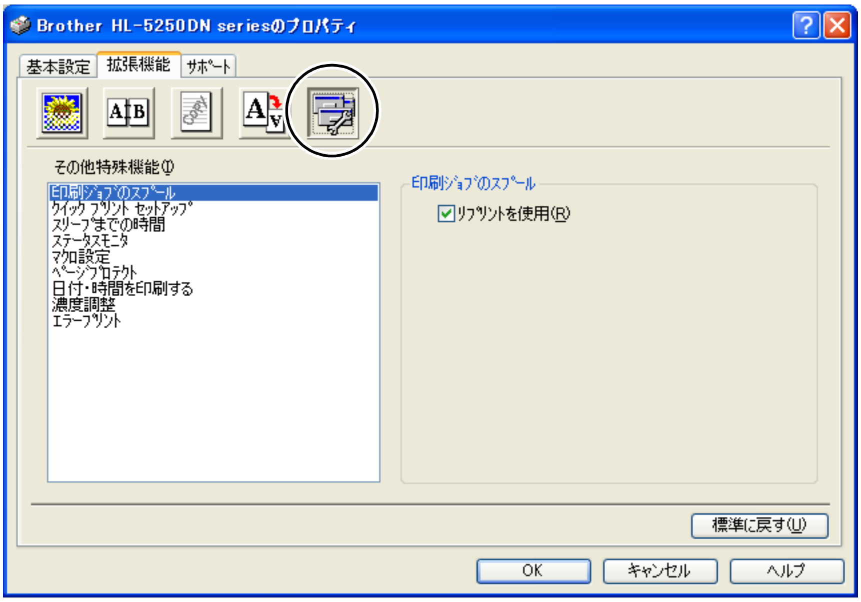
②左右反転

左右を逆にして印刷します。

③上下反転

上下を逆にして印刷します。

その他特殊機能



次のプリント機能モードを設定できます。
（下記の マークをクリックすると、各機能の詳細を説明しているページが表示されます。）

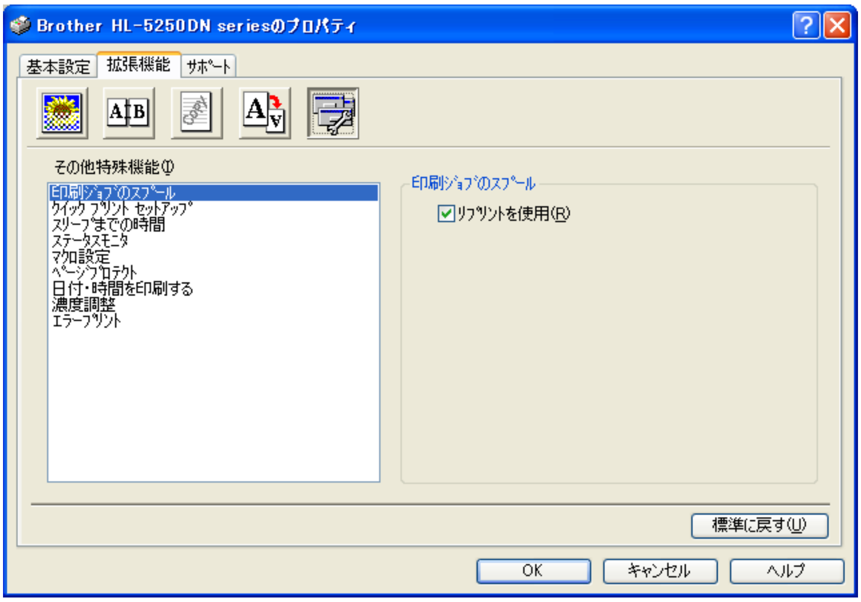
- 印刷ジョブのスプール........................ P.2-19
- クイックプリントセットアップ.............. P.2-20
- スリープまでの時間........................ P.2-21
- ステータスモニタ.......................... P.2-22
- マクロ設定................................ P.2-23
- 設定保護管理機能※1 .... P.2-24
- コマンド／ファイルの追加※1 .... P.2-25
- ページプロテクト.......................... P.2-26
- 日付・時間を印刷する...................... P.2-27
- 濃度調整.................................. P.2-28
- エラープリント............................ P.2-28

［適用(A)］または［OK］をクリックして、変更した設定を確定します。標準（初期）設定に戻すときは［標準に戻す(U)］をクリックします。

メモ
プリンタ機能はモデルによって異なる場合があります。
※１　設定保護管理機能、コマンド／ファイルの追加は、Windows 95/98/Me ユーザー専用です。

印刷ジョブのスプール

「リプリントを使用」のチェックボックスをチェックしておくと、最後に印刷したジョブを本機が記憶します。パソコンからあらためてデータを送らずに、文書を再び印刷することができます。再印刷についての詳細は、「Go・Job Cancel ボタン」P.1-10 の「再印刷」を参照して下さい。

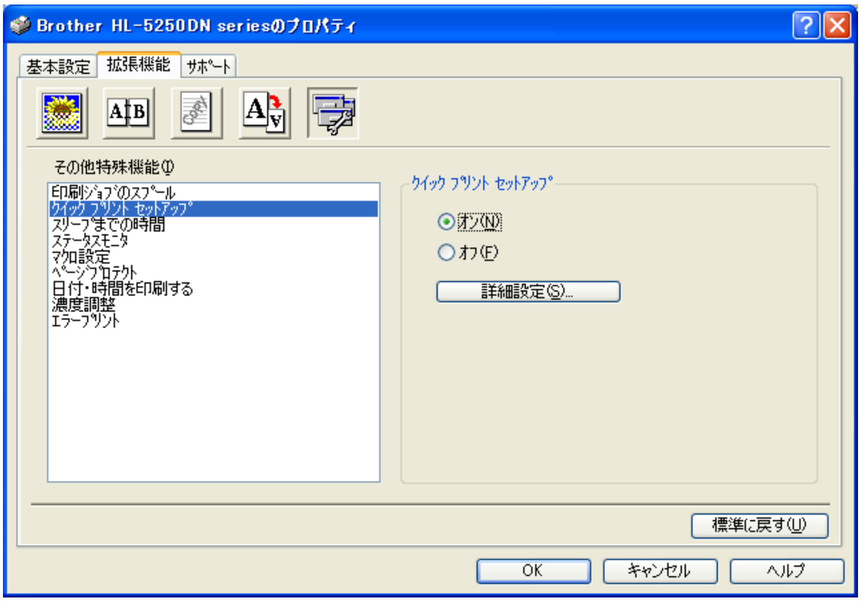


メモ

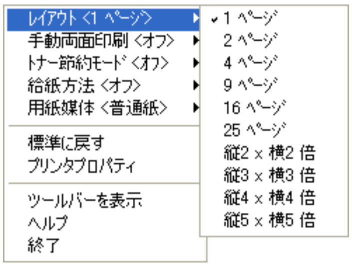
- [基本設定] タブの「部数」で 2 部以上設定した場合は、リプリント機能を使用できません。P.2-8
- プリンタに保存したデータを他の人に印刷されたくない場合は、「リプリントを使用」チェックボックスのチェックを外してください。
- ジョブを本機が記憶しているときにプリンタメモリが一杯になった場合、再印刷されるのはジョブの最初の 1 ページのみになります。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

クイックプリントセットアップ
クイックプリントセットアップ機能のオン／オフを切り替えます。

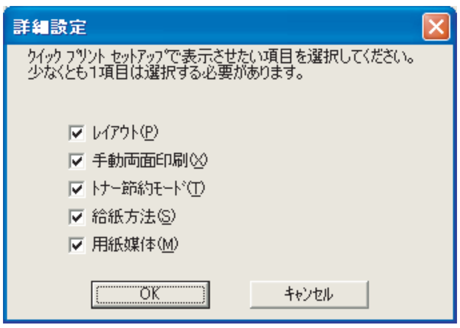


ドライバ設定を簡単に設定・変更することができます。タスクトレイのアイコン上でマウスボタンをクリックするだけで、設定を確認できます。



下記の 5 つの項目を設定できます。
・レイアウト
・手動両面印刷
・トナー節約モード
・給紙方法
・用紙媒体

詳細設定(S) をクリックすると、［詳細設定］ダイアログボックスが表示されます。クイックプリントセットアップ機能使用時に、表示させたい項目のチェックボックスをチェックします。



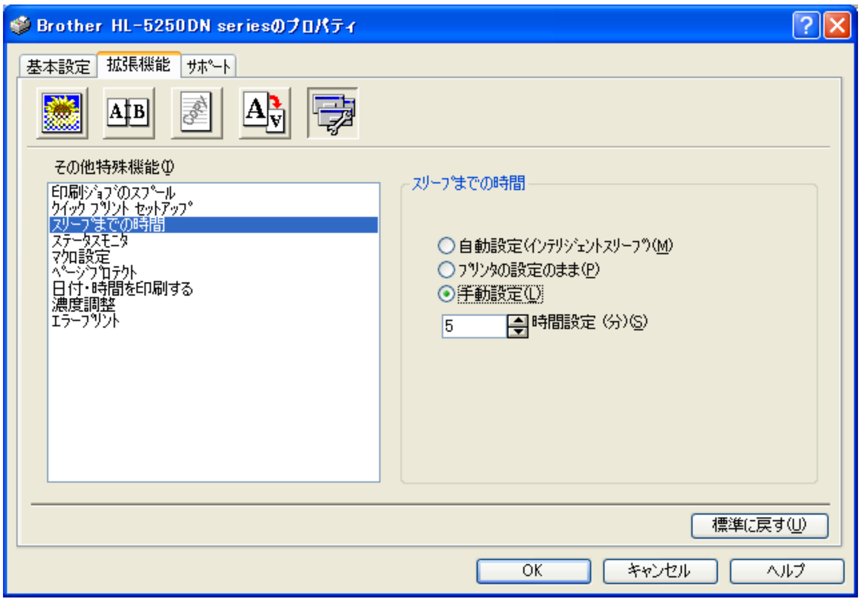
スリープまでの時間

スリープモードは、プリンタの電源を切っているときと同じ状態になるため、電力を節約できます。

一定時間プリンタがデータを受信しなかったとき（タイムアウト時）に、スリープモードに切り替わります。

プリンタがスリープモードに入っているときは、すべてのランプが消灯していますが、パソコンからのデータは受信することができます。印刷ファイルや文書のデータを受信すると、プリンタは自動的に復帰し、印刷を開始します。

操作パネル上の（Go）か（Job Cancel）を押しても、プリンタは復帰します。
初期設定時間は 5 分です。

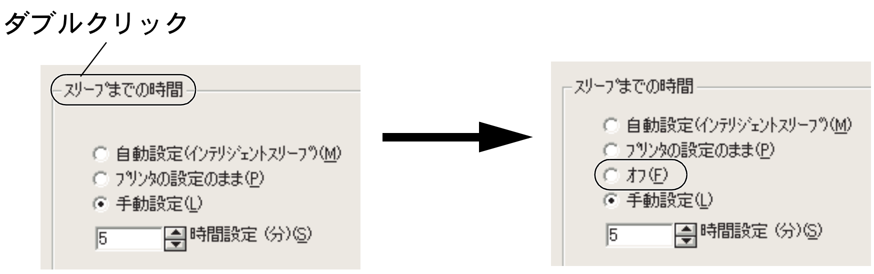


「自動設定（インテリジェントスリープ）」：	プリンタの使用頻度によって、スリープモードに入る最も適切な時間を自動的に調整します。
「プリンタの設定のまま」：	プリンタで設定されている時間の 5 分でスリープモードに入ります。
「手動設定」：	1 ～ 240 分（1 分単位）の間で設定できます。

スリープモードをオフするには

スリープモードにならないようにオフに設定することもできます。ただし、節電のため、スリープモードをオンにしてご使用になることをおすすめします。

設定内容の一番上に表示されている「スリープまでの時間」をダブルクリックすると、「オフ」が表示されます。「オフ」をクリックします。

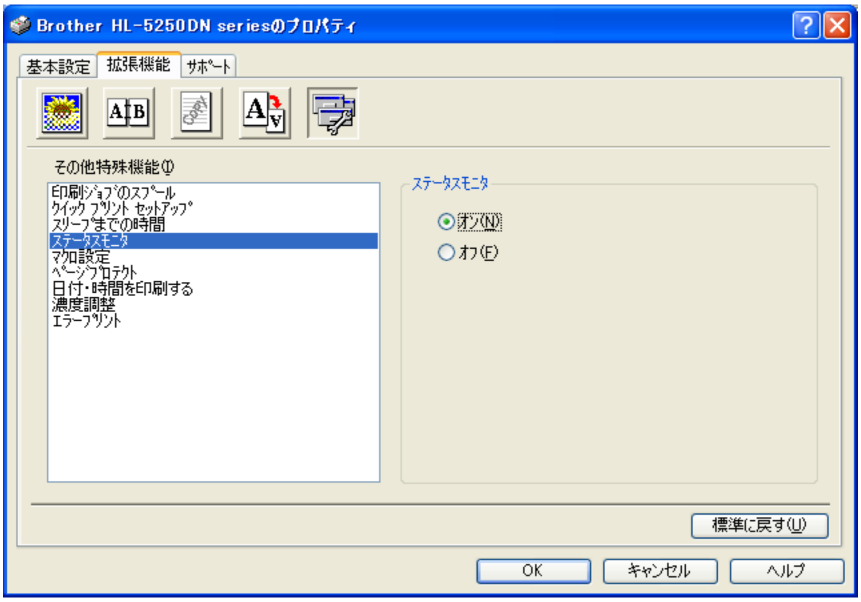


オフが表示されていない　　　　オフが表示される

ステータスモニタ

メモ　このセクションは Windows ユーザー専用です。

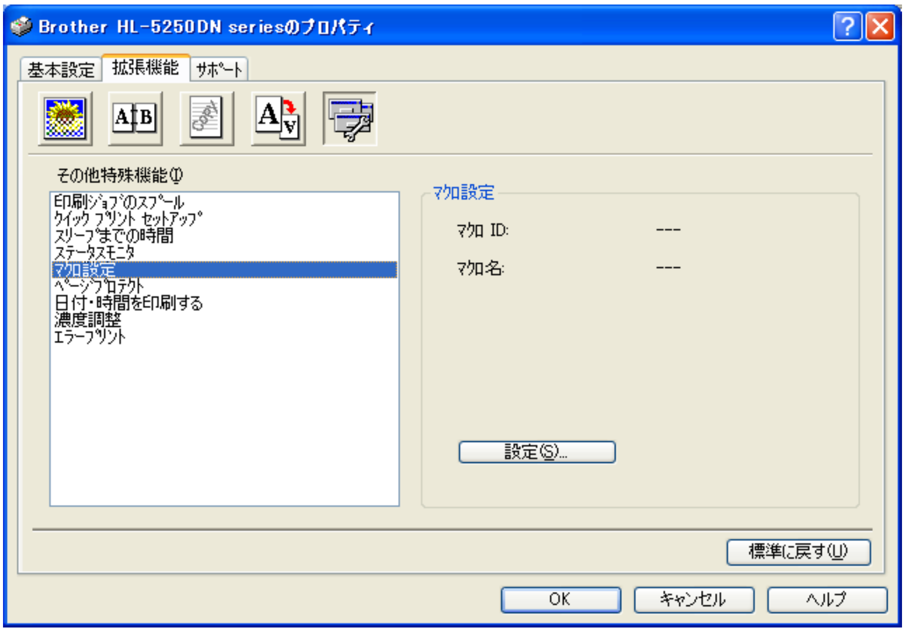
印刷時に、プリンタステータス（エラー情報など）を通知します。
初期設定ではオフになっています。ステータスモニタを使用するときは、オンに設定します。



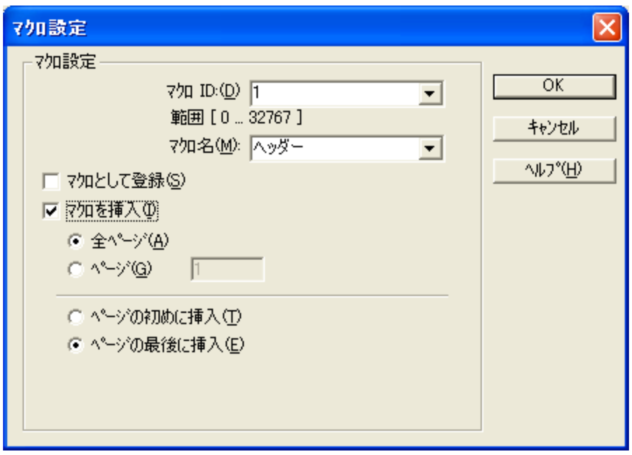
安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

マクロ設定

マクロとして、プリンタのメモリに文書を登録することができます。登録したマクロは、印刷時に実行して、文書にオーバーレイとして印刷できます。
フォーム、会社ロゴ、手紙の書き出し文、送り状など、よく使う情報を登録してご使用になると便利です。



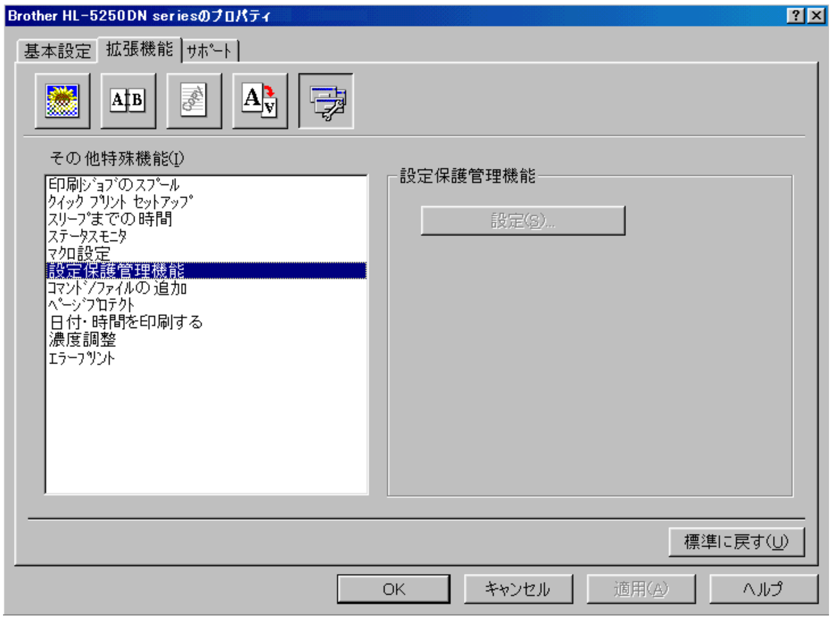
設定(S) をクリックすると、[マクロ設定] ダイアログボックスが表示されます。各項目を設定してください。



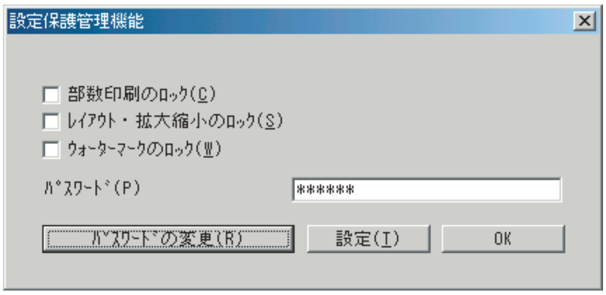
設定保護管理機能

メモ
- このセクションは Windows 95/98/Me ユーザー専用です。
- このセクションの画面は、Windows Me の画面です。

部数印刷、レイアウト、拡大縮小、ウォーターマークの設定をロックすることができます。



[設定(S)] をクリックすると、［設定保護管理機能］ダイアログボックスが表示されます。各項目を設定してください。

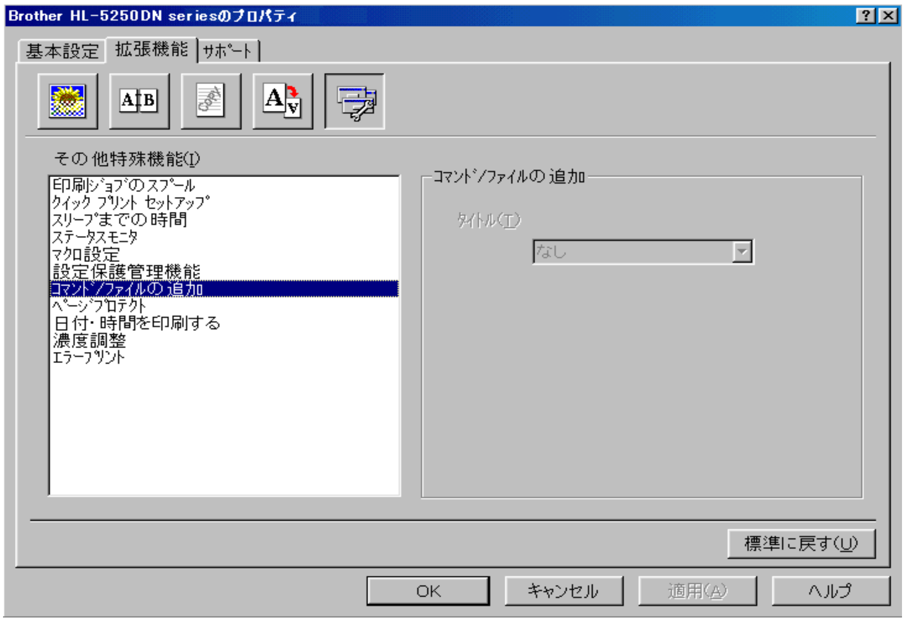


- 部数印刷のロック
  部数印刷をロックして複数部印刷をできなくします。
- レイアウト・拡大縮小のロック
  レイアウトを 1 ページ、拡大縮小を 100％の設定にロックします。
- ウォーターマークのロック
  現在設定されているウォーターマーク設定にロックします。
- パスワード
  保護したい機能を変更する場合は、登録したパスワードを入力し、［設定］をクリックすると、各保護対象機能のチェックボックスがグレー表示から解除されます。
  パスワードを変更したいとき、およびはじめてこの機能を設定する場合に、［パスワードの変更］をクリックし、パスワードを設定します。

コマンド／ファイルの追加

メモ
- このセクションは Windows 95/98/Me ユーザー専用です。
- このセクションの画面は、Windows Me の画面です。

指定したコマンドやファイルを自動的にデータに追加して印刷します。

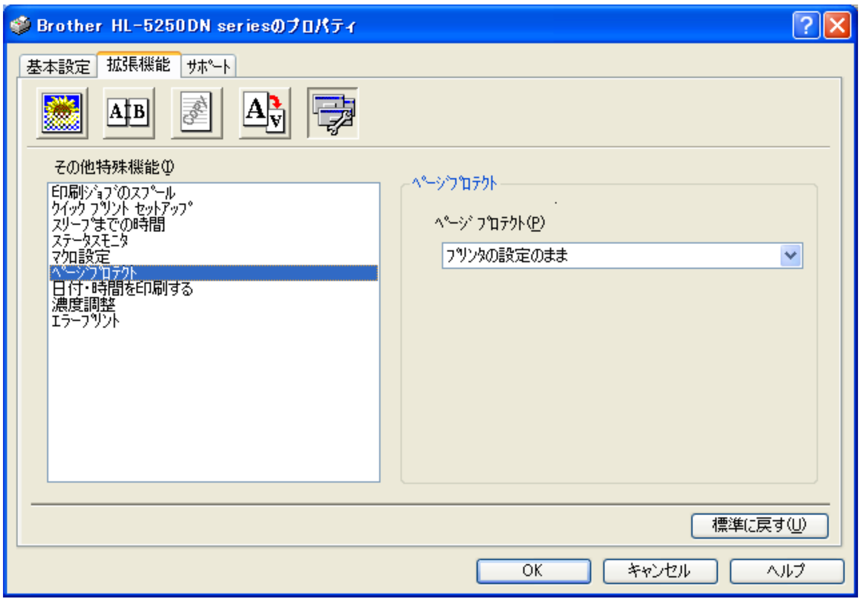


下記の 3 つの項目をデータに追加して印刷できます。
・Tiff 形式のファイル
・特定の文字列
・登録してあるマクロ ID

メモ
この機能の使いかたの詳細は、ヘルプ をクリックして表示されるプリンタドライバのヘルプを参照してください。

ページプロテクト

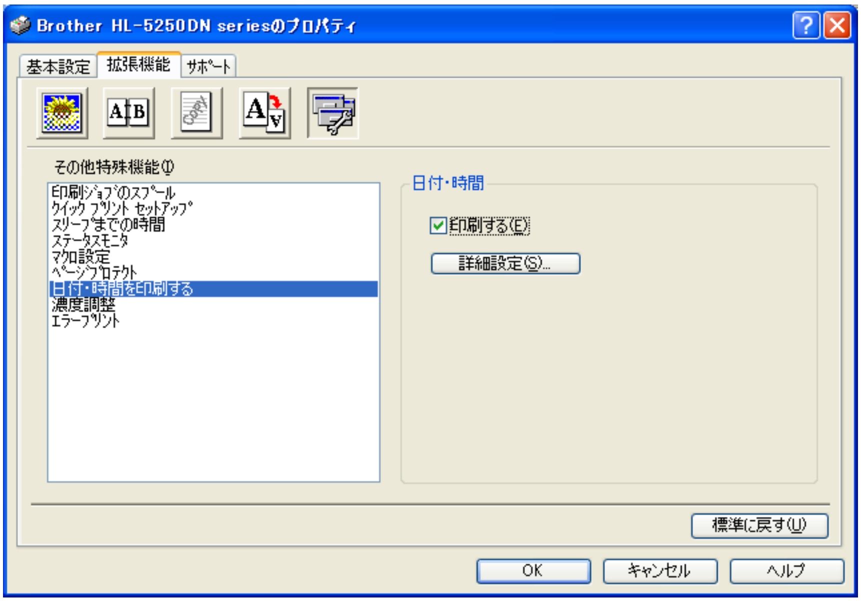
プリンタが用紙に印刷する前に、印刷データをいったんメモリに保存して、印刷される完全なページイメージをメモリ内に作成します。イメージが非常に複雑な文書を問題なく印刷するために、この機能を使って印刷に十分なメモリを設定します。
イメージのサイズは、「プリンタの設定のまま」「自動」「オフ」から選択できます。



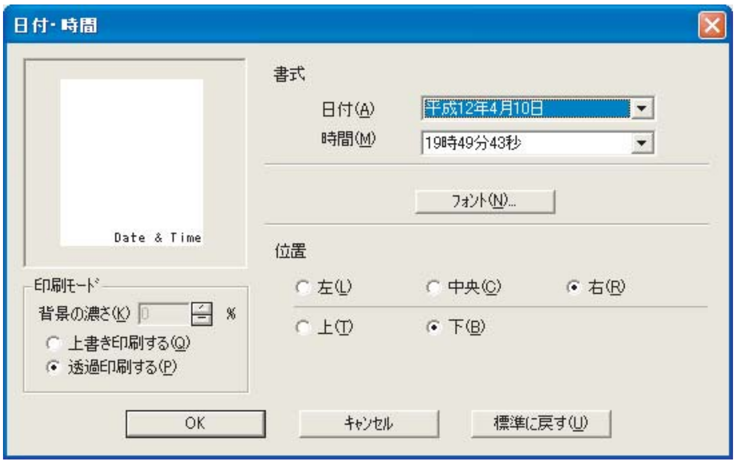
「プリンタの設定のまま」：	プリンタに設定されている初期設定が選択されます。 初期設定は「自動」です。
「自動」：	印刷に必要だと予想されるメモリ領域を自動で確保します。
「オフ」：	ページプロテクトの機能をオフにします。

日付・時間を印刷する

日付と時間を自動で文書に入れて印刷することができます。

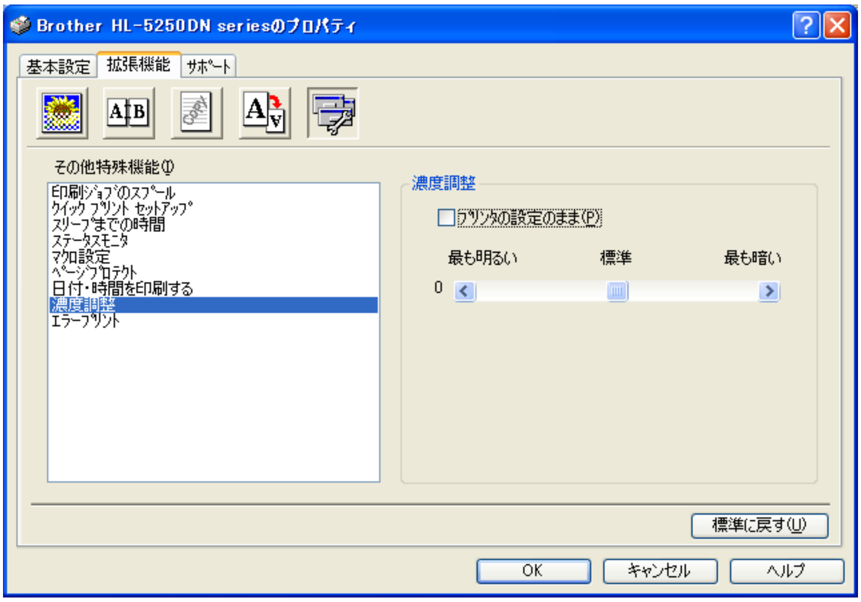


「印刷する」チェックボックスをチェックし、[詳細設定(S)]をクリックすると、［日付・時間］ダイアログボックスが表示されます。日付と時間の書式や印刷位置、印刷モードの各項目を設定してください。



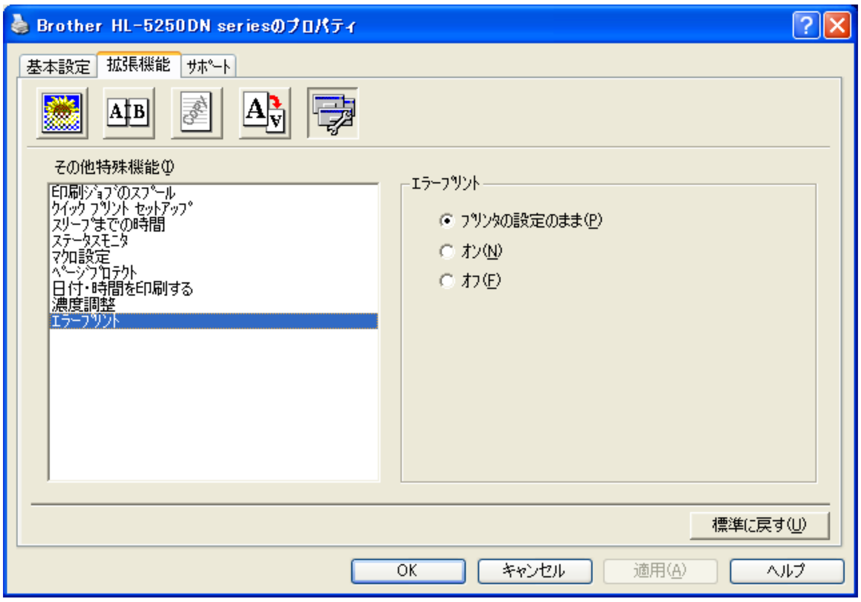
濃度調整

印刷時のトナーの密度を調節できます。
初期設定は、「プリンタの設定のまま」です。
手動でトナーの密度を変更するときは、「プリンタの設定のまま」チェックボックスのチェックを外し、調節します。



エラープリント

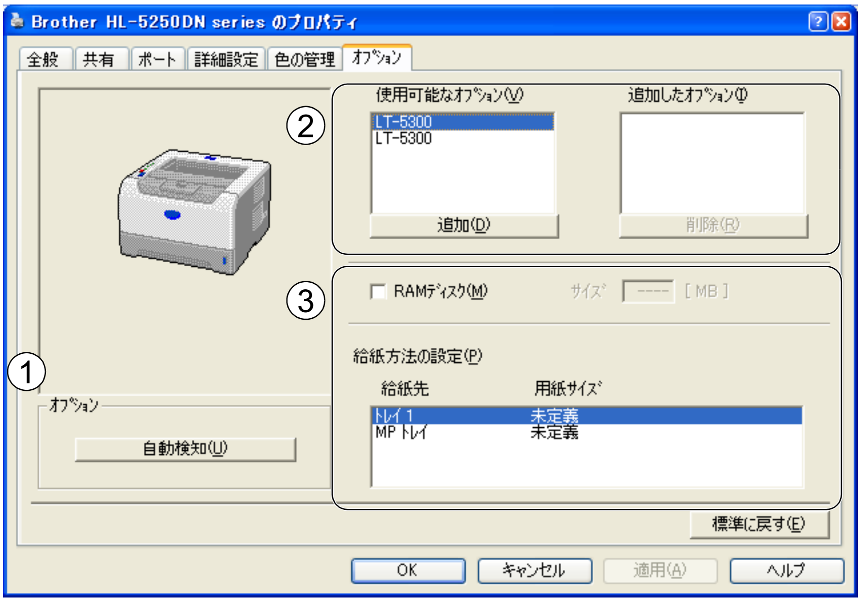
プリンタに問題が起こった場合、エラーメッセージを印刷して知らせます。
初期設定では「プリンタ設定のまま」になっており、エラープリントの機能が有効になっています。無効にする場合は、「オフ」に設定します。
エラーメッセージに対する解決方法は、「印刷によるエラーメッセージ」P.5-6 を参照してください。



［オプション］タブでの設定項目

プリンタにオプション品を取り付けたり、取り外したりしたときに設定します。

メモ
アプリケーションソフトの［ファイル］メニューの［印刷］から表示したプリンタドライバの設定画面では、［オプション］タブが表示されません。プリンタドライバの設定画面は、次の手順で［スタート］メニューから表示してください。
① Windows XP の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックします。
Windows 95/98/Me/2000、Windows NT 4.0 の場合は、［スタート］メニューから［設定］ － ［プリンタ］の順にクリックします。
②「Brother HL-5250DN（5240）series」のアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。
③「Brother HL-5250DN（5240）series のプロパティ」ダイアログボックスの［オプション］タブをクリックします。



［適用(A)］または［OK］をクリックして、変更した設定を確定します。標準（初期）設定に戻すときは［標準に戻す(U)］をクリックします。

①オプションの自動検知

自動検知機能は、現在取り付けられているオプション品を自動で認識し、オプション品の設定を自動で行います。

メモ
自動検知機能は、プリンタの条件によっては利用できない場合があります。

②オプションの設定を手動で追加、削除します。

「使用可能なオプション」欄のリストからプリンタに取り付けたオプション品をクリックし、［追加(D)］をクリックします。
「追加したオプション」欄にオプション品が追加されます。

③給紙方法の設定

それぞれの用紙トレイの用紙サイズを表示しています。
変更する場合は、給紙先をクリックしたあと、「用紙サイズ」を設定し、［変更(T)］をクリックします。

[サポート] タブでの設定項目

プリンタドライバのバージョンを確認できます。また、「ブラザーソリューションセンター」にアクセスしたり、現在のプリンタドライバの設定内容が確認できます。

① Brother Solutions Center

クリックすると、サポートページ「ブラザーソリューションセンター」(http://solutions.brother.co.jp)にアクセスします。最新バージョンのプリンタドライバやソフトウェアをはじめ、Q&A、便利な機能紹介、その他本機をご使用いただく上で有益な情報をご用意しています。ぜひご利用ください。

②設定の確認

クリックすると、現在のプリンタドライバの基本的な設定の一覧が表示されます。

Macintosh 用プリンタドライバを設定する

本機は、Mac OS 9.1 ～ 9.2、Mac OS X 10.2.4 以降に対応しています。
最新のプリンタドライバやその他の情報は、「ブラザーソリューションセンター」（**http://solutions.brother.co.jp/**）から入手できます。

> **メモ** このセクションの画面は、Mac OS X 10.4 の画面です。ご使用のパソコン画面は、オペレーティングシステムによって異なります。

ブラザーレーザードライバの設定方法

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択します。**

「HL-5250DN（5240）series」が表示されていることを確認します。

右の画面が表示され、次の項目が設定できます。

・用紙サイズ　・方向　・拡大縮小

2 **設定が終わったら、OK をクリックします。**

3 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

HL-5250DN（5240）のプリンタが選択されていることを確認します。

4 **ポップアップメニューから項目を選択します。**

右の画面が表示され、次の項目が設定できます。

①印刷部数と印刷ページ
- 部数
- ページ

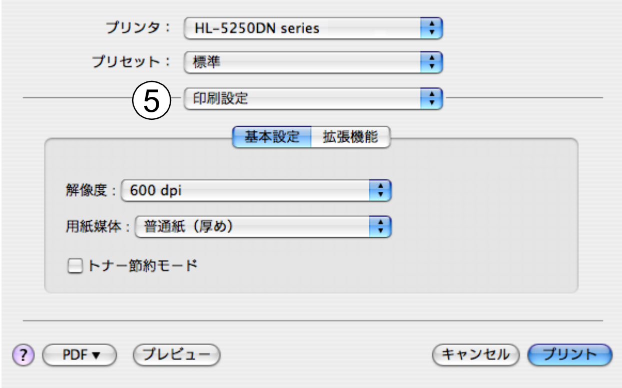
②レイアウト
・ページ数／枚
・レイアウト方向
・境界線

③両面印刷
● 自動両面印刷の場合（HL-5250DN のみ）
（Mac OS X 10.2 を除く）
［レイアウト］を選択し、［両面］で「長辺とじ」または「短辺とじ」を選択します。

● 手動両面印刷の場合
（Mac OS X 10.2 を除く）
［用紙処理］を選択し、［プリント］で「奇数ページ」、「偶数ページ」の順に印刷します。

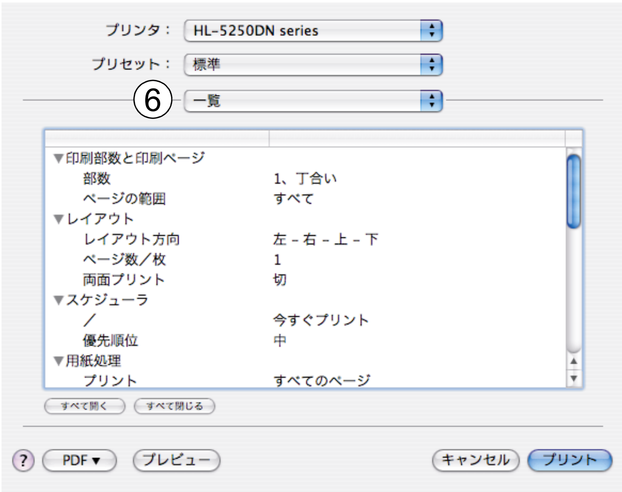
④給紙
・給紙方法

⑤印刷設定
（基本設定）
・解像度
・用紙媒体
・トナー節約モード



（拡張機能）
・印刷品質
・スリープまでの時間

⑥一覧



5 **設定が終わったら、プリント をクリックしてプリントします。**

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

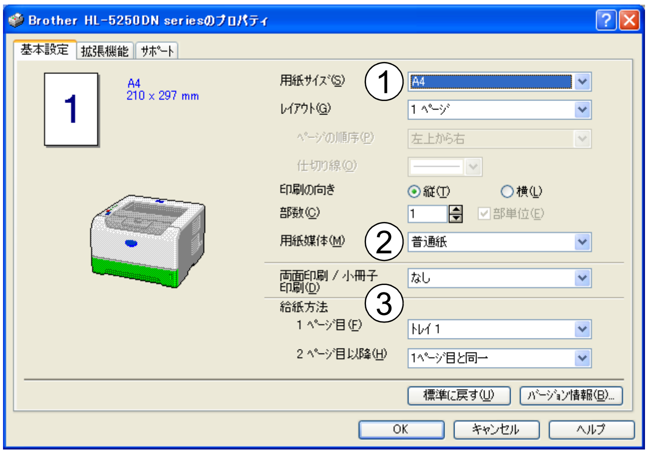
普通紙や再生紙に印刷する

普通紙や再生紙は、用紙トレイまたは多目的トレイから印刷できます。
使用できる用紙の種類やサイズについては、「使用できる用紙と領域」P.1-13 を参照してください。

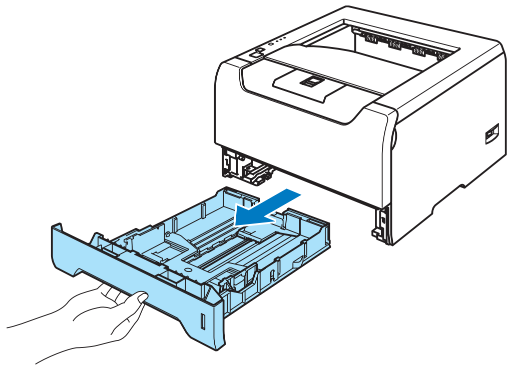
用紙トレイから印刷する

1 **プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。**

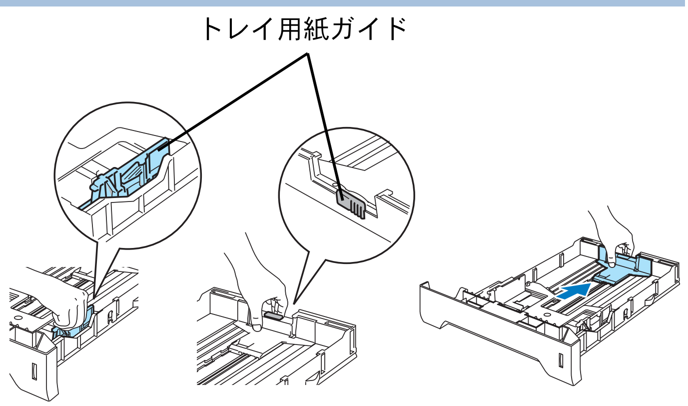
①用紙サイズ ：任意選択
②用紙媒体 ：普通紙、普通紙（厚め）、再生紙
③給紙方法 1 ページ目：トレイ 1（トレイ 2 / 3）



2 **プリンタから用紙トレイを引き出します。**

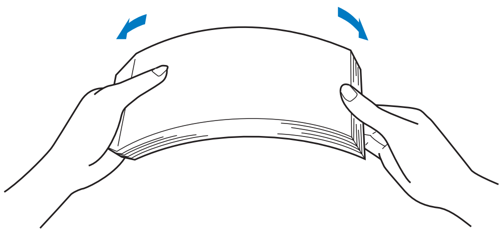


3 **青色のトレイ用紙ガイドをつまみながらスライドさせて、印刷する用紙のサイズに合わせます。**



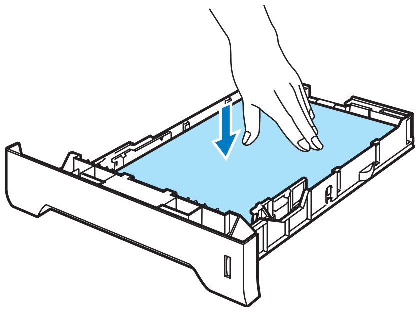
安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

4 紙づまりや給紙ミスを防ぐために、用紙をさばきます。

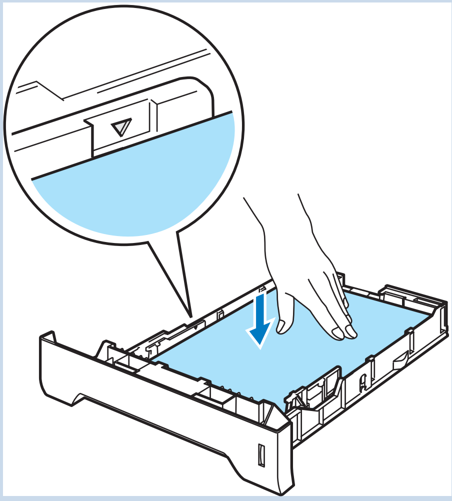


5 用紙トレイに用紙を入れます。

用紙は少しずつ入れてください。一度にたくさん入れると紙づまりや給紙ミスの原因になります。
用紙が平らになっていることを確認してください。



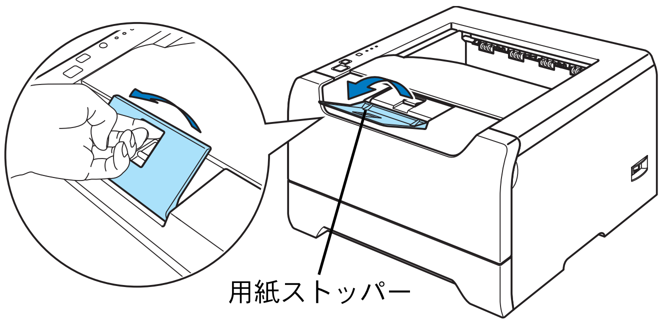
- 用紙は 250 枚まで用紙トレイに入れることができます（▼マークまで）。それより多く入れますと紙づまりが起こる可能性があります。
- 片面をすでに印刷した用紙に印刷する場合には、印刷する面（白紙面）を下向きに（用紙の上部がトレイの前側にくるように）して、セットしてください。



6 用紙トレイをプリンタ本体に戻します。

しっかりと奥までセットされているか確認してください。

7 **印刷された用紙が、上面排紙トレイから滑り落ちないように用紙ストッパーを開きます。**



8 **印刷データをプリンタに送ります。**

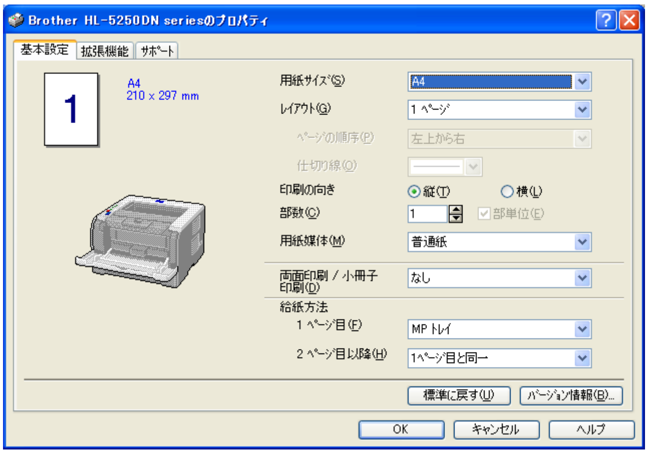
多目的トレイ（MP トレイ）から印刷する

メモ

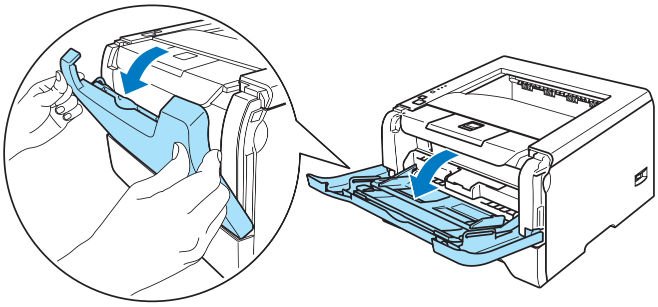
- 多目的トレイから用紙を挿入すると、プリンタは自動的に多目的トレイからの印刷モードに切り替わります。
- 多目的トレイのプリンタドライバ上での名称は MP トレイです。

1 プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。

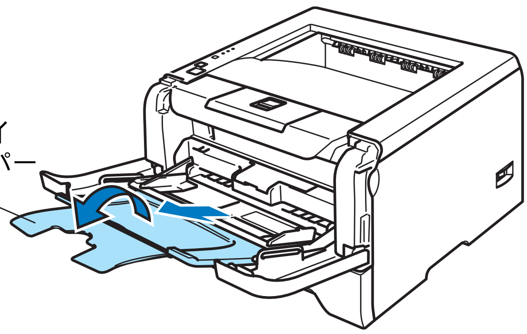
①用紙サイズ ：任意選択
②用紙媒体 ：普通紙、普通紙（厚め）、ボンド紙、再生紙
③給紙方法 1 ページ目：MP トレイ



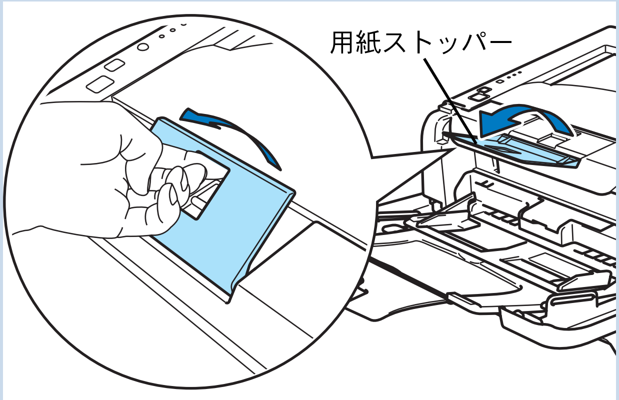
2 多目的トレイをゆっくりと開けます。



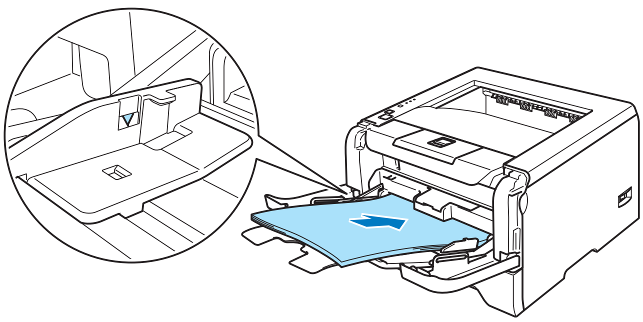
3 多目的トレイ用紙ストッパーを引き出します。



- 印刷された用紙が、上面排紙トレイから滑り落ちないように用紙ストッパーを開いてください。
- 用紙ストッパーを開かない場合には、プリンタから出てきた用紙をすぐに取り除くことをおすすめします。



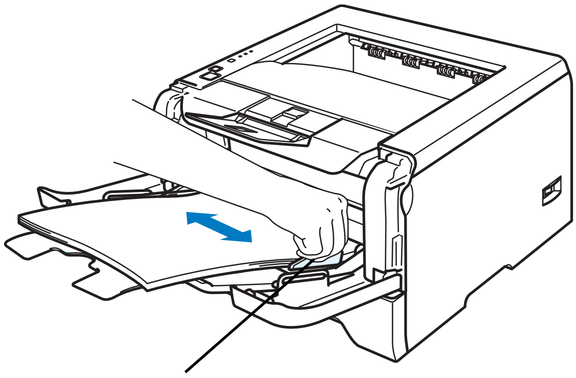
4 多目的トレイに用紙を挿入します。



多目的トレイに用紙を挿入するときは、次の点に注意してください。
- 1 番上に置かれた用紙から、上の面に印刷されます。
- 多目的トレイには用紙を 50 枚まで入れることができます（80g/m^2）。それ以上挿入すると紙づまりを起こす恐れがあります。
- 用紙は用紙ガイドの両側にある▼マークより下に収まるように入れてください。
- はじめに用紙の先端を入れ、ゆっくりと挿入してください。
- 用紙は、多目的トレイの適切な位置にまっすぐ挿入してください。用紙が正しく挿入されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりする恐れがあります。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

5 用紙ガイドをつまみながらスライドさせて、印刷する用紙サイズの幅に合わせます。



6 印刷データをプリンタに送ります。

OHP フィルムに印刷する

OHP フィルムは、用紙トレイ、多目的トレイから印刷できます。

使用できる OHP フィルムの種類やサイズについては、「使用できる用紙と領域」 P.1-13 を参照してください。

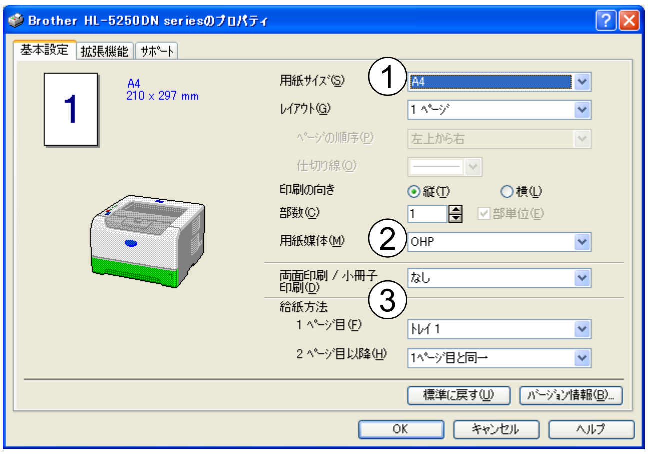
- レーザープリンタ印刷用の OHP フィルムをご使用ください。
- レーザープリンタの内部は印刷中高温になりますので、その熱に耐え得る素材の OHP フィルムをご使用ください。
- 印刷されたばかりの OHP フィルムは高温になっている恐れがあります。印刷直後は触らないでください。
- 種類の異なる OHP フィルムを同時に用紙トレイに入れないでください。紙づまりや給紙ミスが起こる恐れがあります。
- 正しく印刷するためには、アプリケーションソフトウェアのプリントメニューで、印刷する用紙サイズの設定とトレイにセットされた用紙のサイズの設定を同じにしてください。

用紙トレイから印刷する

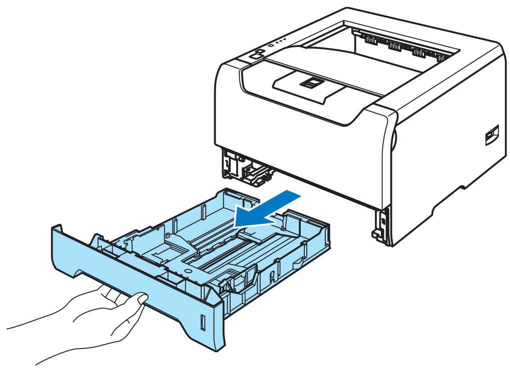
メモ　用紙トレイには、OHP フィルムを 10 枚まで入れることができます。

1 プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。

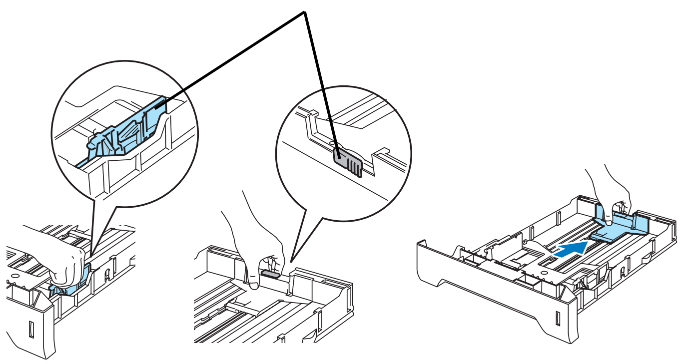
①用紙サイズ　：A4
②用紙媒体　　：OHP
③給紙方法 1 ページ目：トレイ 1



2 プリンタから用紙トレイを引き出します。



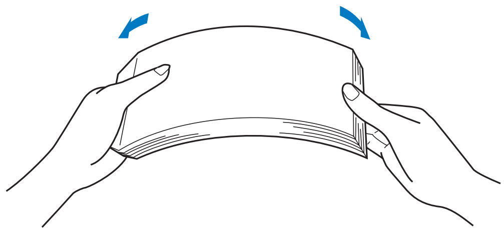
3 青色のトレイ用紙ガイドをつまみながらスライドさせて、印刷する用紙のサイズに合わせます。



安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

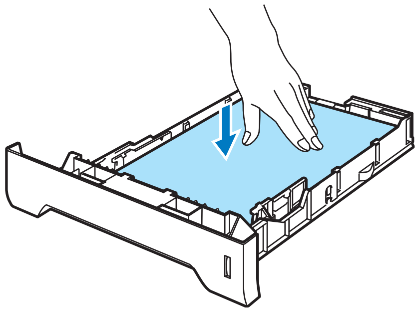
4 紙づまりや給紙ミスを防ぐために、OHP フィルムをさばきます。

OHP フィルムは少しずつ入れて下さい。一度にたくさん入れると紙づまりや給紙ミスの原因になります。

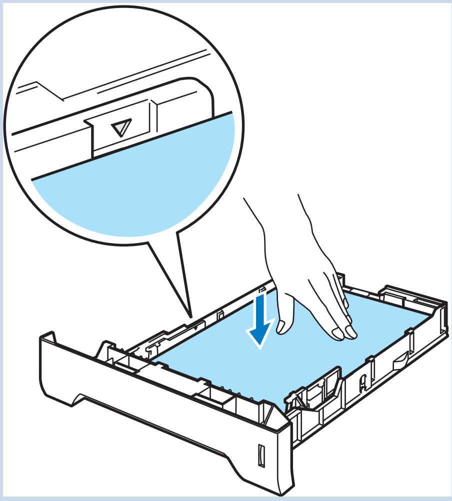


5 用紙トレイに OHP フィルムを入れます。

OHP フィルムが平らになっていることを確認してください。



OHP フィルムは 10 枚まで用紙トレイに入れることができます。それより多く入れますと紙づまりが起こる可能性があります。

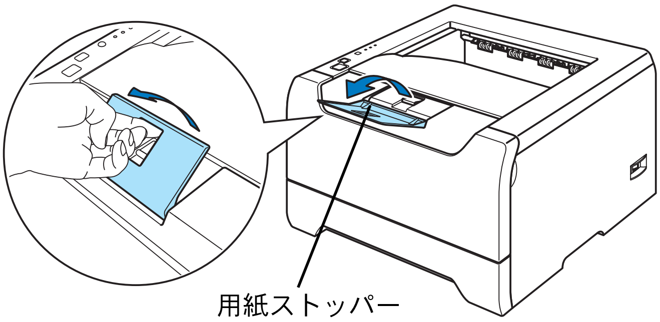


6 用紙トレイをプリンタに戻します。

しっかりと奥までセットされているか確認してください。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

7 **印刷された OHP フィルムが、上面排紙トレイから滑り落ちないように用紙ストッパーを開きます。**



8 **印刷データをプリンタに送ります。**

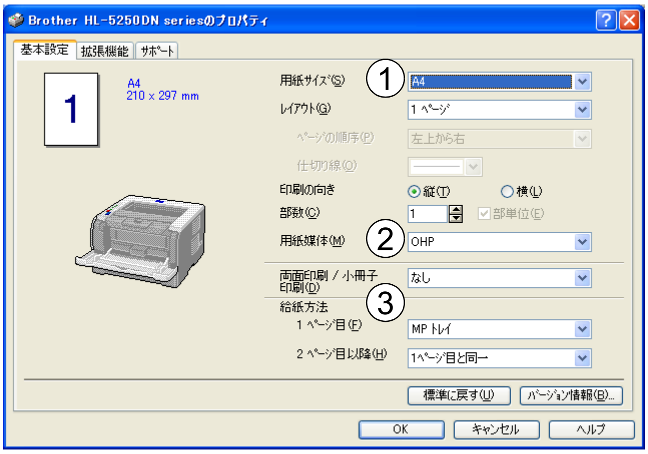
多目的トレイ（MP トレイ）から印刷する

メモ

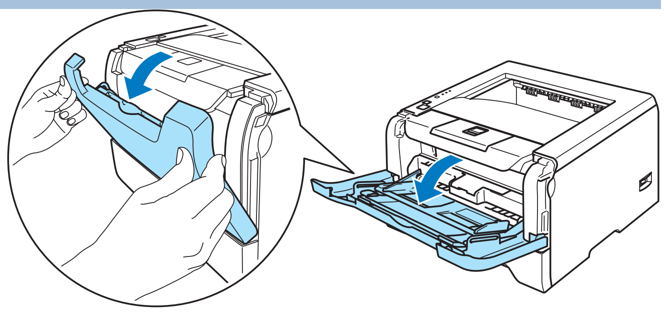
- 多目的トレイから OHP フィルムを挿入すると、プリンタは自動的に多目的トレイからの印刷モードに切り替わります。
- 多目的トレイのプリンタドライバ上での名称は MP トレイです。

1 プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。

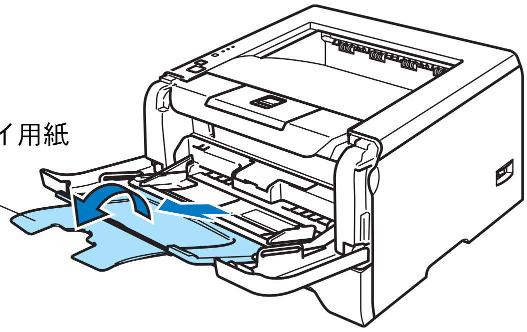
①用紙サイズ ：A4
②用紙媒体 ：OHP
③給紙方法 1 ページ目：MP トレイ



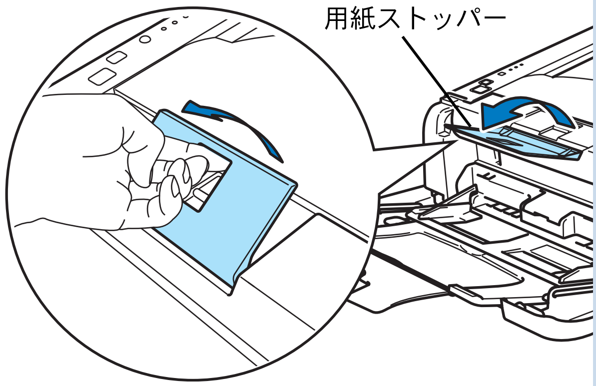
2 多目的トレイをゆっくりと開けます。



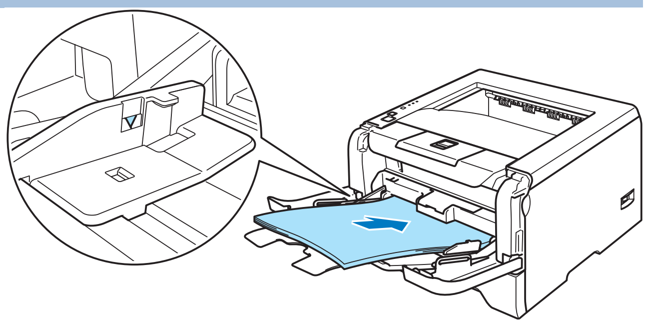
3 多目的トレイ用紙ストッパーを引き出します。



- 印刷された OHP フィルムが、上面排紙トレイから滑り落ちないように用紙ストッパーを開いてください。

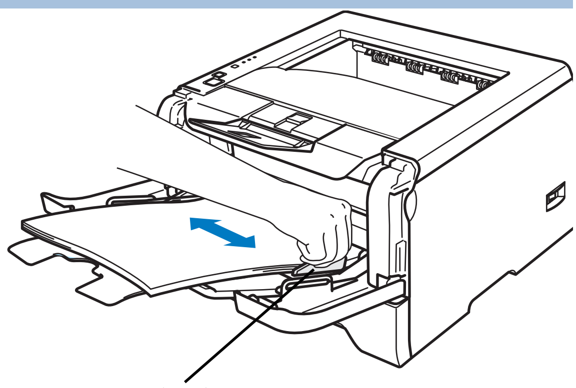


4 多目的トレイに OHP フィルムを入れます。



多目的トレイに OHP フィルムを挿入するときは、次の点に注意してください。
- 1 番上に置かれた OHP フィルムから、上の面に印刷されます。
- 多目的トレイには OHP フィルムを 10 枚まで入れることができます。それより多く入れますと紙づまりが起こる可能性があります。
- OHP フィルムは用紙ガイドの両側にある▼より下に収まるように入れてください。
- OHP フィルムは、多目的トレイの適切な位置にまっすぐ挿入してください。OHP フィルムが正しく挿入されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりする恐れがあります。

5 用紙ガイドをつまみながらスライドさせて、印刷する OHP フィルムの幅に合わせます。



6 印刷データをプリンタに送ります。

印刷された OHP フィルムは上面排紙トレイからすぐに取り除いてください。
印刷された OHP フィルムをためておくと反りや紙づまりの原因になります。

官製はがきに印刷する

官製はがきは、用紙トレイ、多目的トレイから印刷できます。

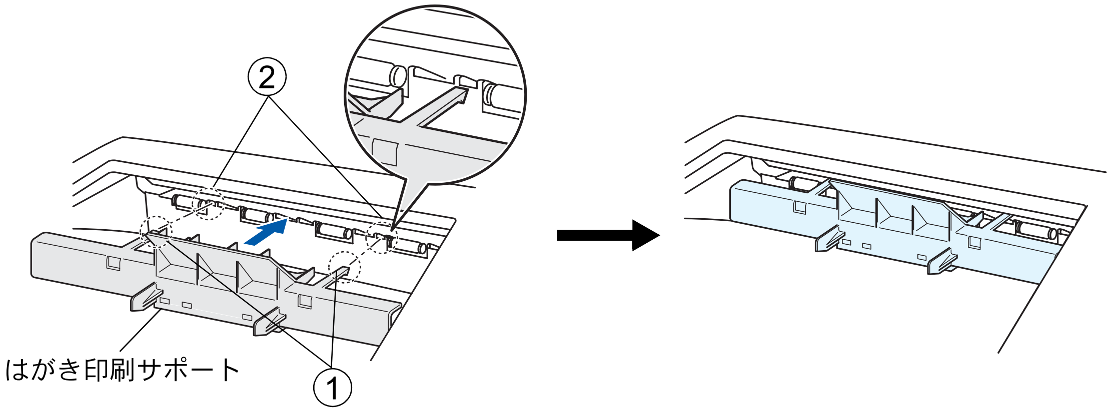
メモ
使用できる用紙の種類やサイズについては、「使用できる用紙と領域」P.1-13 を参照してください。

はがき印刷サポートについて

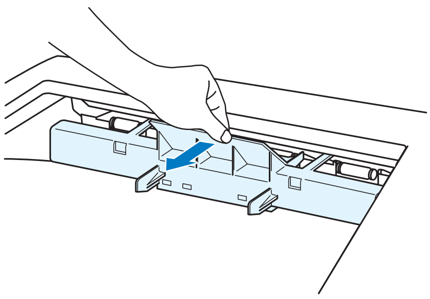
官製はがきを印刷するときに、印刷された官製はがきが上面排紙トレイから滑り落ちたり、印刷された官製はがきの反りが気になったりする場合は、はがき印刷サポートP.1-3 を取り付けてから印刷してください。

はがき印刷サポートの取付方法

下図のように、①のツメを②に引っ掛けるようにして取り付けてください。
(はがき印刷サポートを排紙口の前に置いて、カチッと音がするまで奥に押し込むと、簡単に取り付けることができます。)



はずす場合は、下図のように「はがき印刷サポート」の中央上部を持って手前に引いてください。



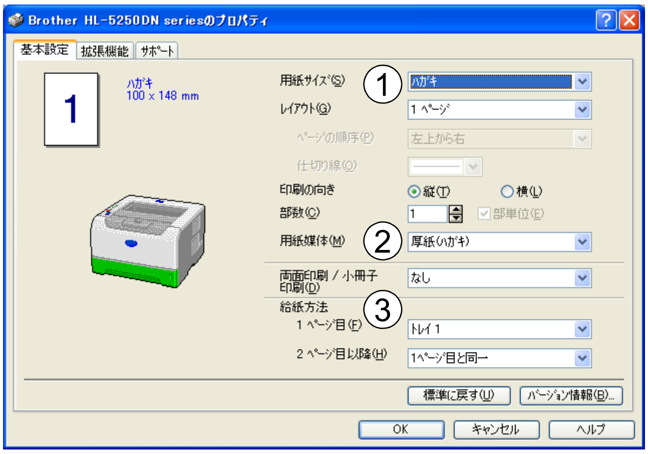
「はがき印刷サポート」は、官製はがき以外の用紙を印刷するときには、使用しないでください。印刷された最後の 1 枚は、「はがき印刷サポート」上に残りますので手で取り出してください。

用紙トレイから印刷する

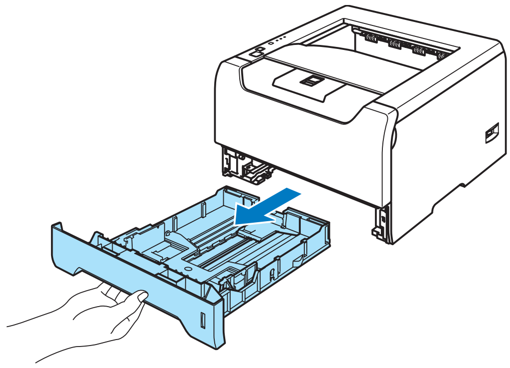
> **メモ**
> 用紙トレイには、官製はがきを 30 枚まで入れることができます。
> オプションのローワートレイユニットから官製はがきを印刷することはできません。

1 プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。

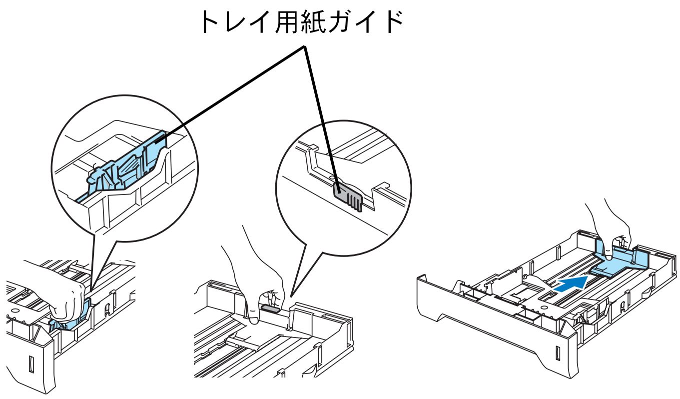
①用紙サイズ ：ハガキ
②用紙媒体　 ：厚紙、（ハガキ）、超厚紙
③給紙方法 1 ページ目 ：トレイ 1



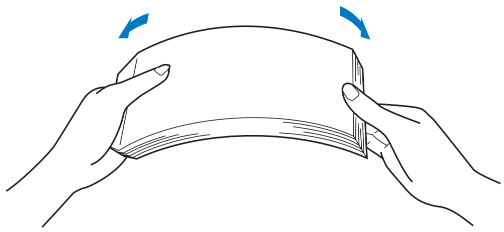
2 プリンタ本体から用紙トレイを引き出します。



3 青色のトレイ用紙ガイドをつまみながらスライドさせて、「はがき」の表示位置に合わせます。

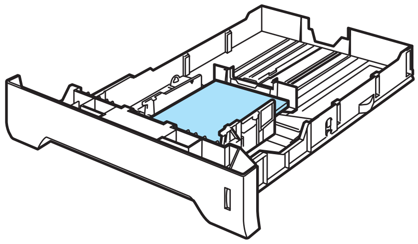


4 紙づまりや給紙ミスを防ぐために、官製はがきをさばきます。



5 用紙トレイに官製はがきをセットします。

官製はがきが平らになっていることを確認してください。



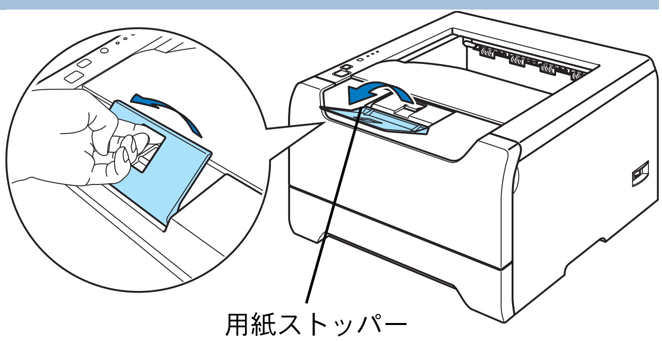
- 用紙トレイには官製はがきを 30 枚まで入れることができます。それより多く入れますと紙づまりが起こる可能性があります。

6 用紙トレイをプリンタ本体に戻します。

しっかりと奥までセットされているか確認してください。

7 印刷された官製はがきが、上面排紙トレイから滑り落ちないように用紙ストッパーを開きます。

それでも滑り落ちたり、反りが気になったりする場合は、「はがき印刷サポートについて」P.2-47 を参照してください。



上面排紙トレイに印刷された官製はがきは、すぐに取り除くことをおすすめします。

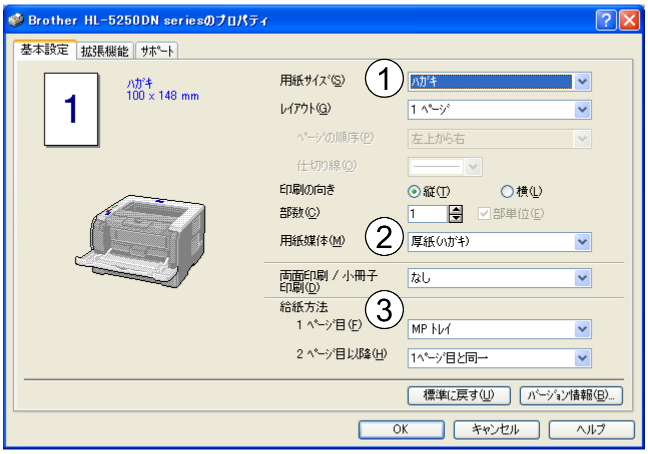
8 印刷データをプリンタに送ります。

多目的トレイ（MP トレイ）から印刷する

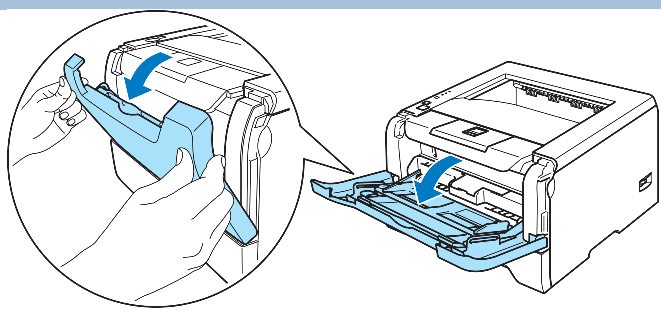
メモ
- 多目的トレイから用紙を挿入すると、プリンタは自動的に多目的トレイからの印刷モードに切り替わります。
- 多目的トレイのプリンタドライバ上での名称は MP トレイです。

1 プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。

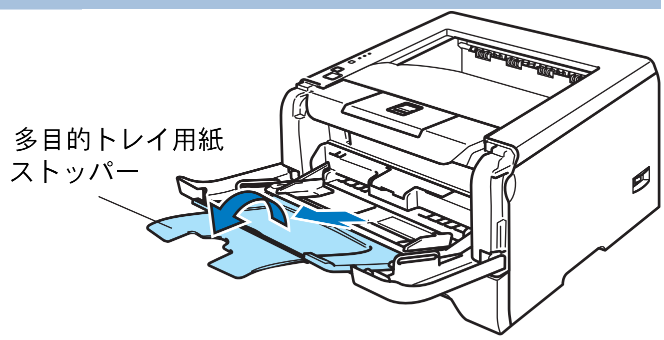
①用紙サイズ ：ハガキ
②用紙媒体 ：厚紙、（ハガキ）、超厚紙
③給紙方法 1 ページ目：MP トレイ



2 多目的トレイをゆっくりと開けます。

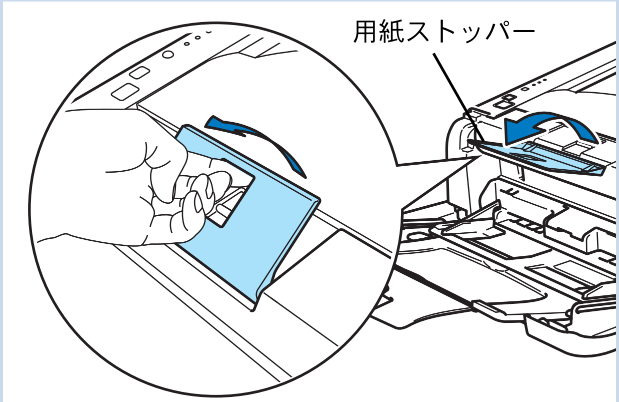


3 多目的トレイ用紙ストッパーを引き出します。

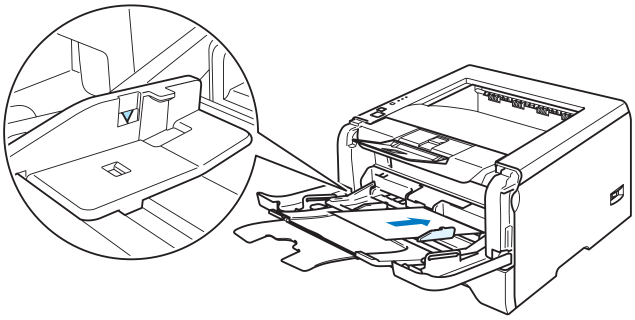


安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

- 印刷された官製はがきが、上面排紙トレイから滑り落ちないように用紙ストッパーを開きます。
- 上面排紙トレイに印刷された官製はがきは、すぐに取り除くことをおすすめします。
- 官製はがきを印刷するときに、滑り落ちたり、反りが気になったりする場合は、「はがき印刷サポートについて」P.2-47 を参照してください。

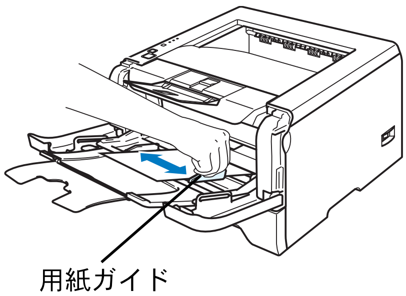


4 多目的トレイに官製はがきを挿入します。



多目的トレイに官製はがきを挿入するときは、次の点に注意してください。
- 1 番上に置かれた官製はがきから、上の面に印刷されます。
- 多目的トレイには官製はがきを 10 枚まで入れることができます。それより多く入れますと紙づまりが起こる可能性があります。
- 官製はがきはトレイ用紙ガイドの両側にある▼より下に収まるように入れてください。
- 官製はがきは、多目的トレイの適切な位置にまっすぐ挿入してください。官製はがきが正しく挿入されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりする恐れがあります。

5 用紙ガイドをつまみながらスライドさせて、印刷する官製はがきのサイズの幅に合わせます。



6 印刷データをプリンタに送ります。

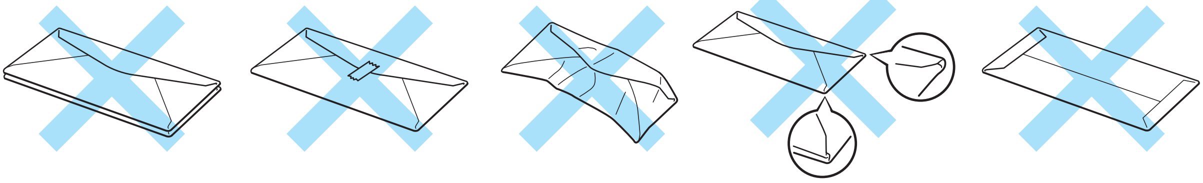
安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

封筒に印刷する

封筒は、多目的トレイから印刷できます。

使用できない封筒

下記のような封筒は使用しないでください。
・破れ、反り、しわのある封筒、または規格外の封筒
・極端に光沢のある封筒、表面がすべりやすい封筒
・とめ金、スナップ、ひもなどが付いた封筒
・粘着加工を施した封筒
・袋状加工の封筒
・折り目がしっかりついていない封筒
・エンボス加工の封筒
・レーザープリンタで一度印刷された封筒
・内部が印刷された封筒
・一定に積み重ねられない封筒
・プリンタの印刷可能用紙坪量指定を超える用紙で製造されている封筒
・作りが不良で、端部がまっすぐでなかったり、一貫して四角になっていない封筒
・透明な窓付、穴付、くりぬき付、ミシン目付などの封筒
・タテ形（和形）の封筒



上記の種類の封筒を使用すると、プリンタが故障する可能性があります。
この場合の故障は保証またはサービス契約の対象には含まれませんのでご注意ください。

- いろいろな種類の封筒を同時にセットしないでください。紙づまりや給紙ミスを起こす恐れがあります。
- 封筒に両面印刷することはできません。
- 正しく印刷するには、アプリケーションソフトでの用紙サイズの設定とトレイにセットされた用紙のサイズの設定を同じにしてください。
- 「使用できる用紙と領域」P.1-13 を参照してください。

ほとんどの封筒は印刷できますが、封筒の仕上りによっては、給紙や印刷品質に問題が起こる場合があります。
レーザープリンタ用の高品質の封筒を購入してください。
たくさんの封筒を購入する前に、必ず小部数を印刷して正しく印刷されることを確認してから購入してください。

メモ

特に推奨する封筒のメーカーはありません。上記の「使用できない封筒」に該当しない、印刷に適した封筒をお選びください。

多目的トレイ（MP トレイ）から印刷する

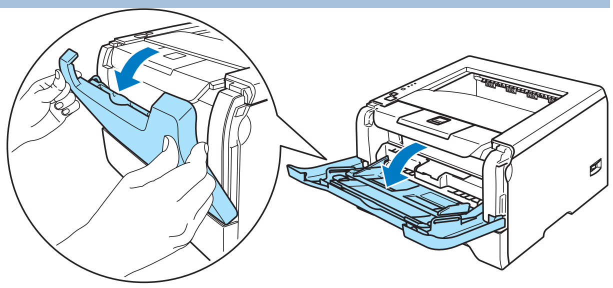
メモ

- 多目的トレイから用紙を挿入すると、プリンタは自動的に多目的トレイからの印刷モードに切り替わります。
- 多目的トレイのプリンタドライバ上での名称は MP トレイです。

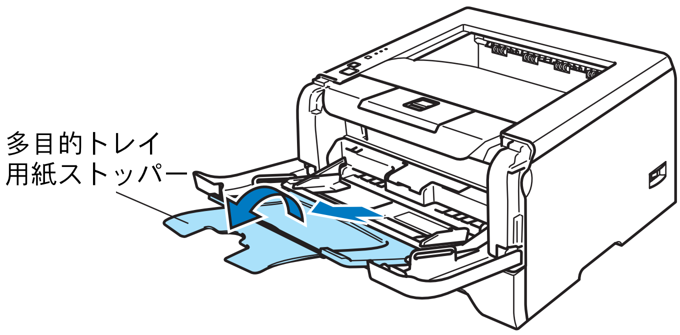
1 プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。

①用紙サイズ ：洋形 4 号、洋形最大
②用紙媒体 ：封筒、封筒（厚め）、封筒（薄め）
③給紙方法 1 ページ目：MP トレイ

2 多目的トレイをゆっくりと開けます。



3 多目的トレイ用紙ストッパーを引き出します。



安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

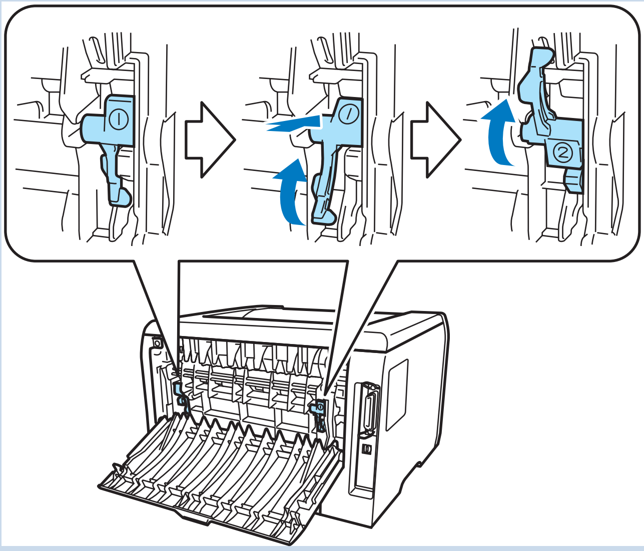
印刷した封筒にしわや折り目が付く場合

バックカバーを開け、下記の手順通りに左右の青色のレバーを押し上げます。

・数字①の部分を押すと、レバーが前方に出ます。

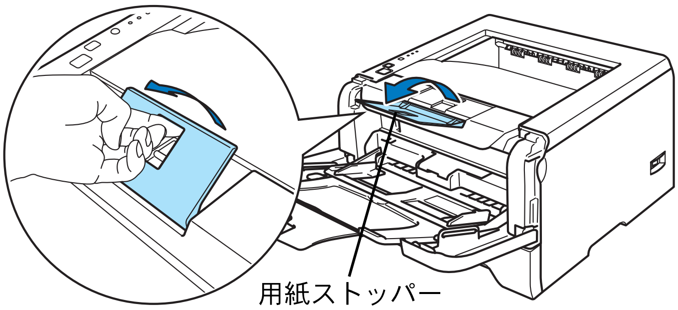
・そのレバーを完全に止まる所まで押し上げます（数字②の部分が見える状態になります）。

・バックカバーを閉じて、印刷データをプリンタに送ります。

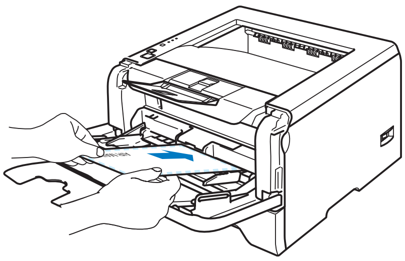


・印刷が終了したら、バックカバーを開け、青色のレバーを元の位置に戻して下さい。（数字①の部分が見える状態になります）

4 印刷された封筒が、上面排紙トレイから滑り落ちないように用紙ストッパーを開きます。



5 多目的トレイに封筒を挿入します。

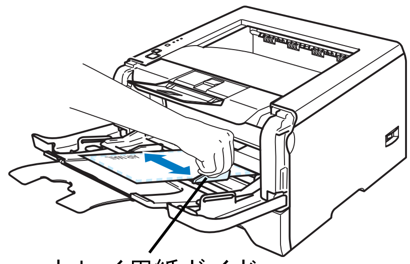


安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

多目的トレイに封筒を挿入するときは、次の点に注意してください。

- 1 番上に置かれた封筒から、上の面に印刷されます。
- 多目的トレイには 3 枚まで封筒を入れることができます。それより多く入れますと紙づまりが起こる可能性があります。
- 封筒は用紙ガイドの両側にある▼マークより下に収まるように入れてください。
- 封筒は、多目的トレイの適切な位置にまっすぐ挿入してください。封筒が正しく挿入されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりする恐れがあります。

6 用紙ガイドをつまみながらスライドさせて、印刷する封筒の幅に合わせます。



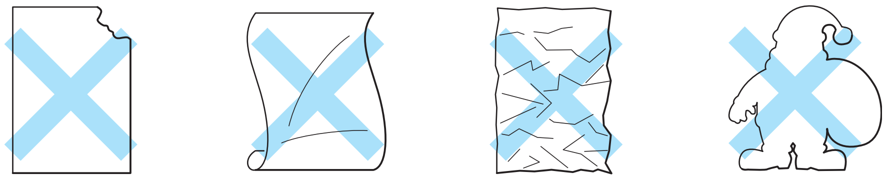
7 印刷データをプリンタに送ります。

ラベル紙に印刷する

ラベル紙は、多目的トレイから印刷できます。

ラベル紙に関する注意点

- 破れ、反り、しわのある用紙、規格外の用紙はご使用にならないでください。
- 台紙が付いていないラベル紙は使用しないでください。プリンタに損傷を与えることがあります。
- すでに部分的にはがしてあるラベル紙は、使用しないでください。
- レーザープリンタ印刷用紙のラベル紙をご使用いただくことをおすすめします。
- レーザープリンタの内部は印刷中高温になりますので、その熱に耐え得る素材のラベル紙をご使用ください。



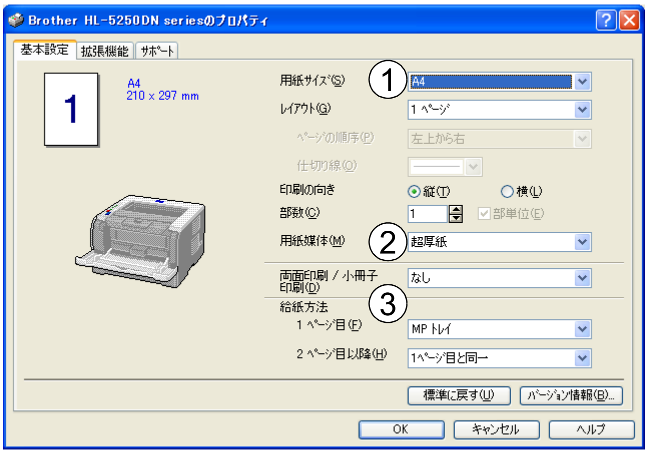
安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

多目的トレイ（MP トレイ）から印刷する

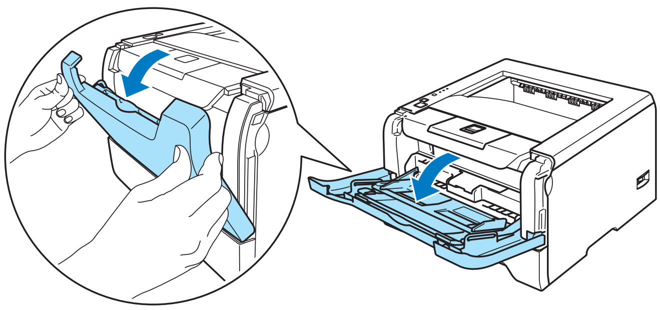
メモ
- 多目的トレイからラベル紙を挿入すると、プリンタは自動的に多目的トレイからの印刷モードに切り替わります。
- 多目的トレイのプリンタドライバ上での名称は MP トレイです。

1 プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などを設定します。

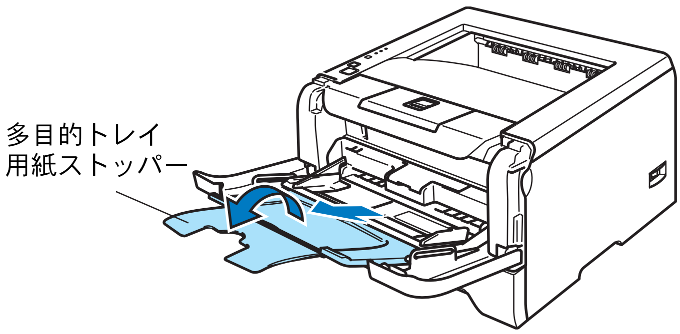
①用紙サイズ ：A4、レター
②用紙媒体 ：超厚紙
③給紙方法 1 ページ目：MP トレイ



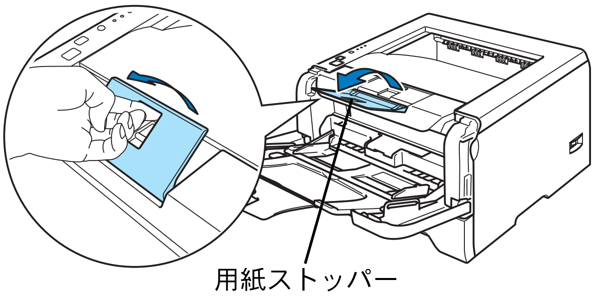
2 多目的トレイをゆっくりと開けます。



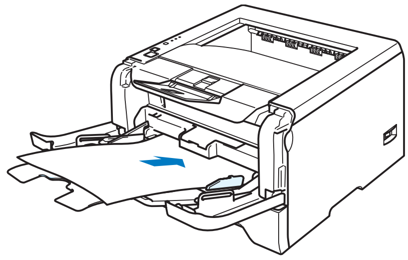
3 多目的トレイ用紙ストッパーを引き出します。



4 印刷されたラベル紙が、上面排紙トレイから滑り落ちないように用紙ストッパーを開きます。



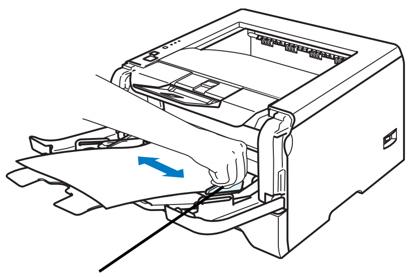
5 多目的トレイにラベル紙を 1 枚挿入します。



多目的トレイにラベル紙を挿入するときは、次の点に注意してください。

- ラベル紙は 1 枚づつセットしてください。
- ラベル紙の上の面から印刷されます。
- ラベル紙は用紙ガイドの両側にある▼マークより下に収まるように入れてください。
- はじめにラベル紙の先端を入れ、ゆっくりと挿入してください。
- ラベル紙は、多目的トレイの適切な位置にまっすぐ挿入してください。ラベル紙が正しく挿入されないと、斜めに印刷されたり、紙づまりを起こしたりする恐れがあります。

6 用紙ガイドをつまみながらスライドさせて、印刷するラベル紙サイズの幅に合わせます。



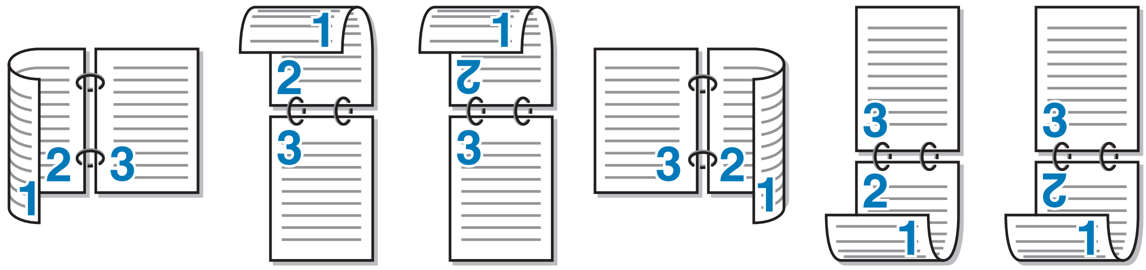
7 印刷データをプリンタに送ります。

両面印刷する

設定についての詳細は、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

メモ　Mac OS X 10.2 では、手動両面印刷機能を使用することはできません。

両面印刷の例



両面印刷に関する注意点

- 用紙が薄い場合は、しわが付く可能性があります。
- 用紙が反っている場合は、まっすぐに伸ばしてから用紙トレイに入れてください。
- ボンド紙は使用できません。
- 用紙が正常に給紙されないときは、用紙が反っている恐れがあります。用紙を取り出してまっすぐに伸ばしてください。

両面印刷の機能を使うと、紙づまりが起こったり、印字品質が落ちることがあります。紙づまりが起こった場合は、「紙づまりが起きたときは」P.5-8 を参照してください。

手動両面印刷のポイント

- 用紙トレイを使った手動両面印刷で、偶数ページ（裏面）の印刷が終了して奇数ページ（表面）の印刷を開始するときは、用紙トレイ内に残っている用紙を一度取り出してください。その後、偶数ページ（裏面）を印刷した用紙のみを用紙トレイに入れてください。そのとき印刷する面を下向きに入れてください。（印刷されていない用紙の上に、印刷された用紙を重ねないでください。）

用紙トレイまたはローワートレイユニット（オプション）

トレイに用紙を入れたときの下面が、はじめに印刷面になります。

- はじめに印刷する面を下向き、用紙の上がトレイの前側にくるようにして、トレイに用紙を入れます。偶数ページ（裏面）が印刷されます。
- 偶数ページ（裏面）の印刷された面が上向き、用紙の上がトレイの前側になり、奇数ページ（表面）が印刷されます。

1 枚目の用紙にレターヘッド用紙を使用する場合

- レターヘッドが印刷された面を上向き、用紙の上がトレイの前側にくるようにして、トレイに用紙を入れます。
- レターヘッドが印刷された面が下向き、用紙の上がトレイの前側になり、奇数ページ（表面）が印刷されます。

多目的トレイの場合

多目的トレイに用紙を入れたときの上面が、印刷面になります。

- はじめに印刷する面を上向き、用紙の上がトレイの前側にくるようにして、多目的トレイに用紙を入れます。偶数ページ（裏面）が印刷されます。
- 偶数ページ（裏面）の印刷された面が下向き、用紙の上がトレイの前側になり、奇数ページ（表面）が印刷されます。

1 枚目の用紙にレターヘッド用紙を使用する場合

- レターヘッドが印刷された面を下向き、用紙の上が多目的トレイの前側にくるようにして、多目的トレイに用紙を入れます。
- レターヘッドが印刷された面が上向き、用紙の上がトレイの前側になり、奇数ページ（表面）が印刷されます。

自動両面印刷のポイント（HL-5250DN のみ）

はじめに偶数ページ（裏面）が印刷されます。
例えば、用紙 5 枚を使って 10 ページ分印刷する場合、まず 1 枚目の 2 ページ→ 1 ページ、2 枚目の 4 ページ→ 3 ページ、3 枚目の 6 ページ→ 5 ページ ... と順に印刷されます。

自動両面印刷する場合は、次の方法で用紙トレイまたは多目的トレイに用紙を入れてください。

用紙トレイまたはローワートレイユニット（オプション）

トレイに用紙を入れたときの下面が、はじめに印刷面になります。

- はじめに印刷する面を下向き、用紙の上がトレイの前側にくるようにして、トレイに用紙を入れます。偶数ページ（裏面）が印刷されます。
- 偶数ページ（裏面）の印刷された面が上向き、用紙の上がトレイの前側になり、奇数ページ（表面）が印刷されます。

1 枚目の用紙にレターヘッド用紙を使用する場合

- レターヘッドが印刷された面を上向き、用紙の上がトレイの前側にくるようにして、トレイに用紙を入れます。
- レターヘッドが印刷された面が下向き、用紙の上がトレイの前側になり、奇数ページ（表面）が印刷されます。

多目的トレイの場合

多目的トレイに用紙を入れたときの上面が、印刷面になります。

- はじめに印刷する面を上向き、用紙の上がトレイの前側にくるようにして、多目的トレイに用紙を入れます。偶数ページ（裏面）が印刷されます。
- 偶数ページ（裏面）の印刷された面が下向き、用紙の上がトレイの前側になり、奇数ページ（表面）が印刷されます。

1 枚目の用紙にレターヘッド用紙を使用する場合

- レターヘッドが印刷された面を下向き、用紙の上が多目的トレイの前側にくるようにして、多目的トレイに用紙を入れます。

レターヘッドが印刷された面が上向き、用紙の上がトレイの前側になり、奇数ページ（表面）が印刷されます。

用紙トレイから手動両面印刷する

1 プリンタドライバの［拡張機能］タブで、両面印刷を設定します。

「[拡張機能］タブでの設定項目」P.2-10 を参照してください。

① A|B（両面印刷）をクリックします。

②「手動両面印刷」チェックボックスをチェックします。

③「綴じ方」を選択し、必要に応じて「綴じしろ」を設定します。

2 プリンタドライバの［基本設定］タブで、用紙サイズ、用紙媒体、給紙方法などを設定します。

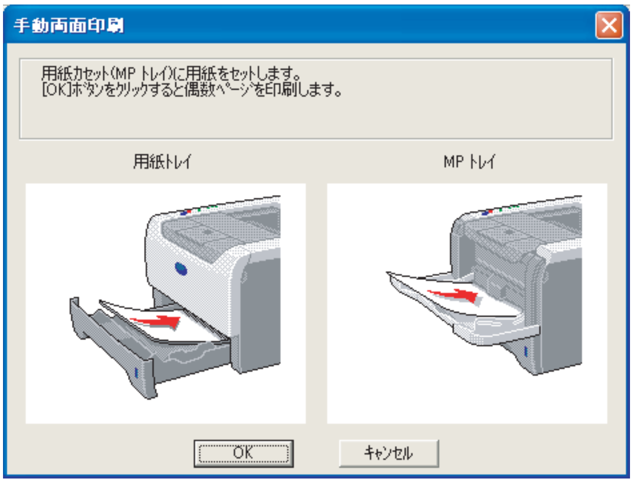
「[基本設定］タブでの設定項目」P.2-5 を参照してください。

● 給紙方法：トレイ 1

> **メモ** 用紙トレイからの印刷については、「用紙トレイから印刷する」P.2-34 を参照してください。

3 プリンタは、まず用紙の片面に偶数ページを印刷します。

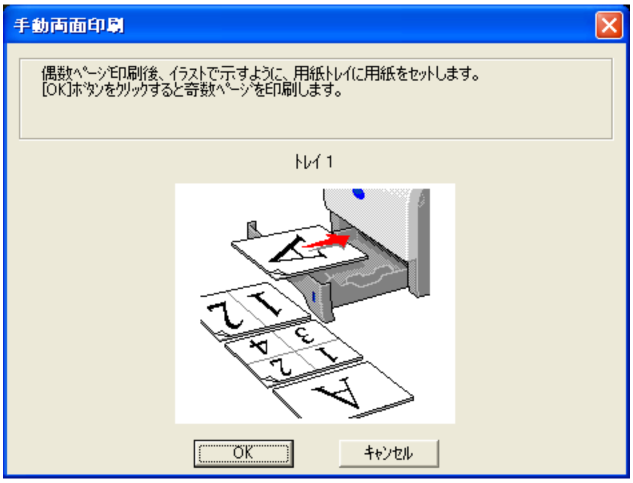
パソコンの画面に用紙のセット方法などが表示されますので、画面の指示にしたがってください。



4 [OK] をクリックします。

偶数ページの印刷が開始されます。

5 パソコンの画面に用紙のセット方法などが表示されますので、画面の指示にしたがってください。



メモ

用紙トレイを使った手動両面印刷で、偶数ページ（裏面）の印刷が終了して奇数ページ（表面）の印刷を開始するときは、用紙トレイ内に残っている用紙を一度取り出してください。その後、偶数ページ（裏面）を印刷した用紙のみを用紙トレイに入れてください。そのとき印刷する面を下向きに入れてください。（印刷されていない用紙の上に、印刷された用紙を重ねないでください。）

6 [OK] をクリックします。

奇数ページの印刷が開始されます。

多目的トレイから手動両面印刷する

- 用紙を挿入する前に、用紙をまっすぐに伸ばしてください。紙の反りは紙づまりの原因になります。
- 薄紙、厚紙の使用はできるだけ避けてください。
- 両面印刷の機能を使うと、紙づまりが起こったり、印字品質が落ちることがあります。紙づまりが起こった場合は、「紙づまりが起きたときは」P.5-8 を参照してください。

1 プリンタドライバの［拡張機能］タブで、両面印刷を設定します。

「［拡張機能］タブでの設定項目」P.2-10 を参照してください。

① A|B（両面印刷）をクリックします。

②「手動両面印刷」チェックボックスをチェックします。

③「綴じ方」を選択し、必要に応じて「綴じしろ」を設定します。

2 プリンタドライバの［基本設定］タブで、用紙サイズ、用紙媒体、給紙方法などを設定します。

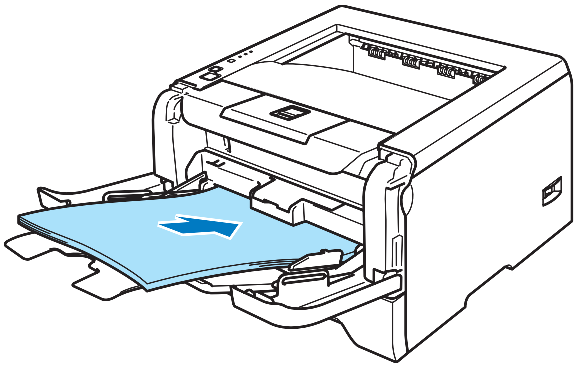
「［基本設定］タブでの設定項目」P.2-5 を参照してください。

● 給紙方法：MP トレイ

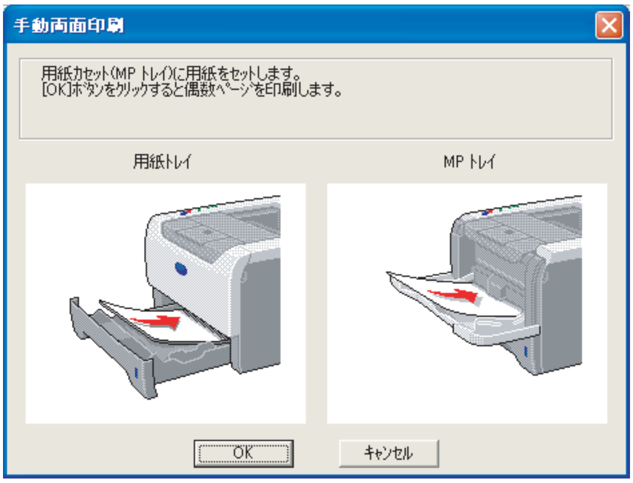
メモ

多目的トレイからの印刷については、「多目的トレイ（MP トレイ）から印刷する」P.2-37 を参照してください。

3 偶数ページを印刷する面を上にして、多目的トレイに用紙を挿入します。



パソコンの画面に用紙のセット方法などが表示されますので、画面の指示にしたがってください。

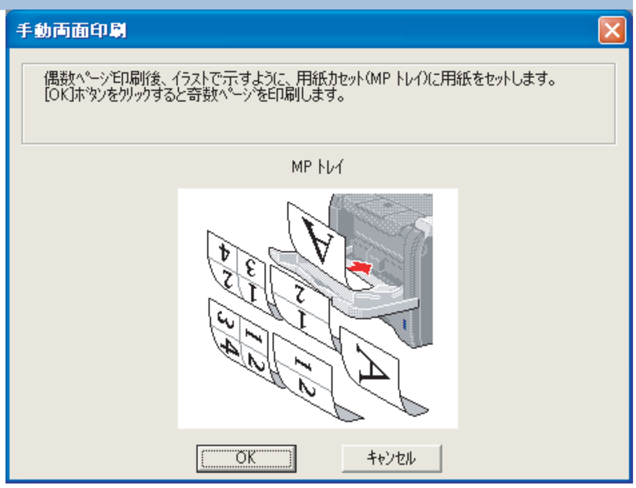


4 をクリックします。

偶数ページの印刷が開始されます。

5 すべての偶数ページの印刷が終了したら、偶数ページが印刷された用紙を取り、奇数ページを印刷する面を上向きにして多目的トレイに挿入します。

パソコンの画面に用紙のセット方法などが表示されますので、画面の指示にしたがってください。



6 をクリックします。

奇数ページの印刷が開始されます。

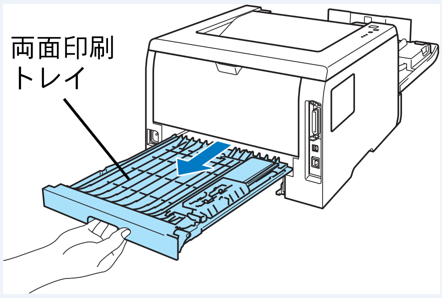
安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

自動両面印刷する（HL-5250DN のみ）

- 自動両面印刷に使用できる用紙は、A4 の普通紙または再生紙です。
- 用紙を挿入する前に、用紙をまっすぐに伸ばしてください。紙の反りは紙づまりの原因になります。
- 薄紙、厚紙の使用はできるだけ避けてください。
- 両面印刷の機能を使うと、紙づまりが起こったり、印字品質が落ちることがあります。紙づまりが起こった場合は、「紙づまりが起きたときは」P.5-8 を参照してください。

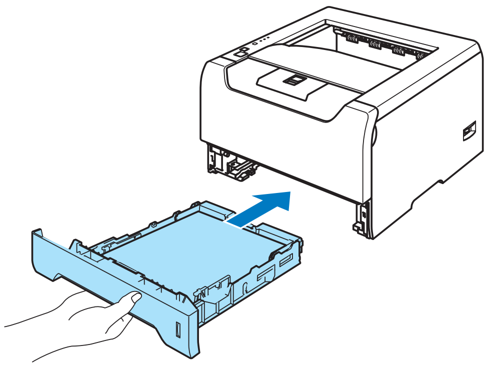
メモ

- 両面印刷トレイが取り付けられているかを確認してください。

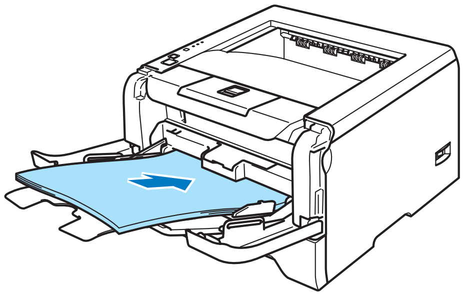


1 **用紙トレイまたは多目的トレイに用紙を挿入します。**

用紙トレイ



多目的トレイ



2 プリンタドライバの両面印刷を設定します。

「[拡張機能] タブでの設定項目」 P.2-10 を参照してください。

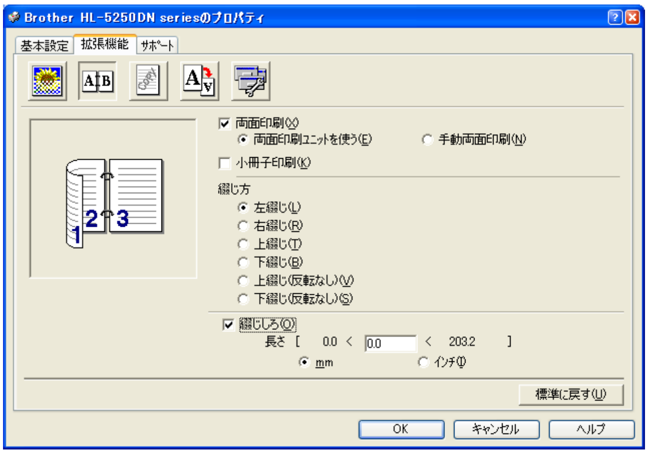
① （両面印刷）をクリックします。

②「両面印刷」チェックボックスをチェックします。

③「両面印刷ユニットを使う」を選択します。

④ 小冊子印刷をする場合は、「小冊子印刷」チェックボックスをチェックしてください。

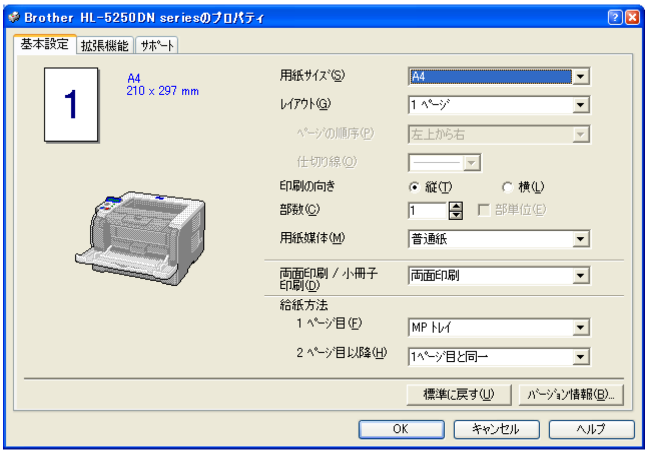
⑤「綴じ方」を選択し、必要に応じて「綴じしろ」を設定します。



3 プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙媒体、給紙方法などを設定します。

「[基本設定] タブでの設定項目」 P.2-5 を参照してください。

● 給紙方法：MP トレイ / トレイ 1



メモ

- 用紙トレイからの印刷については、「用紙トレイから印刷する」 P.2-34 を参照してください。
- 多目的トレイからの印刷については、「多目的トレイ（MP トレイ）から印刷する」 P.2-37 を参照してください。

4 OK をクリックします。

複数のページを 1 枚にまとめて印刷する

メモ　このセクションは Windows ユーザー専用です。

複数のページを 1 枚の用紙にまとめて印刷したり、逆に 1 ページを複数の用紙に分割して印刷したりする方法について説明します。
確認のための試し印刷をするときなどに使用すると、用紙の節約になります。

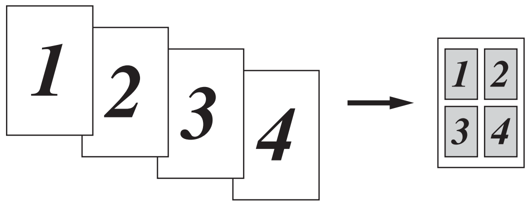
1 プリンタドライバの［基本設定］タブで、用紙サイズ、用紙媒体、給紙方法などを設定した後、レイアウトを設定します。

「［基本設定］タブでの設定項目」P.2-5 を参照してください。

①「レイアウト」から 1 枚にまとめて印刷するページ数（1,2,4,9,16,25 ページ）を選択します。

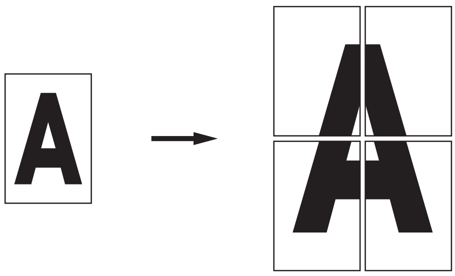
・例えば、「4 ページ」を選択した場合、4 ページ分を 1 枚にまとめて印刷します。

「4 ページ」を選択



・「縦 2 ×横 2 倍」、「縦 3 ×横 3 倍」、「縦 4 ×横 4 倍」、「縦 5 ×横 5 倍」を選択した場合は、1 ページを選択した分割数で印刷します。
例えば、「縦 2 ×横 2 倍」を選択した場合は、1 ページ分を 4 枚に分割して印刷します。

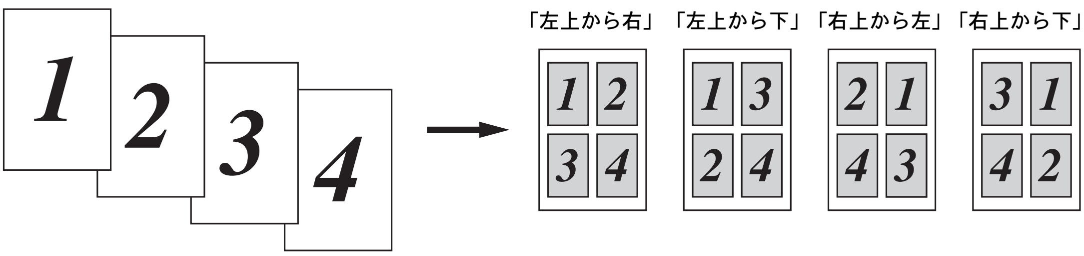
「縦 **2** ×横 **2** 倍」を選択



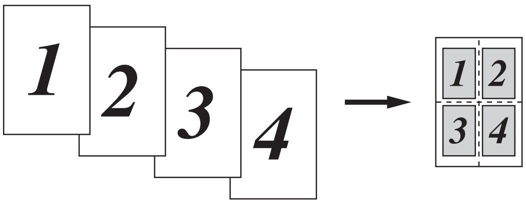
②一枚に複数ページ（2，4，9，16，25 ページ）をまとめて印刷する場合、各ページの並び順を「ページの順序」から選択できます。

・2 ページの場合は「左から右」、「右から左」、4 ページ以上の場合は「左上から右」、「左上から下」、「右上から左」、「右上から下」の 4 種類のパターンが選択できます。

「4 ページの場合」



③1 枚に複数ページをまとめた場合、各ページに境界線を入れたいときは、「仕切り線」から線種を選択します。境界線が必要ないときは、「なし」を選択します。
「4 ページ」を選択、仕切り線「- - - - -」を選択



2 印刷を開始します。

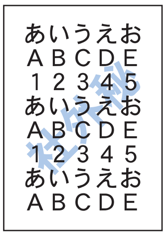
メモ
印刷の詳細については、「普通紙に印刷する」P.2-34、「OHP フィルムに印刷する」P.2-40 などを参照してください。

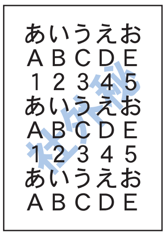
ウォーターマーク（すかし）を入れて印刷する

メモ　このセクションは Windows ユーザー専用です。

ロゴや本文をウォーターマーク（すかし）として文書に入れることができます。あらかじめ設定されたウォーターマークの１つを選択するか、作成済みのビットマップファイルまたはテキストファイルを使うことができます。

ウォーターマークを使用した例





1 プリンタドライバの［拡張機能］タブで、ウォーターマーク（すかし）を設定します。

「［拡張機能］タブでの設定項目」P.2-10 を参照してください。

①（ウォーターマーク）をクリックします。

②「ウォーターマークを使う」チェックボックスをチェックします。

③「ウォーターマーク選択」のリストから印刷するウォーターマークを選択します。

・リストに表示されているウォーターマークの設定を変更したいときは、［編集(E)］をクリックします。

・新しくウォーターマークを作成したいときは、［新規(N)］をクリックします。
表示された［ウォーターマーク設定］ダイアログボックスでウォーターマークを設定・変更します。

④必要に応じて、「バックグラウンド印刷」、「袋文字で印刷する」、「ウォーターマーク印刷設定」などを設定します。

2 プリンタドライバの［基本設定］タブで、用紙サイズ、用紙媒体、給紙方法などを設定します。

「［基本設定］タブでの設定項目」P.2-5 を参照してください。

3 印刷を開始します。

メモ　印刷の詳細については、「普通紙に印刷する」P.2-34、「OHP フィルムに印刷する」P.2-40 などを参照してください。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

用紙サイズを変えて印刷する

メモ　このセクションは Windows ユーザー専用です。

アプリケーションソフトで用紙サイズを指定して作成された文書は、通常その用紙サイズで印刷する必要があります。この機能を使うと、指定した用紙サイズに収まるように、文書を拡大縮小して印刷できます。

例えば、A4 サイズで作成されたデータを印刷したいが用紙が B5 サイズしかない場合、文書を縮小して B5 サイズの用紙に印刷できます。

1 プリンタドライバの［拡張機能］タブで、拡大縮小を設定します。

「[拡張機能］タブでの設定項目」P.2-10 を参照してください。
①（ページ設定）をクリックします。
②「印刷用紙サイズに合わせます」を選択します。
③「印刷用紙サイズ」から用紙サイズを選択します。

メモ　用紙サイズではなく任意の倍率を指定して、印刷することもできます。
その場合は、「任意倍率」を選択して、「任意倍率［25 – 400%]」で倍率を設定します。

2 プリンタドライバの［基本設定］タブで、用紙サイズ、用紙媒体、給紙方法などを設定します。

「[基本設定］タブでの設定項目」P.2-5 を参照してください。

手順 1 の③で選択した用紙サイズを選択してください。用紙サイズが合っていないと、文書が用紙からはみ出したり、用紙より小さく印刷されてしまいます。

3 印刷を開始します。

メモ　印刷の詳細については、「普通紙に印刷する」P.2-34、「OHP フィルムに印刷する」P.2-40 などを参照してください。

特殊機能を使って印刷する

メモ　このセクションは Windows ユーザー専用です。

［その他特殊機能］タブのプリント機能モードを設定しておくと、印刷時に実行して印刷することができます。

1 プリンタドライバの［拡張機能］タブで、印刷時に使用するその他特殊機能を設定します。

① （その他特殊機能）をクリックします。

②「その他特殊機能」のリストから設定する項目をクリックします。
リストの右側に設定内容が表示されます。

- 印刷ジョブのスプール P.2-19
- クイックプリントセットアップ P.2-20
- スリープまでの時間 P.2-21
- ステータスモニタ P.2-22
- マクロ設定 P.2-23
- 設定保護管理機能※1 .... P.2-24
- コマンド／ファイルの追加※1 .... P.2-25
- ページプロテクト P.2-26
- 日付・時間を印刷する P.2-27
- 濃度調整 P.2-28

③ 詳細を設定します。

メモ　※ 1　設定保護管理機能、コマンド／ファイルの追加は、Windows 95/98/Me ユーザー専用です。

2 プリンタドライバの［基本設定］タブで、用紙サイズ、用紙媒体、給紙方法などを設定します。

「［基本設定］タブでの設定項目」P.2-5 を参照してください。

3 印刷を開始します。

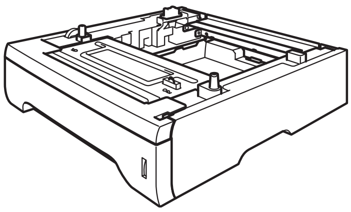
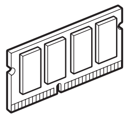
メモ　印刷の詳細については、「普通紙に印刷する」P.2-34、「OHP フィルムに印刷する」P.2-40 などを参照してください。

第 3 章

オプション製品を使う

取り付けできるオプション

プリンタには、次のようなオプションのアクセサリーがあります。オプションを取り付けることでプリンタの機能をさらに拡張することができます。
下表の➡マークをクリックするとそれぞれの詳しい情報を見ることができます。

ローワートレイユニット（LT-5300）	メモリ（DIMM）※
	
P.3-3	P.3-4

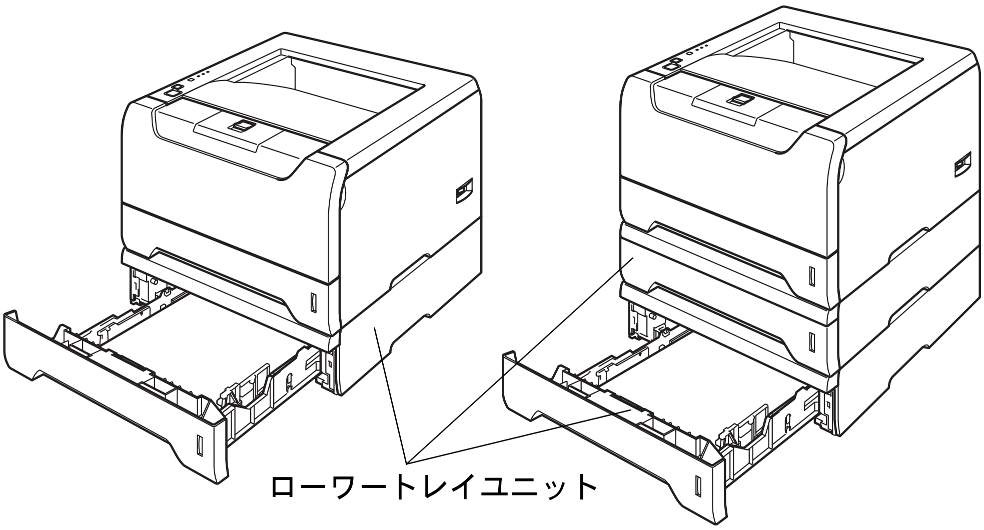
オプションは別売品です。お近くの販売店でご購入ください。ダイレクトクラブでのご購入もできます。
※ メモリはダイレクトクラブでは取り扱っておりませんので、お近くの販売店でご購入してください。

ローワートレイユニット(LT-5300)を取り付ける

本機には大容量給紙を可能にするオプションのローワートレイユニット（LT-5300）を 2 つまで取り付けることができます。

トレイ	セット可能枚数※
標準用紙トレイ	250 枚
多目的トレイ	50 枚
ローワートレイ（LT-5300）	250 枚
ローワートレイ（LT-5300）	250 枚
合計最大給紙枚数	800 枚

※ 普通紙（80g/m^2）



ローワートレイユニットを購入する場合は、プリンタを購入した販売店にお問い合わせください。ダイレクトクラブでのご購入もできます。
取り付けの詳細は、ローワートレイユニットに付属の説明書を参照してください。

メモリ（DIMM）を増設する

メモリ（DIMM）について

メモリフルエラーが発生しないように、プリンタメモリを増設することをおすすめします。

（HL-5240 をお使いの方）
プリンタは 16MB のメモリを内蔵し、オプションの増設メモリ用のスロットが設けられています。
メモリは、市販の DIMM（デュアルインラインメモリモジュール）を取り付けることで、最大 528MB まで増設できます。

（HL-5250DN をお使いの方）
プリンタは 32MB のメモリを内蔵し、オプションの増設メモリ用のスロットが設けられています。
メモリは、市販の DIMM（デュアルインラインメモリモジュール）を取り付けることで、最大 544MB まで増設できます。

増設可能なメモリ（DIMM）容量
㈱バッファローの場合

型番	容量
VN133-128MZ	128MB
VN133-256MY	256MB
VN133-H256MY	256MB
VN133-512MY	512MB

メモリ（DIMM）の一般仕様

項　目	仕　様
タイプ	PC133/100 144 ピン S.O.DIMM SDRAM NonECC
容量	128,256,512MB

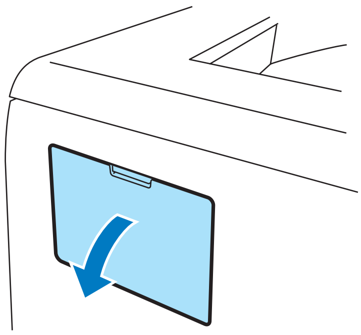
メモ　DIMM の種類によってはプリンタで動作しない場合もあります。

メモリ（DIMM）の増設方法

1 **プリンタの電源スイッチをオフにし、電源コードをコンセントから抜きます。また、インターフェースケーブルを本機から取り外します。**

> **注意** メモリ（DIMM）の取り付けや取り外しをする場合は、必ず事前に本機の電源を切ってください。

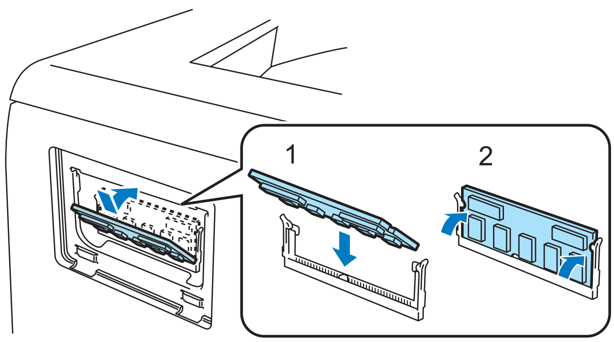
2 **DIMM カバーを外します。**



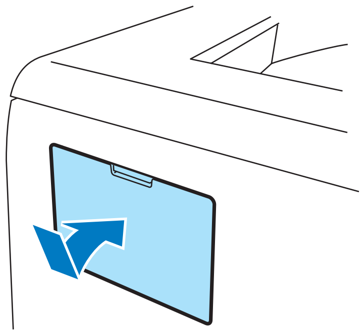
3 **メモリ（DIMM）を開封します。**

> **注意**
> - DIMM 基板は、ほんのわずかな静電気によっても損傷する可能性があります。メモリチップや基板の表面には絶対に手を触れないでください。
> - メモリ（DIMM）の取り付け、取り外し時には、帯電防止用の手首に付けるリストバンドなどを使って、静電気を除去してください。帯電防止用のリストバンドを使用しないときは、スチール製の机や棚などに頻繁に触れて、静電気を除去してください。

4 **メモリ（DIMM）の両端を持ち、メモリ（DIMM）の凹部をスロットの凸部に合わせ、メモリ（DIMM）を斜めに差し込み、そしてカッチとはまるまでインターフェースボードに向かって押し込みます。**



5 メモリ（DIMM）カバーを取り付けます。



6 プリンタとパソコンをインターフェースケーブルで接続します。電源コードをコンセントに差し込み、プリンタの電源スイッチをオンにします。

7 プリンタ設定一覧を印刷し、メモリ（DIMM）が正しく取り付けられていることを確認します。

プリンタ設定一覧の 2 ページ目（PRINT SETTINGS（2/2））の「RAM SIZE」が内蔵メモリの 32 Mbyte（HL-5240 の場合は 16Mbyte）より増えていることを確認してください。

メモ プリンタ設定一覧の印刷方法は「プリンタ設定一覧の印刷」P.1-12 を参照してください。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

第 4 章 メンテナンス

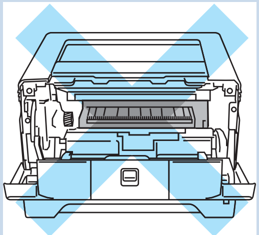
メンテナンス

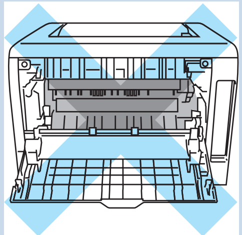
本機は定期的に消耗品を交換し、清掃する必要があります。

注意

消耗品の交換や、プリンタの清掃をする場合は、下記の点に注意してください。

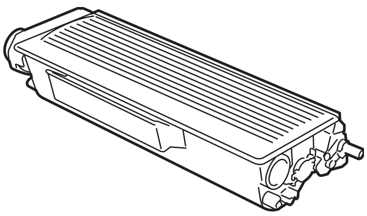
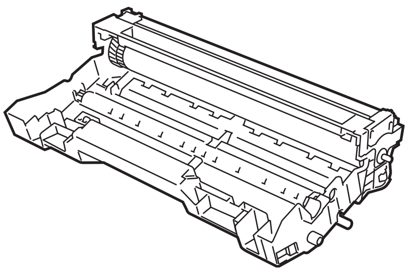
- トナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。
- 万一、トナーが手や衣服に付着した場合には、すぐにぬれた布で拭き取るか、洗い流してください。
- 本機の使用直後は、本機内部がたいへん高温になっています。フロントカバーまたはバックカバーを開ける際には、下図のグレーの部分には絶対に手を触れないでください。





消耗品の交換

消耗品

トナーカートリッジ（TN-35J/TN-37J）	ドラムユニット（DR-31J）
 印刷可能枚数、TN-35J 約 3,500 枚、TN-37J 約 7,000 枚（A4 / 5% 印字時）	 印刷可能枚数、約 25,000 枚（A4 / 5% 印字時）
P.4-3	P.4-8

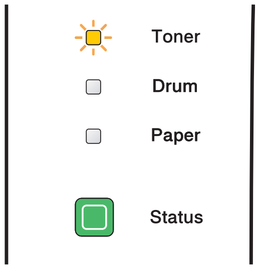
トナーカートリッジ

トナーカートリッジの寿命は、印刷面積比や印刷ジョブによって異なります。一般的なビジネス文書（印刷面積比約 5%）を A4 の用紙に片面印刷した場合、標準カートリッジでは約 3,500 枚（大容量カートリッジでは約 7,000 枚）の印刷が可能です。

- トナー消費量は、ページ上の印刷面積比と印刷濃度設定によって異なります。このため、実際の印刷可能枚数を保証することはできません。
- 印刷面積比が大きいほど、トナー消費量は増大します。
- 新品のトナーカートリッジは交換するときまで開封しないでください。

トナーカートリッジの状態を確認する

トナー少量メッセージ



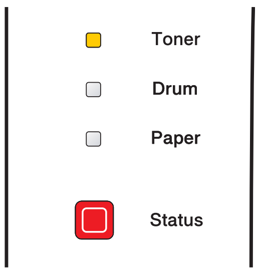
Toner ランプは 2 秒間点灯、3 秒間消灯を交互に繰り返しています。

トナーカートリッジの残量が残り少ないことを示しています。トナーカートリッジが完全になくなる前に、新しいトナーカートリッジを購入してください。「トナーカートリッジを交換する」P.4-4 を参照してください。

トナーカートリッジが空になる寸前のときは、Toner ランプは点滅したままです。

トナー切れメッセージ

次のようにランプメッセージが表示された場合は、トナーカートリッジを交換してください。



安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

トナーカートリッジを交換する

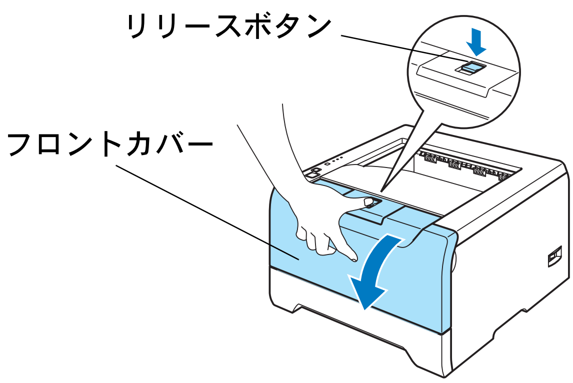
注意

- ブラザー純正トナーカートリッジのみを使用してください。ブラザー純正トナーカートリッジにトナーのみを補充しないでください。トナーが空になった場合は、トナーカートリッジごとブラザー純正トナーカートリッジに交換してください。純正以外のトナーまたはトナーカートリッジを使用して印刷すると、印刷品質が低下するだけでなく、プリンタ自体の品質が低下したり、寿命が短くなる可能性があります。
  ブラザー純正トナーカートリッジに交換された場合のみ、印刷品質やプリンタ自体の品質を保証いたします。
- 純正以外のトナーまたはトナーカートリッジを使用して印刷すると、ドラムユニットの性能と寿命に重大な損傷をもたらす可能性があります。この場合に発生した故障は保証の対象とはなりません。

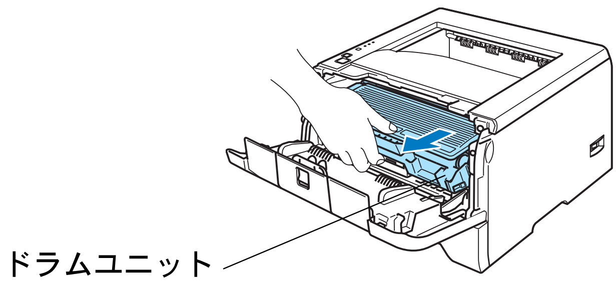
- プリンタまたはプリンタの印刷品質を維持するため、必ずブラザー純正のトナーカートリッジをご使用ください。トナーカートリッジを購入する場合は、プリンタを購入した販売店またはダイレクトクラブにお問い合わせください。
- トナーカートリッジを交換するときは、プリンタを清掃することをおすすめします。「クリーニング」P.4-13 を参照してください。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

1 フロントカバーリリースボタンを押してフロントカバーを開けます。

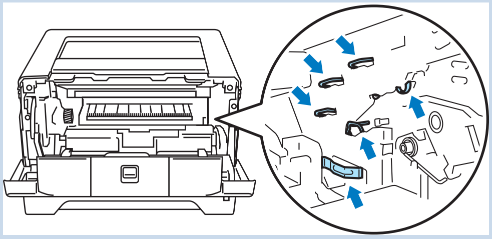


2 ドラムユニットを取り出します。

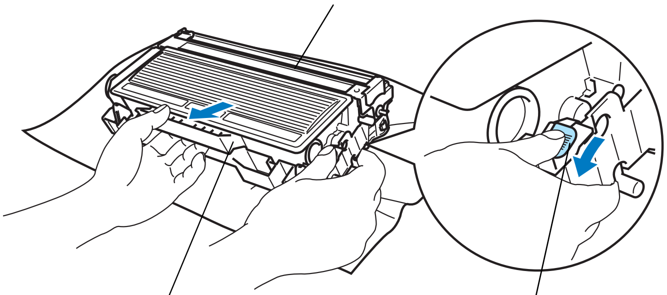


注意

- トナーがこぼれたときのために、ドラムユニットを使い捨ての紙か布の上に置くことをおすすめします。
- 静電気によってプリンタが損傷することを防ぐため、下図に示す電極には手を触れないでください。



3 青色のロックレバーを押し下げながら、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外します。

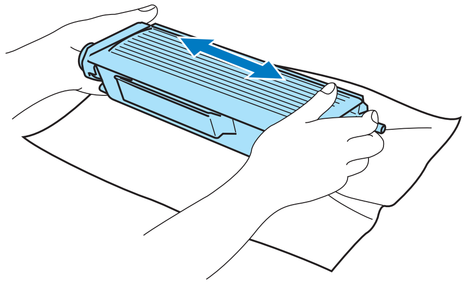


注意

トナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが手や衣服に付着した場合には、すぐにぬれた布で拭き取るか、洗い流してください。

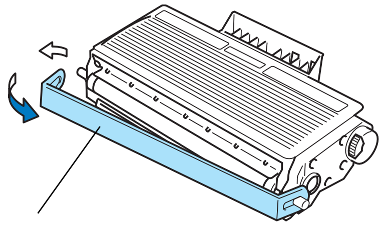
- トナーカートリッジを廃棄するときは、トナーが袋からこぼれないように、トナーカートリッジを袋に入れ、袋の口を堅く封印してください。
- トナーカートリッジを廃棄する場合には、各自治体の廃棄物規則にしたがって処分してください。ご質問がある場合は、お近くの廃棄物処理センターにお問い合わせください。
- ブラザーでは、環境保護に対する取り組みの一環としてトナーカートリッジとドラムユニットのリサイクルに取り組んでおります。使い終わりましたブラザー製トナーカートリッジ / ドラムユニットがございましたら回収にご協力お願い申し上げます。詳しくはホームページ（http://www.brother.co.jp/product/printer/recycle/index.htm）を参照してください。

4 新しいトナーカートリッジを開封します。トナーが均等になるように、左右に 5 ～ 6 回ゆっくりと振ります。

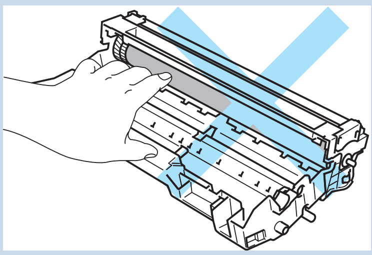


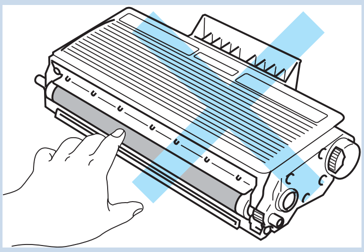
注意
- 新品のトナーカートリッジは交換するときまで開封しないでください。長時間、開封したままで放置すると、トナーの寿命が短くなります。
- ドラムユニットを開封してから強い直射日光または室内光線にさらすと、ドラムユニットが損傷する場合があります。

5 保護カバーを外します。



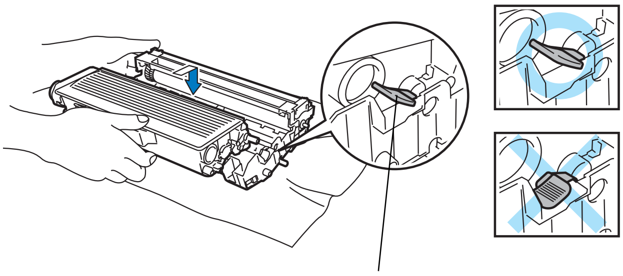
注意
- 印刷品質の劣化を防止するため、右図のグレーの部分には触れないでください。
- トナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが手や衣服に付着した場合には、すぐにぬれた布で拭き取るか、洗い流してください。
- 保護カバーを外したトナーカートリッジは、すぐにドラムユニットに装着してください。





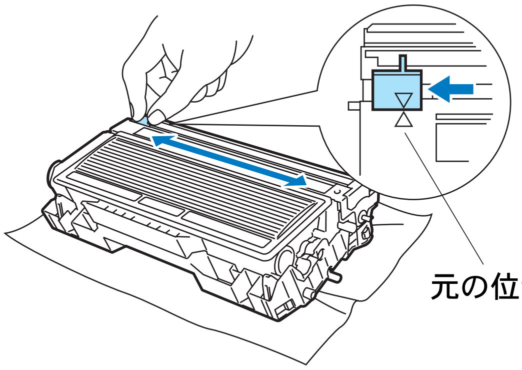
6 新しいトナーカートリッジをドラムユニットに装着します。

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、ロックレバーが自動的に上がります。



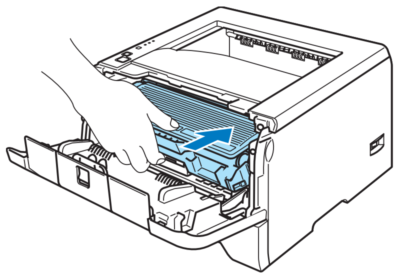
注意 トナーカートリッジが正しく取り付けられていることを確認します。取り付けが正しくないと、トナーカートリッジはドラムユニットから外れる場合があります。

7 ドラムユニットの青色のつまみを2、3回往復させ、ドラム内部のワイヤーを清掃します。青色のつまみを必ず元の位置（▲）に戻します。



注意 青色のつまみが元の位置に戻っていないと、印刷した用紙に縦縞が入る場合があります。

8 プリンタにドラムユニットを取り付け、フロントカバーを閉じます。



フロントカバーを閉じると、Ready の LED （ランプ）が点滅します。点滅が点灯に変わるまで、そのままお待ちください。途中で本機の電源を切ったり、フロントカバーを開けたりすると、新しいトナーを検知できない場合があります。

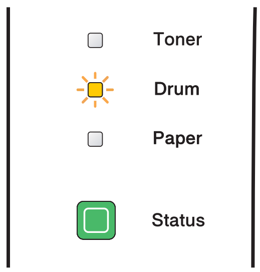
ドラムユニット

ドラムユニットの寿命は、印刷面積比や印刷ジョブによって異なります。一般的なビジネス文書（印刷面積比約 5%）を A4 の用紙に片面印刷した場合、DR-31J では約 25,000 枚の印刷が可能です。

- ドラムユニットの寿命に影響する要因は、温度や湿度、用紙の種類、使用するトナーの種類、印刷ジョブごとの印刷枚数などです。理想的な印刷条件下での平均的なドラムユニット寿命は約 25,000 枚です。実際のドラムユニットの印刷可能枚数は、印刷条件によってはこの数字よりも大幅に少ないこともあります。このため、実際の印刷可能枚数を保証することはできません。
- 最良の性能を発揮させるために、ブラザー純正トナーカートリッジを使用してください。本機は、清潔でちりやほこりが発生せず、適度の換気が行われている環境において使用してください。
- 純正以外のドラムユニットを使用して印刷すると、印刷品質が低下するだけでなく、プリンタ本体自体の品質が低下したり、寿命が短くなる可能性があります。この場合に発生した故障は保証の対象とはなりません。

ドラムユニットの状態を確認する

ドラム寿命メッセージ



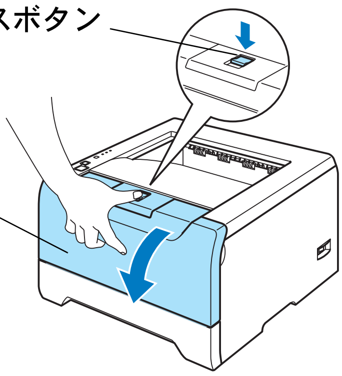
ドラムユニットの寿命が少なくなっています。印刷品質が劣化する恐れがあるので、お早めにドラムユニットを交換されることをおすすめします。「ドラムユニットを交換する」P.4-9 を参照してください。
Drum ランプは 2 秒間点灯、3 秒間消灯を交互に繰り返しています。

注意

- 内部にトナーが残っている場合があるので、ドラムユニットの取り外しには細心の注意を払ってください。
- ドラムユニットを交換するときは、プリンタを清掃することをおすすめします。「クリーニング」P.4-13 を参照してください。

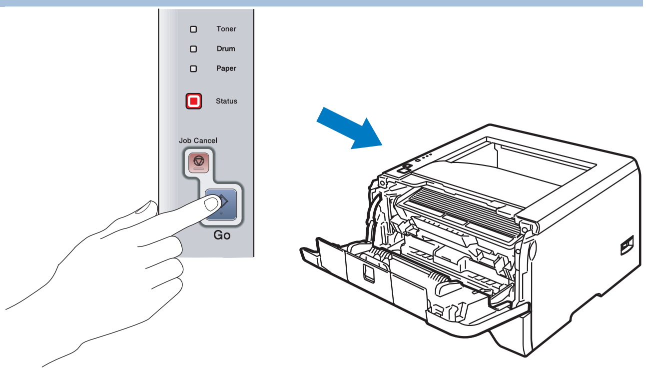
ドラムユニットを交換する

1 フロントカバーリリースボタンを押してフロントカバーを開けます。



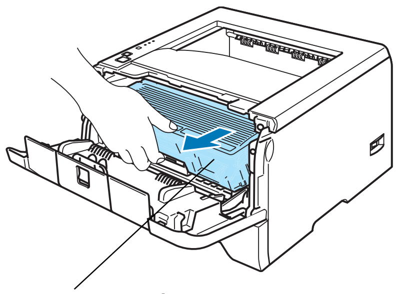
2 ドラムカウンタをリセットします。

4 つすべてのランプが点灯するまで約 4 秒間 (Go) を押し続けます。
ランプが全部点灯したら、(Go) を離してください。



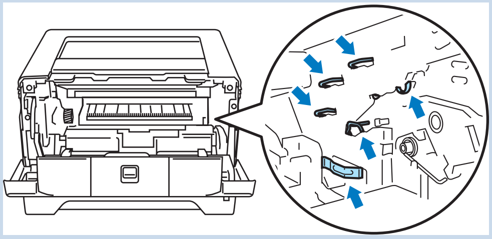
注意 トナーカートリッジのみ交換した場合は、ドラムカウンタをリセットしないでください。

3 ドラムユニットを取り出します。

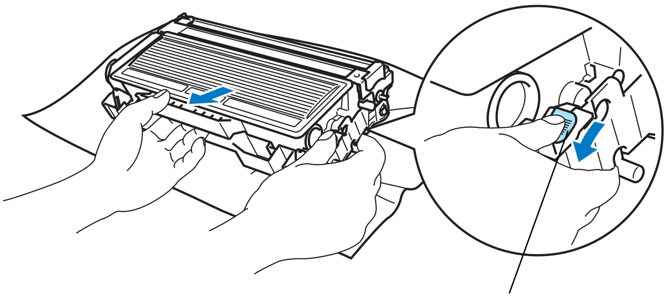


注意

- トナーがこぼれたときのために、ドラムユニットを使い捨ての紙か布の上に置くことをおすすめします。
- 静電気によってプリンタが損傷することを防ぐため、下図に示す電極には手を触れないでください。

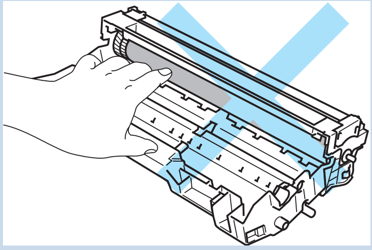


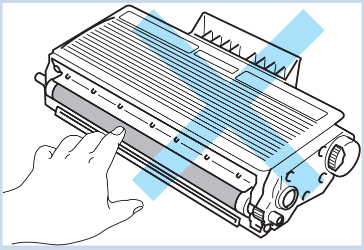
4 青色のロックレバーを押し下げながら、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外します。



注意

- 印刷品質の劣化を防止するため、右図のグレーの部分には触れないでください。
- トナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが手や衣服に付着した場合には、すぐにぬれた布で拭き取るか、洗い流してください。





- ドラムユニットを廃棄する場合には、各自治体の廃棄物規則にしたがって処分してください。ご質問がある場合は、お近くの廃棄物処理センターにお問い合わせください。
- ブラザーでは、環境保護に対する取り組みの一環としてトナーカートリッジとドラムユニットのリサイクルに取り組んでおります。使い終わりましたブラザー製トナーカートリッジ / ドラムユニットがございましたら回収にご協力お願い申し上げます。詳しくはホームページ（http://www.brother.co.jp/product/printer/recycle/index.htm）を参照してください。

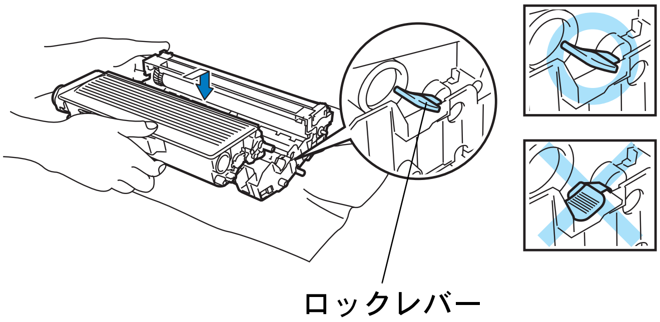
安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

5 新しいドラムユニットを開封します。

> **注意** ドラムユニットをプリンタに取り付ける直前まで開封しないでください。開封してから強い直射日光または室内光線にさらすと、ドラムユニットが損傷する場合があります。

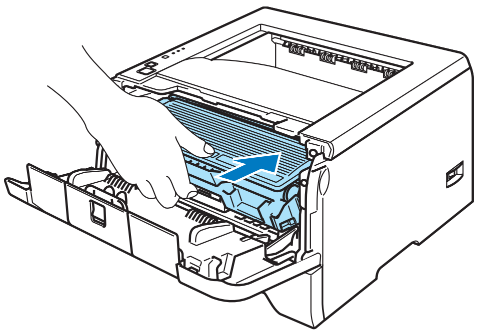
6 トナーカートリッジをドラムユニットに装着します。

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、ロックレバーが自動的に上がります。



> **注意** トナーカートリッジが正しく取り付けられていることを確認します。取り付けが正しくないと、トナーカートリッジはドラムユニットから外れる場合があります。

7 プリンタにドラムユニットを取り付けます。



8 フロントカバーを閉じます。

Drum ランプが消灯します。

定期保守部品の交換

印刷品質を保持するためには、保守部品を定期的に交換する必要があります。
下表に示す枚数を印刷した後、下表の部品を交換することが必要です。

内容	概算寿命	保守部品交換の詳細
分離パッドクミ	100,000 枚※	**お客様相談窓口**へお問い合わせください。
給紙ローラークミ	100,000 枚※	
レーザーユニット	100,000 枚※	
定着ユニット	100,000 枚※	

※ プリンタの印刷枚数は、プリンタ設定一覧で確認できます。
「プリンタ設定一覧の印刷」P.1-12 を参照してください。
実際の印刷枚数は印刷ジョブの種類や使用する用紙によって異なります。上表の数字は一般的なビジネス文書（印刷面積比約 5%）を A4 サイズの用紙に片面印刷した場合で算出されています。

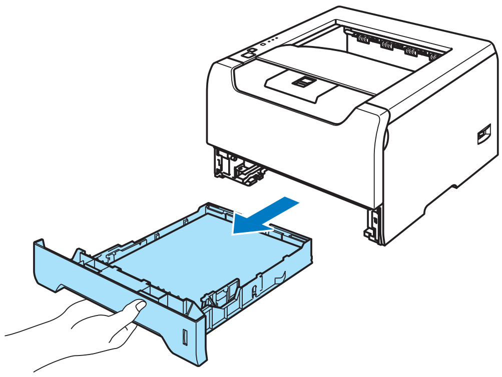
クリーニング

乾いた柔らかい布でプリンタの外部と内部を定期的に清掃してください。トナーカートリッジやドラムユニットを交換したり、印刷した用紙がトナーで汚れている場合には、プリンタ内部とドラムユニットを清掃します。

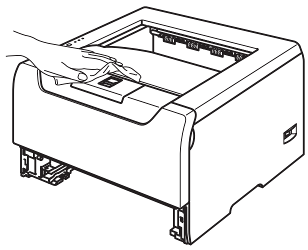
メモ
- クリーニングには水か中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンなどの揮発性有機溶剤を使用すると、プリンタの表面に損傷を与えます。
- アンモニアを含有するクリーニング材料を使用しないでください。プリンタ本体およびドラムユニットに損傷を与えます。

プリンタ外部をクリーニングする

1 **プリンタ本体から用紙トレイを引き出します。**

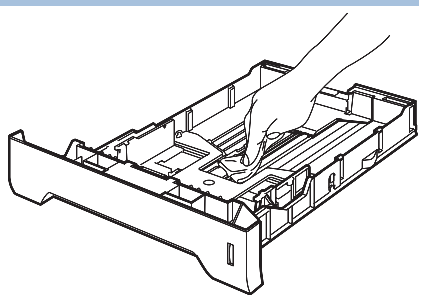


2 **乾いた柔らかい布で、プリンタ外部の汚れやちりを拭き取ります。**

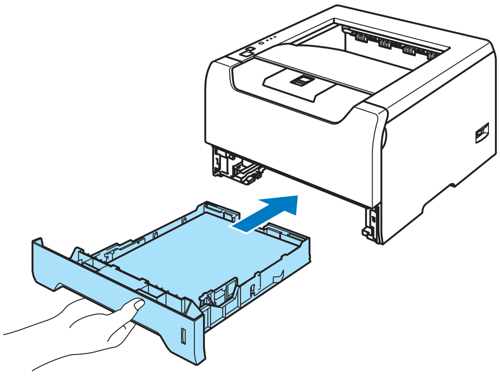


3 **乾いた柔らかい布で、用紙トレイ内部のトレイ用紙ガイドなどの突起物に付いた汚れやちりを拭き取ります。**

4 **乾いた柔らかい布で、用紙トレイ内部や外部に付いた汚れやちりを拭き取ります。**



5 用紙トレイをプリンタ本体に戻します。

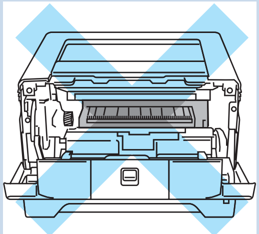


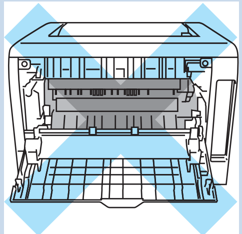
プリンタ内部をクリーニングする

注意

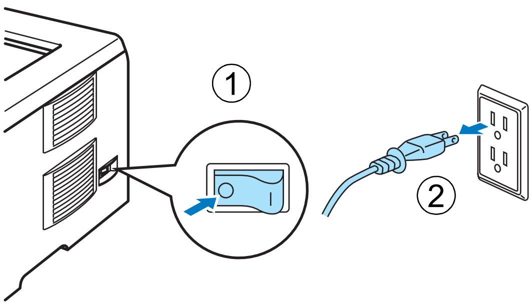
消耗品の交換や、プリンタの清掃をする場合は、下記の点に注意してください。

- トナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが手や衣服に付着した場合には、すぐにぬれた布で拭き取るか、洗い流してください。
- プリンタを使用した直後は、プリンタ内部がたいへん高温になっています。フロントカバーまたはバックカバーを開ける際には、下図のグレーの部分には絶対に手を触れないでください。

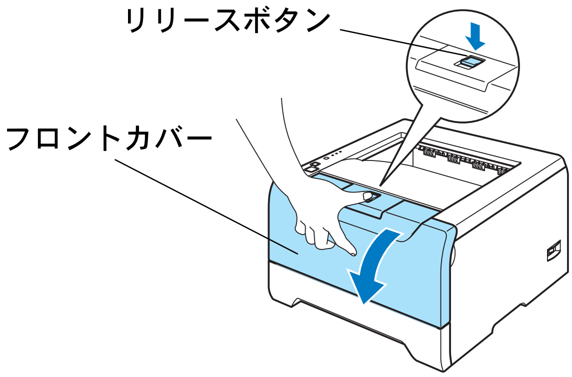




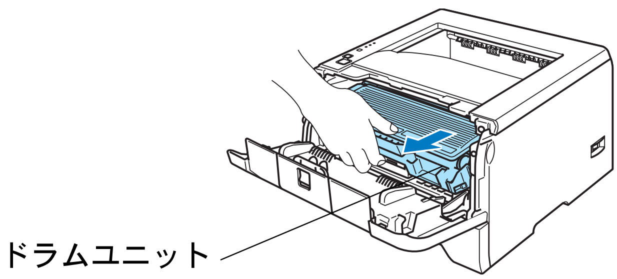
1 プリンタの電源スイッチをオフにし、電源コードをコンセントから抜きます。



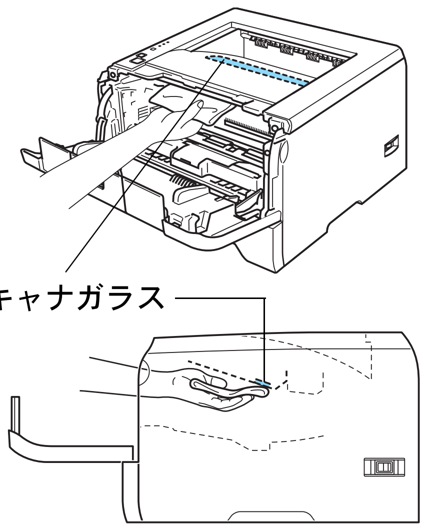
2 フロントカバーリリースボタンを押してフロントカバーを開けます。



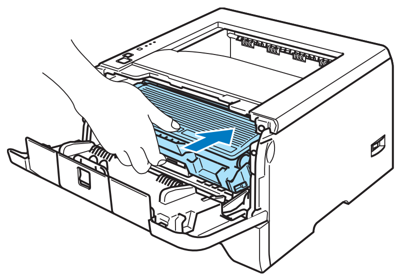
3 ドラムユニットを取り出します。



4 乾燥した柔らかい布でスキャナガラス（右図に示すグレーの部分）を拭きます。



5 プリンタ本体にドラムユニットを取り付けます。



6 フロントカバーを閉じます。

7 電源コードをコンセントに差し、プリンタの電源を入れます。

コロナワイヤーをクリーニングする

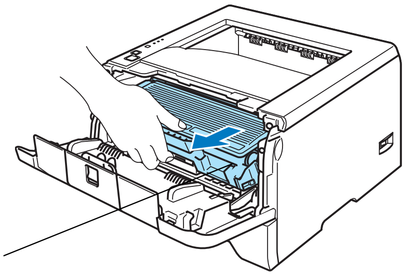
次の手順でコロナワイヤーのクリーニングすると、印刷品質が改善される場合があります。

1

フロントカバーリリースボタンを押してフロントカバーを開けます。

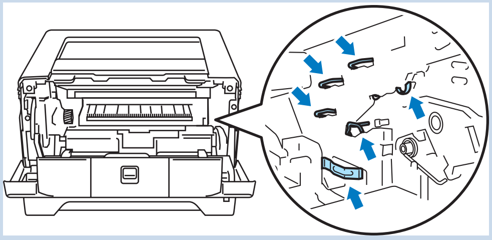
2

ドラムユニットを取り出します。

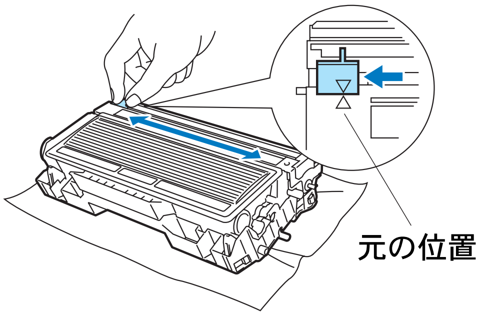


注意

- トナーがこぼれたときのために、ドラムユニットを使い捨ての紙か布の上に置くことをおすすめします。
- 静電気によってプリンタが損傷することを防ぐため、下図に示す電極には手を触れないでください。

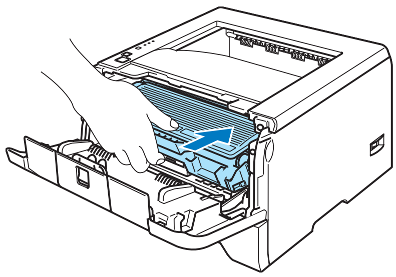


3 ドラムユニットの青色のつまみを2、3 回往復させ、ドラム内部のワイヤーを清掃します。青色のつまみを必ず元の位置（▲）に戻します。



> **注意** 青色のつまみが元の位置に戻っていないと、印刷した用紙に縦縞が入る場合があります。

4 プリンタ本体にドラムユニットを取り付けます。



5 フロントカバーを閉じます。

第 5 章

困ったときは

トラブルの原因を確認する

使用中に問題が発生したら、修理を依頼される前に以下の項目をチェックしていただき、対応する処置を行ってください。
「ブラザーソリューションセンター」（**http://solutions.brother.co.jp**）では、Q&A やプリンタをご使用いただく上で有益な情報などをご用意しております。あわせてご覧ください。

それでも問題が解決しないときは、

お客様相談窓口 **0120-590-382** へご連絡ください。

はじめに下記の項目をご確認ください：

- 電源コードが正しく差し込まれているか、プリンタに電源が入っているか。
- すべての保護部品が取り除かれているか。
- トナーカートリッジとドラムユニットが正しく装着されているか。
- フロントカバーとバックカバーがしっかり閉まっているか。
- 用紙が用紙トレイに正しく挿入されているか。
- プリンタとパソコンがインターフェースケーブルで正しく接続されているか。
- パソコンが正しいプリンタポートに接続されているか。
- 正しいプリンタドライバがインストールされ、選択されているか。

プリンタが印刷をしない：

上記のチェック項目で問題が解決されない場合は下記の項目の中から関連する事項を見つけて指示にしたがってください。

ランプが点灯または点滅している

「操作パネルの使い方」を参照してください。................................ P.1-5

ステータスモニタにエラーメッセージが表示される

「ステータスモニタのエラーメッセージ」を参照してください。.................... P.5-3

エラーメッセージが印刷される

「印刷によるエラーメッセージ」を参照してください。.......................... P.5-6

用紙のトラブル

「用紙が原因のトラブル一覧」を参照してください。............................ P.5-20

紙づまり

「用紙が原因のトラブル一覧」を参照してください。............................ P.5-20

「紙づまりが起きたときは」を参照してください。.............................. P.5-8

その他のトラブル

「その他のトラブル」を参照してください。.................................... P.5-22

印刷するが問題がある：

印字品質を改善したい

「印字品質を改善するには」を参照してください。.............................. P.5-14

正しく印刷できない

「正しく印刷できないトラブル一覧」を参照してください。...................... P.5-21

その他分からないこと、知りたいことがある：

プリンタの詳しい仕様が知りたい

「プリンタ仕様」を参照してください。.. P.6-9

用語が分からない

「用語集」を参照してください。.. P.6-13

消耗品を注文したい

「ご注文シート」を印刷してご利用ください。.......................... 「ご注文シート」

ステータスモニタのメッセージ

ステータスモニタを表示させる

ブラザーの Windows 用または Macintosh 用プリンタドライバ を使用している場合は、ステータスモニタでエラー情報などを通知させることができます。

1 「Brother HL-5250DN（5240）series のプロパティ」ダイアログボックスの［拡張機能］タブで （その他特殊設定）をクリックします。

2 リストから［ステータスモニタ］をクリックし、［オン］を選択します。

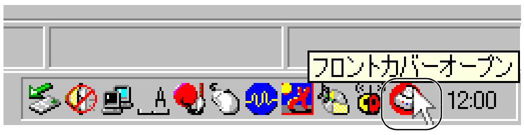
メモ　ステータスモニタは初期設定ではオフになっています。［オン］を選択していないとステータスモニタを表示することはできません。

3 適用(A) または OK をクリックして、選択した設定を確定します。

ステータスモニタの使用方法

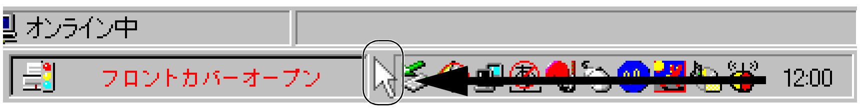
ステータスモニタは、次のような方法でメッセージを表示できます。

- ステータスモニタは初期設定では画面右下のタスクバーに表示されます。
  ステータスモニタの上にマウスポインタを重ねると、メッセージが表示されます。
  この状態でステータスモニタの表示をダブルクリックすると、インタラクティブヘルプ P.5-7 が起動し、解決方法をアニメーションでご覧いただけます。（Windows のみ）



- ステータスモニタをタスクバーの外にドラッグすると、タスクバーの外にメッセージが表示されます。

- ステータスモニタをタスクバーの内でドラッグすると、タスクバーの中にメッセージが表示されます。



メモ　Macintosh（OS X10.3 以降）の場合は、起動ディスク（Startup Disk）から、ライブラリ（Library）→ Printers → Brother → Utilities の順に開きステータスモニタを表示します。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

ステータスモニタのメッセージ一覧

ステータスモニタはプリンタの問題点を下記の表の通りに表示します。表示されたメッセージに対して適切な処置を行ってください。

メッセージ	解決方法
印刷できます	印刷できる状態です。
お待ちください	ウォームアップ中です。（印刷データの受信は可能です。）
ジョブキャンセル中です	印刷をキャンセル中です。
自動解像度調整	解像度が低下した状態で印刷しています。 プリンタが自動的に解像度を下げないように、作成したデータの複雑さを減らしてください。
スリープ中です	スリープ状態です。 プリンタの操作パネルの（Go）か（Job Cancel）を押すと、スリープ状態から復帰します。
冷却中です	冷却中です。内部が冷めるまでしばらくお待ちください。
フロントカバーが開いています	フロントカバーを閉じてください。
バックカバーが開いています	バックカバーを閉じてください。 メモ **バックカバーを閉じているのに「バックカバーが開いています」のエラーが表示される場合は、バックカバー、定着器カバーを開け、紙詰まりがないか確認してください。紙詰まりの状態のまま電源をオン / オフすると、「バックカバーが開いています」のエラーが表示されることがあります。**
トナーの寿命です	トナーを新しい物に交換してください。詳細は「トナーカートリッジを交換する」P.4-4 を参照してください。
カートリッジエラー	ドラムユニットをいったん取り外し、再度正しく取り付けてください。
用紙切れ MP トレイ用紙切れまたは給紙ミス 用紙トレイ 1/2/3 用紙切れまたは給紙ミス	• それぞれの用紙トレイに用紙を入れてください。 • もしトレイに用紙が残っている場合は、用紙が真直ぐ入っているか確認してください。 もし用紙がカールしている場合は用紙をひっくり返すことで解決できることもあります。 • 用紙の枚数を減らして再度試してみてください。 • 用紙が推奨の仕様に合っているか確認してください。 詳細は「印刷用紙と寸法」P.1-13 を参照してください。 • 現状のドライバ設定に合った用紙を入れてください。
紙づまりです（MP トレイ） 紙づまりです（用紙トレイ 1/2/3） 紙づまりです（ドラムユニット内） 紙づまりです（後部） 紙づまりです（両面印刷トレイ）	表示された場所からつまった用紙を取り除いてください。 詳細は「紙づまりが起きたときは」P.5-8 を参照してください。
自動両面印刷の用紙違い	「自動両面印刷 P.2-66 にしたがい正しいサイズの用紙にしてください。 （Go）または（Job Cancel）を押してください。 自動両面印刷ができる用紙サイズは A4 です。
両面印刷トレイがありません。	プリンタのバックカバーを閉じ、両面印刷トレイをセットしてください。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

メッセージ	解決方法
メモリーが一杯です	• (Go) を押してプリンタ内に残っているデータを印刷してください。プリンタ内に残っているデータを消去したいときは、(Job Cancel) を押してください。 • 市販の DIMM メモリでプリンタのメモリを増やしてください。 詳細は「メモリ（DIMM) を増設する」P.3-4 を参照してください。 • 数ページずつ分けて印刷するか、解像度を下げてください。
ドラムが汚れています	フロントカバーを開け、ドラムユニットを取り出します。ドラムユニットの青色のつまみを 2、3 回往復させ、ドラム内部のワイヤーを清掃します。詳細は「コロナワイヤーをクリーニングする」P.4-17 を参照してください。
まもなくトナーが寿命となります	トナーの残量が少なくなっています。新しいトナーカートリッジを準備してください。詳細は「トナーカートリッジを交換する」P.4-4 を参照してください。
まもなくドラムが寿命となります	ドラムユニットの寿命が近づいています。新しいドラムユニットを準備してください。詳細は「ドラムユニットを交換する」P.4-9 を参照してください。
サービスエラー	サービスエラーが発生しています。 詳細は「サービスエラー」P.1-9 を参照してください。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

印刷によるエラーメッセージ

プリンタに問題が起こった場合、下記の表に示されたようなエラーメッセージを印刷して知らせます。プリンタが知らせるエラーメッセージに対して適切な処置を行ってください。

印刷によるエラーメッセージ一覧

エラーメッセージ	解決方法
メモリフル	• (Go) を押してプリンタ内に残っているデータを印刷してください。プリンタ内に残っているデータを消去したいときは、(Job Cancel) を押してください。 • 市販の DIMM メモリでプリンタのメモリを増やしてください。 詳細は「メモリ（DIMM) を増設する」P.3-4 を参照してください。 • 数ページずつに分けて印刷するか、解像度を下げてください。
解像度調整	解像度が低下した状態で印刷しています。 プリンタが自動的に解像度を下げないように、作成したデータの複雑さを減らしてください。

インタラクティブヘルプ

インタラクティブヘルプは、トラブル時の解決方法をアニメーションでご覧いただけるソフトウェアです。プリンタドライバをインストールすると、インタラクティブ ヘルプが自動でインストールされます。

インタラクティブヘルプの使用方法

1 インタラクティブヘルプを起動します。

- Windows XP の場合
  ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Brother HL-5250DN（5240）］－［HL-5250DN（5240）インタラクティブヘルプ］の順にクリックします。
- Windows 95/98/Me/2000、Windows NT4.0 の場合
  ［スタート］メニューから［プログラム］－［Brother HL-5250DN（5240）］－［HL-5250DN（5240）インタラクティブヘルプ］の順にクリックします。
- Mac OS の場合
  ①CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
  ②デスクトップ上の［HL-5200］をダブルクリックします。
  ③［Documentation］フォルダをダブルクリックします。
  ④［InteractiveHelp］をダブルクリックします。

2 ご覧になりたい項目をクリックします。

解決方法がアニメーションでご覧いただけます。

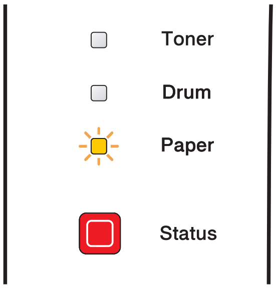
安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

紙づまりが起きたときは

紙づまりの解決方法は、インタラクティブヘルプにてご覧いただけます。
「インタラクティブヘルプ」P.5-7 を参照してください。

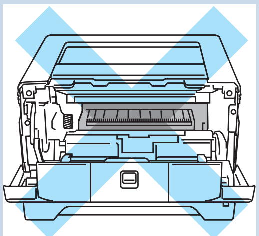
紙づまりメッセージ

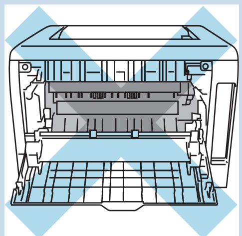
紙づまりが起きた場合、プリンタ本体の操作パネル上のランプが下記のように点滅表示します。



紙づまりの解決方法

注意 プリンタ本体を使用した直後は、プリンタ内部がたいへん高温になっています。フロントカバーまたはバックカバーを開ける際には、下図のグレーの部分には絶対に手を触れないでください。





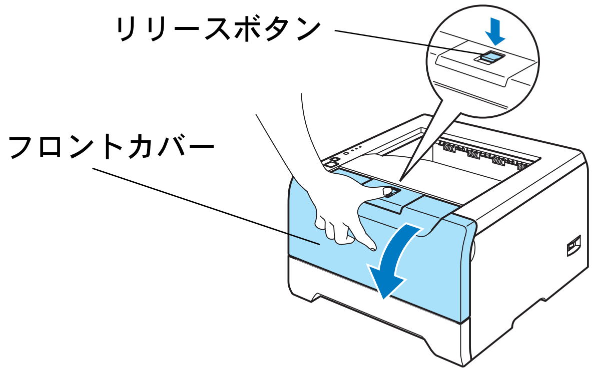
次の手順にしたがって、つまった用紙を完全に取り除き、用紙トレイを挿入してフロントカバーを閉じると、プリンタは自動的に印刷を再開します。

プリンタが自動的に印刷を再開しない場合は、(Go) を押してください。

それでも印刷を再開しない場合は、つまった用紙がすべて取り除かれているか確認し、もう一度印刷してください。

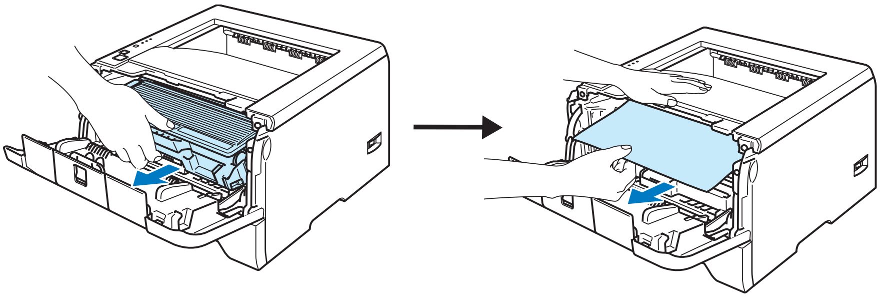
新しく用紙を足す際には、すべての用紙を用紙トレイから取り除き、まっすぐに伸ばしてください。これはプリンタが一度に複数枚の用紙を給紙することを防ぎ、紙づまりを防ぎます。

1 フロントカバーリリースボタンを押してフロントカバーを開けます。



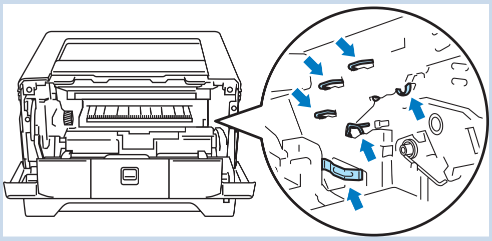
2 ドラムユニットをゆっくりと取り出します。

つまった用紙はドラムユニットと一緒に取り出せます。

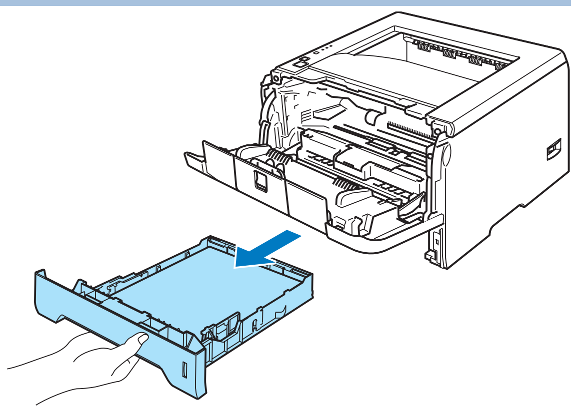


注意

静電気によってプリンタが損傷することを防ぐため、下図に示す電極には手を触れないでください。

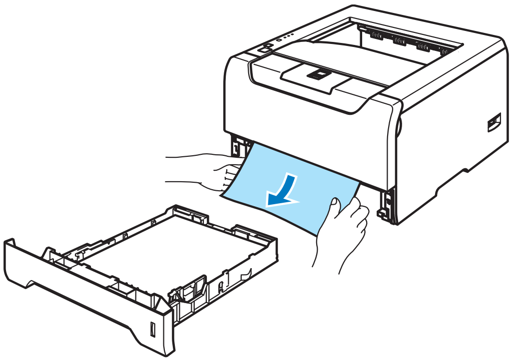


3 プリンタ本体から用紙トレイを完全に引き出します。

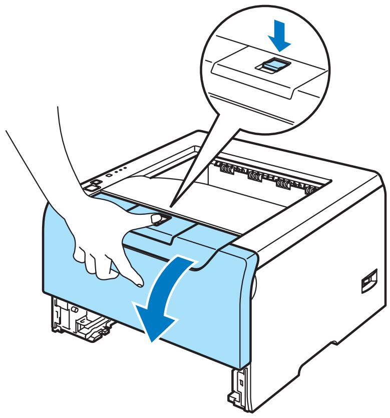


4 フロントカバーを閉めます。

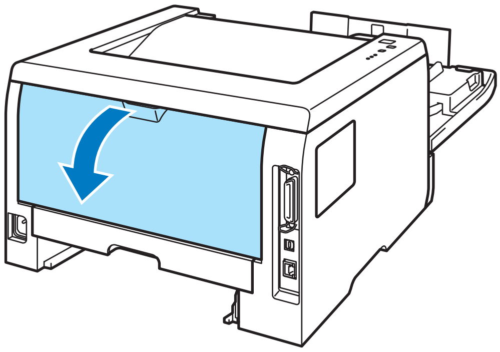
5 つまった用紙を持ち上げプリンタから引き抜きます。



6 フロントカバーを再び開けます。

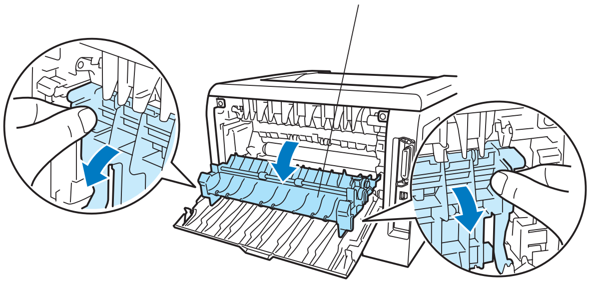


7 プリンタ本体をうしろ向きに置いてバックカバーを開けます。

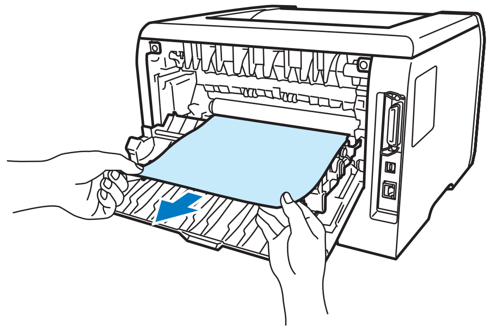


安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

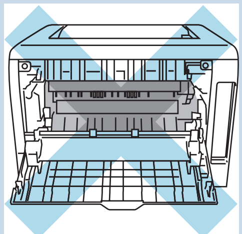
8 左右のタブを手前に引き定着器カバーを開けます。



9 定着ユニットから詰まった用紙を両手で持ち、ゆっくり引き抜いて取り除きます。

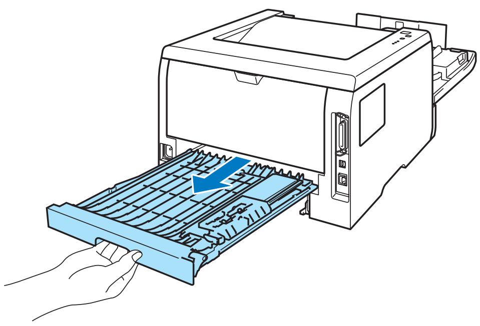


注意 プリンタを使用した直後は、プリンタ内部がたいへん高温になっています。プリンタ内部が冷めるのを待って、用紙を取り除いてください。



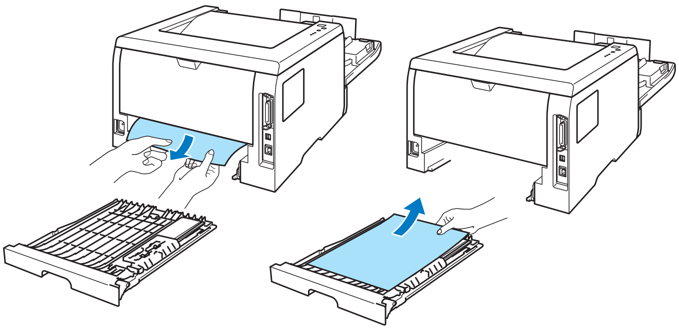
10 バックカバーをしっかりと閉じます。

11 両面印刷トレイを取り出します。



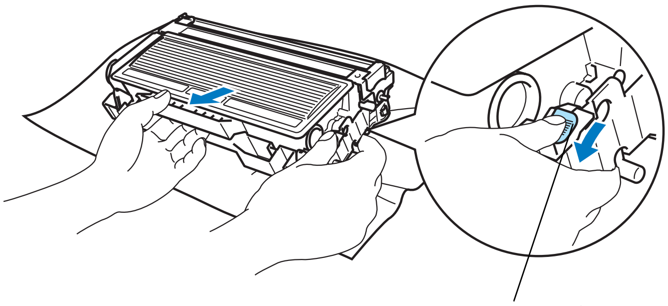
安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

12 つまった用紙をプリンタまたは両面印刷トレイからゆっくり引き抜いて取り除き、両面印刷トレイをプリンタ本体に戻します。



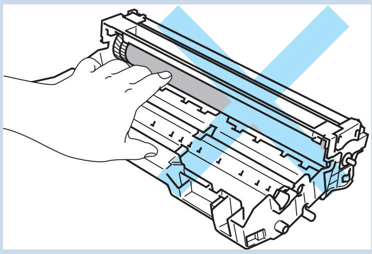
13 青色のロックレバーを押し下げながら、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外します。

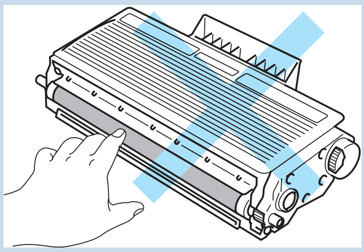
ドラムユニットの内部につまった用紙があるときは取り除いてください。



注意

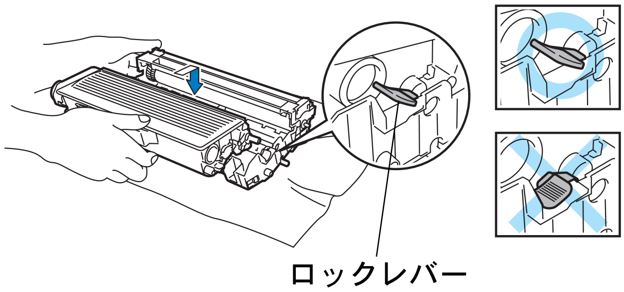
- 印刷品質の劣化を防止するため、右図のグレーの部分には触れないでください。
- トナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが手や衣服に付着した場合には、すぐにぬれた布で拭き取るか、洗い流してください。



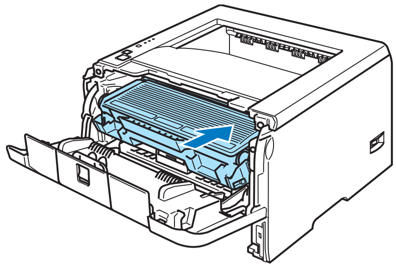


14 トナーカートリッジをドラムユニットに装着します。

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、ロックレバーが自動的に上がります。



15 プリンタにドラムユニットを取り付けます。



16 用紙トレイをプリンタ本体に戻します。

17 フロントカバーを閉じます。

Paper ランプが消灯します。

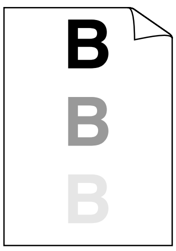
安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

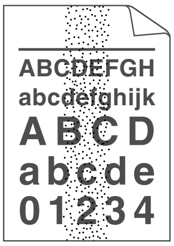
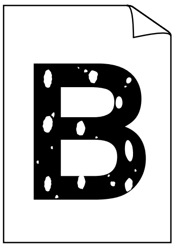
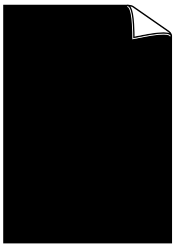
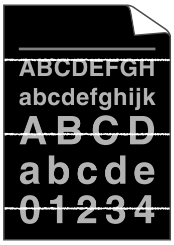
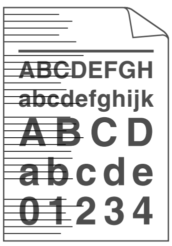
印字品質を改善するには

印刷品質に問題がある場合は、はじめにテストページを印刷します。「テストページの印刷」P.1-11 を参照してください。
印刷した内容がはっきり見えるときは、プリンタ本体には問題がない場合があります。インターフェースケーブルを確認するか、または他のパソコンから印刷を試してみてください。

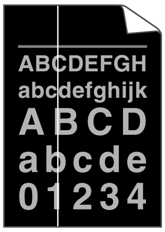
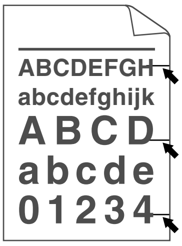
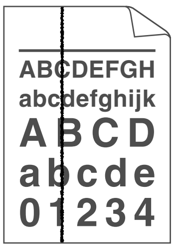
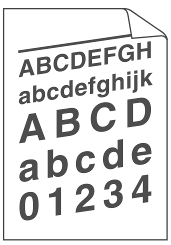
下記の表に示された印字品質の問題に対して、適切な処置を行ってください。

印字品質の改善方法一覧

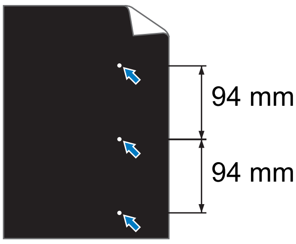
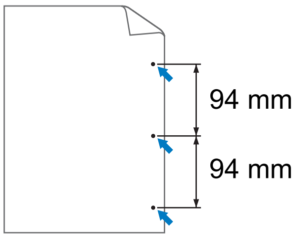
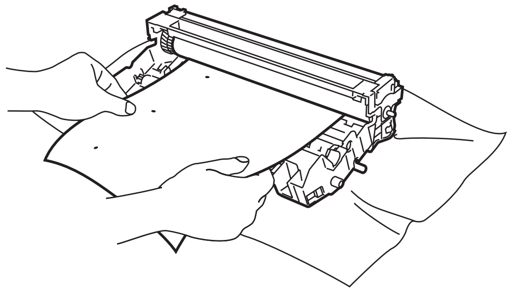
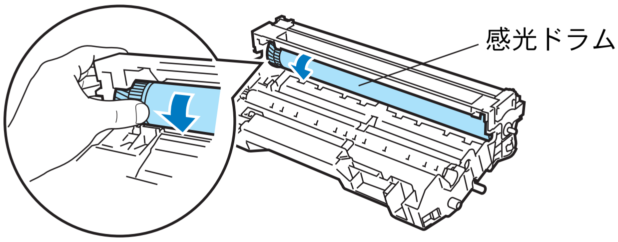
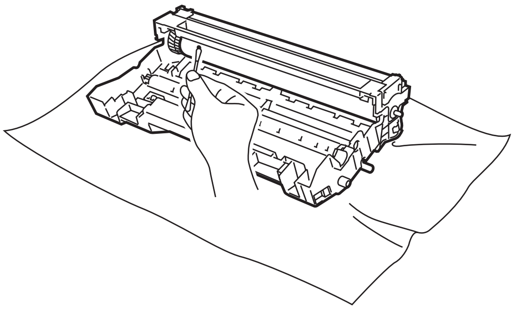
問題例	解決方法
かすれ 	• 本機の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、この問題が起きることがあります。「このような場所に置かないで」P.3 を参照してください。 • すべてのページが薄い場合には、トナー節約モードになっていることがあります。プリンタドライバの［拡張機能］タブで「トナー節約モード」P.2-11 を［オフ］にしてください。 • トナーカートリッジを新品に交換して試してみてください。「トナーカートリッジを交換する」P.4-4 を参照してください。 • ドラムユニットを新品に交換して試してみてください。「ドラムユニットを交換する」P.4-9 を参照してください。 • 乾燥した柔らかい布でスキャナガラスを拭いてください。「プリンタ内部をクリーニングする」P.4-15 を参照してください。
グレーの背景 	• ご使用の用紙が本機に適しているか確認してください。「使用できる用紙と領域」P.1-13 を参照してください。 • 本機の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、グレーの背景が入ることが多くなる場合があります。「このような場所に置かないで」P.3 を参照してください。 • トナーカートリッジを新品に交換して試してみてください。「トナーカートリッジを交換する」P.4-4 を参照してください。 • ドラムユニットを新品に交換して試してみてください。「ドラムユニットを交換する」P.4-9 を参照してください。
残像  	• ご使用の用紙が本機に適しているか確認してください。表面が粗い紙や、湿気を吸収した紙、厚紙を使うとこの問題が起きることがあります。「使用できる用紙と領域」P.1-13 を参照してください。 • プリンタドライバで適切な用紙媒体を選択しているか、確認してください。「用紙媒体」P.2-8 を参照してください。 • ドラムユニットを新品に交換して試してみてください。「ドラムユニットを交換する」P.4-9 を参照してください。 • 定着ユニットが汚れていることがあります。**お客様相談窓口**へお問い合わせください。

問題例	解決方法
トナー汚れ 	• ご使用の用紙が本機に適しているか確認してください。表面が粗い用紙を使うとこの問題が起きることがあります。「使用できる用紙と領域」P.1-13 を参照してください。 • 定着ユニットが汚れていることがあります。**お客様相談窓口**へお問い合わせください。
白い中抜け 	• ご使用の用紙が本機に適しているか確認してください。「使用できる用紙と領域」P.1-13 を参照してください。 • プリンタドライバで厚紙（ハガキ）もしくは超厚紙モードを選択するか、現在ご使用のものより薄い用紙をご使用ください。 • 本機の設置環境を確認してください。湿気が多い場所で使用すると、こうした問題が起きることがあります。「このような場所に置かないで」P.3 を参照してください。
真っ黒なページ 	• ドラムユニット内にあるコロナワイヤーを清掃することで問題が解決することがあります。青色のつまみを 2、3 回往復させてください。青色のつまみが必ず元の位置（▲）に戻してあるか確認してください。「ドラムユニットを交換する」P.4-9 を参照してください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新品のドラムユニットに交換して試してみてください。「ドラムユニットを交換する」P.4-9 を参照してください。 • 定着ユニットが汚れていることがあります。**お客様相談窓口**へお問い合わせください。
白い平行な線 	• ご使用の用紙が本機に適しているか確認してください。表面が粗い紙や厚紙を使うとこの問題が起きることがあります。「使用できる用紙と領域」P.1-13 を参照してください。 • プリンタドライバで適切な用紙媒体を選択しているか、確認してください。「用紙媒体」P.2-8 を参照してください。 • この問題はプリンタが自動的に解決することがあります。特に長期間ご使用にならなかった後は、複数ページ印字してこの問題が解消されるか試してみてください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。「ドラムユニットを交換する」P.4-9 を参照してください。
平行な線 	• プリンタ内部とドラムユニット内のコロナワイヤーを清掃してください。「コロナワイヤーをクリーニングする」P.4-17 を参照してください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットを挿入してください。「ドラムユニットを交換する」P.4-9 を参照してください。

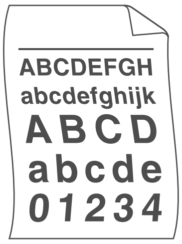
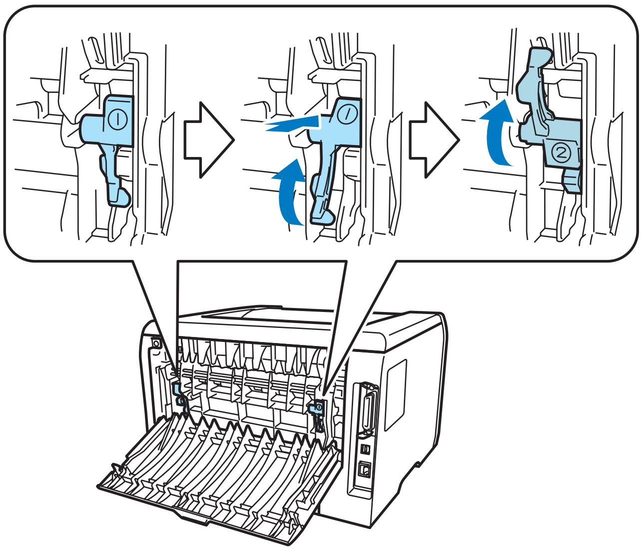
安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

問題例	解決方法
白い垂直な線  	• 破れた紙切れがプリンタ内のスキャナ窓を覆っていないか確認してください。 • 乾燥した柔らかい布でスキャナガラスを拭いてください。「プリンタ内部をクリーニングする」P.4-15 を参照してください。 • トナーカートリッジが破損していることがあります。トナーカートリッジを新品に交換して試してみてください。「トナーカートリッジを交換する」P.4-4 を参照してください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新品のドラムユニットに交換して試してみてください。「ドラムユニットを交換する」P.4-9 を参照してください。
黒い汚れが平行に繰り返し入る  トナーの飛び散りや汚れが印刷されたページ上に出る	• ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。「ドラムユニットを交換する」P.4-9 を参照してください。 • ご使用の用紙が本機に適しているか確認してください。「使用できる用紙と領域」P.1-13 を参照してください。 • ラベル紙をご使用の場合には、ラベルののりが感光ドラムに付着する事があります。ドラムユニットを清掃してください。P.5-17 の解決方法を参照してください。 • ドラム表面を傷つける恐れがありますので、クリップやホッチキスがついた用紙はご使用にならないでください。 • 開封されたドラムユニットは過度の直射日光や照明で品質が損なわれる事があります。
黒い垂直な線  印刷されたページにトナーの汚れや垂直な線がある	• ドラムユニット内のコロナワイヤーを清掃してください。「クリーニング」P.4-17 を参照してください。 • コロナワイヤーの青色のつまみが元の位置（▲）にあるか確認してください。 • ドラムが破損していることがあります。ドラムユニットを新品に交換して試してみてください。「ドラムユニットを交換する」P.4-9 を参照してください。 • トナーカートリッジが破損していることがあります。トナーカートリッジを新品に交換して試してみてください。「トナーカートリッジを交換する」P.4-4 を参照してください。 • 定着ユニットが汚れていることがあります。**お客様相談窓口**へお問い合わせください。
ページのゆがみ  	• 用紙やその他のメディアが用紙トレイに正しく挿入されているか確認してください。また、トレイ用紙ガイドが用紙の大きさに合っているか確認してください。 • トレイ用紙ガイドを正確にセットしてください。「用紙トレイから印刷する」P.2-34 を参照してください。 • 多目的トレイを使用している場合は、「多目的トレイから印刷する」P.2-37 を参照してください。 • 用紙の種類と品質を確認してください。「使用できる用紙と領域」P.1-13 を参照してください。

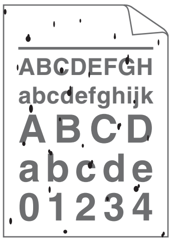
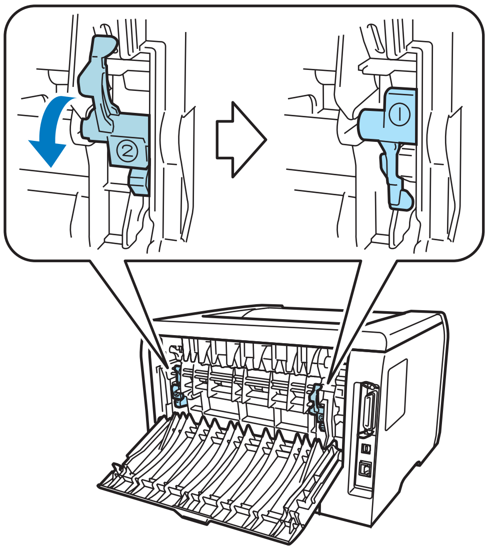
安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

問題例	解決方法
白い点  黒い文章や画像が印刷されたページに 94 ミリ周期で白い点がある 黒い点  印刷されたページに 94 ミリ周期で黒い点がある	数ページ印刷してみてもこの問題が解決されない場合は、汚れや紙粉が感光ドラムに付着していることがあります。 下記の手順にしたがってドラムを清掃してください。 ① 印字サンプルをドラムユニットの前に置き、点が出る位置を確認します。  ② ドラムユニットギアを手で回し、感光ドラム表面に汚れや付着物がついている場所を手前にもってきます。  ③ ドラム上の汚れの場所と、プリントサンプルの点の位置が一致していることが確認できたら、感光ドラムの表面を汚れや付着物がなくなるまで綿棒で拭き取ります。 
	• 感光ドラムの表面を清掃する際は、ボールペンのような先の尖ったものは使用しないでください。 • ドラムに傷がついていることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。「ドラムユニットを交換する」P.4-9 を参照してください。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

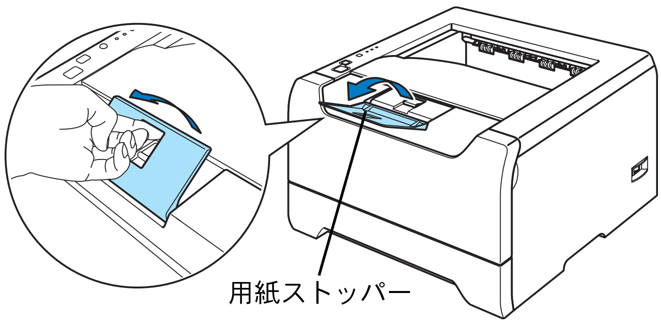
問題例	解決方法
反りまたはうねり  	• 用紙の種類と品質を確認してください。高温または多湿によって紙の反りが起きることがあります。「使用できる用紙と領域」P.1-13 を参照してください。 • プリンタを長時間使用していないと、用紙が用紙トレイの中で過度に吸湿していることがあります。トレイの中の用紙を裏返すか、用紙をさばいた後に向きを 180 度回転させてみてください。
しわまたは折り目 	• 用紙が正しく給紙されているか確認してください。「用紙トレイから印刷する」P.2-34 を参照してください。 • 用紙の種類と品質を確認してください。「使用できる用紙と領域」P.1-13 を参照してください。 • トレイの中の用紙を裏返すか、向きを 180 度回転させてみてください。
しわや折り目のある封筒 	バックカバーを開け、下記の手順通りに左右の青色のレバーを押し上げます。 • 数字①の部分を押すと、レバー部分が前方に出ます。 • そのレバーを完全に止まる所まで押し上げます（数字②の部分が見える状態になります）。 バックカバーを閉じて、印刷データをプリンタに送ります。  印刷が終了したら、バックカバーを開け、青色のレバーを元の位置に戻してください（数字①の部分が見える状態になります）。

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

問題例	解決方法
定着不良 	バックカバーを開け、左右の青色のレバーが完全に下がっているか確認してください。 青色のレバーが上がっている場合は、レバーを下げてください。 

用紙が原因のトラブル一覧

最初に、ご使用の用紙が用紙規格に合致しているか確認してください。用紙規格については、「使用できる用紙と領域」P.1-13 を参照してください。
用紙が原因で起こった下記のトラブルに対して、適切な処置を行ってください。

トラブル内容	解決方法
給紙しない	• 用紙トレイに用紙が入っている場合は、まっすぐであるか確認してください。用紙が反っているときは、印刷をする前にまっすぐに伸ばしてください。また、いったん用紙を取り出してから、もう一度そろえて用紙トレイに戻すと正常に給紙するようになる場合もあります。 • 用紙トレイの中の用紙枚数を減らしてから、もう一度試してください。 • プリンタドライバが手動給紙設定になっていないか確認してください。
多目的トレイから給紙しない	• 用紙をよくさばいてから、もう一度戻してください。 • プリンタドライバの給紙方法で MP トレイが選択されているか確認してください。
封筒を給紙しない	多目的トレイから封筒の給紙ができます。使用しているアプリケーションが印字する封筒の大きさに設定されていることを確認してください。使用しているアプリケーションソフトのページ設定、または文章設定メニューで設定することができます。使用しているアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
紙づまりが起きる	つまった用紙を取り除きます。「紙づまりが起きたときは」 P.5-8 をご参照いただくか、「インタラクティブヘルプ」 P.5-7 を参照してください。
普通紙に印刷時、しわができる	プリンタドライバの基本設定タブの「用紙媒体」P.2-8 をより薄いものに変更してください。
長いサイズの用紙を印刷すると、上面排紙トレイから落ちる	上面排紙トレイ用紙ストッパーを開いてください。 

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

正しく印刷できないトラブル一覧

下記の表に示されたような正しく印刷できないトラブルに対して、適切な処置を行ってください。

トラブル内容	解決方法
印字はするが、パソコン画面上で表示されているものとは違っている	• プリンタケーブルが長すぎないか確認してください。長さが 2 メートル以内のものをおすすめします。 • プリンタケーブルが破損または故障していないか確認してください。 • インターフェース切り替え器をご使用の場合は、取り外して直接プリンタと接続して試してみてください。 • 正しいプリンタドライバが「通常使うプリンタに設定」として設定されているか確認してください。 • その他の装置すべてを取り除き、プリンタのみをポートにつないでください。 • ステータスモニタを OFF にしてください。「ステータスモニタ」P.2-22 を参照してください。
すべての文章を印刷することができない。	• (Go) を押して、プリンタ内に残っているデータを印刷してください。プリンタ内に残っているデータを消去したいときは、「印刷の中止」P.1-10 を参照してください。 • 解像度を下げるか、数ページに分けて印刷してください。 • 市販の DIMM メモリでプリンタのメモリを増やしてください。「メモリ（DIMM）を増設する」P.3-4 を参照してください。 • プリンタドライバのページプロテクトの設定を変更してください。「ページプロテクト」P.2-26 を参照してください。
すべての文章を印刷することができない。" メモリフル " のエラーメッセージが印刷される	• (Go) を押して、プリンタ内に残っているデータを印刷してください。プリンタ内に残っているデータを消去したいときは、「印刷の中止」P.1-10 を参照してください。 • 市販の DIMM メモリでプリンタのメモリを増やしてください。「メモリ（DIMM）を増設する」P.3-4 を参照してください。 • 解像度を下げるか、数ページに分けて印刷してください。
パソコン画面上ではヘッダーやフッターが出てくるが、印刷ページには出てこない	ヘッダーまたはフッターの印刷位置を調整してください。
印刷できない	• 電源コードが接続されているかを確認してください。 • 正しいプリンタドライバを使用しているかを確認してください。

ネットワークに関するトラブル

ネットワーク設定ガイドの「第 11 章　トラブルシューティング」を参照してください。

Macintosh 用トラブル一覧

問題	解決方法
プリンタがセレクタ（Mac OS 9.1 ～ 9.2）、プリントセンター（Mac OS × 10.2）またはプリンタ設定ユーティリティ（Mac OS X 10.3 以降）に表示されない	• プリンタに電源が入っているか確認してください。 • USB インターフェースが正しく接続されているか確認してください。 • プリンタドライバが正しくインストールされているか確認してください。
使用しているアプリケーションソフトから印刷できない	• 供給されている Macintosh のプリンタドライバがシステムフォルダに正しくインストールされているか、セレクタ、プリントセンターまたはプリンタ設定ユーティリティで選択されているかを確認してください。

その他のトラブル

問題	解決方法
印字ができない "There was an error writing to LPT1:（or BRUSB）for the printer." のエラーメッセージがパソコンの画面上に表示される	• プリンタケーブルが破損していないか確認してください。 • インターフェース切り替え器をご使用の場合は、正しいプリンタが選択されているか確認してください。
エラーが発生し正しく印刷できない 印刷を止めたい	• パソコンから印刷データを削除します。 ① Windows XP の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックします。 Windows 95/98/Me/2000、Windows NT 4.0 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。 ②「Brother HL-5250DN（5240）series」のアイコンをダブルクリックします。 ③ 削除したい印刷データを選択し、［ドキュメント］メニューから［キャンセル］をクリックします。 • プリンタ内に残っているデータを消去したいときは、「印刷の中止」P.1-10 を参照してください。
印刷すると照明がちらついたりパソコンのディスプレイ表示が不安定になる	• コンセントの容量が不足しているとこのような現象が起きる場合があります。プリンタの電源を別系統のコンセントに接続してください。

第 6 章

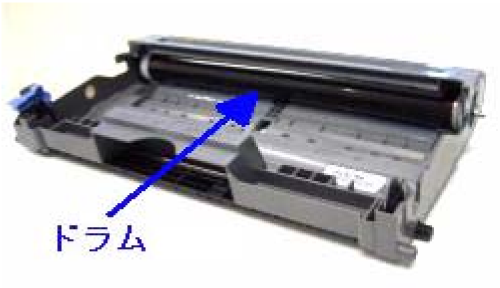
付録

プリンタと印字のしくみ

■ レーザープリンタの印字のしくみ

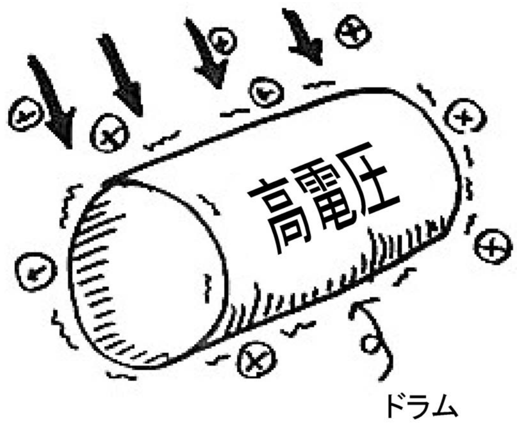
レーザープリンタは、ドラムという黒い筒の上に静電気の力でトナー（粉）を載せ、そのトナーを紙に押し付けることで印刷します。
レーザープリンタの印刷は次の 5 つのプロセスで行われます。

帯電 ⇨ 露光 ⇨ 現像 ⇨ 転写 ⇨ 定着



1. 帯電

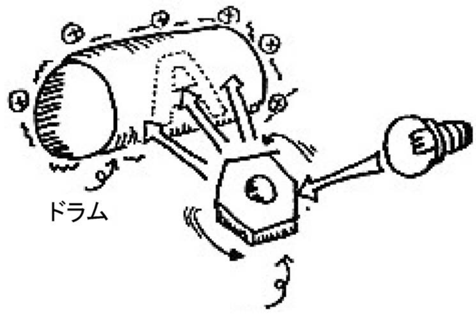
ドラムの上にトナーを載せるため、ドラム全体に静電気を帯びさせます。これを「帯電」と呼びます。この時、ドラムは数百ボルトになります。



2. 露光

帯電したドラムに向かって、絵や文字になる部分だけにレーザービーム（光）を照射します。これを「露光」と呼びます。（このプロセスでレーザービームを使用するため、「レーザープリンタ」と呼ばれます。）レーザービームを照射するときは、ポリゴンミラーと呼ばれる六角形の鏡を使用します。

ポリゴンミラーが高速回転することで、光源から放たれたレーザービームを様々な方向へ照射することができます。ポリゴンミラーの働きによって、HL-5240/5250DN のような小さなプリンタ内でもドラムの左右方向へレーザービームを照射することができます。



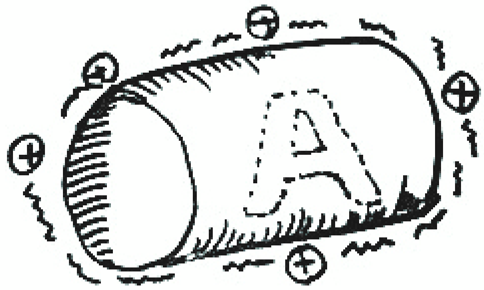
メモ

レーザープリンタでは、ポリゴンミラーの他のレンズも使用しています。このためレンズやミラーをいくつも使用しているカメラなどと同様に、光学技術を駆使した精密機械であるといえます。

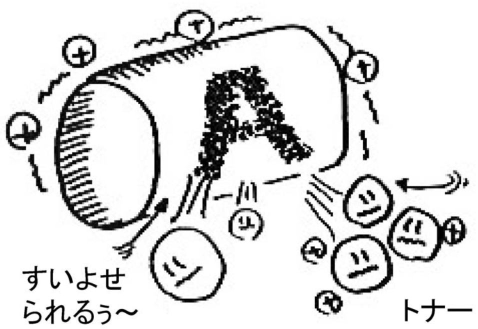
安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

3. 現像

ドラムにレーザービームを照射すると、レーザービームが照射された部分の電圧が下がります。（絵や文字になる部分だけ電圧が低く、それ以外の部分の電圧が高い状態になります。）

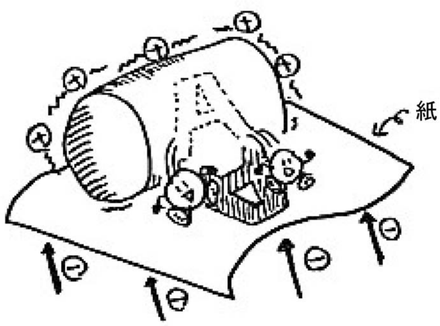


このドラムに、帯電させたトナーを近づけると、ドラム上の電圧の低い部分（絵や文字になる部分）にトナーが移動します。これを「現像」と呼びます。（実際には、トナーが載っているローラーとドラムが接触していて、ローラーとドラムの電位差によりトナーが移動します。）



4. 転写

ドラムに移動したトナーを用紙に移し変えます。ドラムに帯電させておいた静電気とは逆の静電気を用紙に帯電させると、下図のように静電気の力でドラムから用紙へとトナーが吸い寄せられていきます。これを「転写」と呼びます。（実際には、転写させるためのローラーがあり、用紙の裏から電気的な力を与えて転写させます。）



5. 定着

用紙にトナーが移動しましたがトナーはまだ用紙に「載っているだけ」の状態です。このトナーが用紙から落ちないように、圧力と熱をかけて用紙に密着させます。これを「定着」と呼びます。
ちょうどアイロンがけをするようなイメージです。これで印刷が完了します。

> **メモ** レーザープリンタから印刷したての用紙が「温かい」のは、定着の際にかける熱のためです。

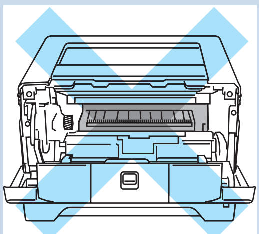
（実際にはローラーで圧力と熱を加えています。）

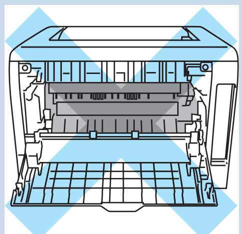
このように、静電気の力を使って、「帯電」→「露光」→「現像」→「転写」→「定着」の作業を繰り返すことで、レーザープリンタは印刷を行っているのです。

豆情報（1）

ブラザーのレーザープリンタは、トナーカートリッジとドラムユニットが分離しているのが特徴です。HL-5240/5250DN のトナーカートリッジは標準約 3,500 枚、大容量約 7,000 枚、ドラムユニットは約 25,000 枚を印刷することが可能ですが、トナーがなくなった時にはトナーカートリッジだけを交換していただければ引き続きご使用いただけます。環境に優しいだけでなく、経済的です。

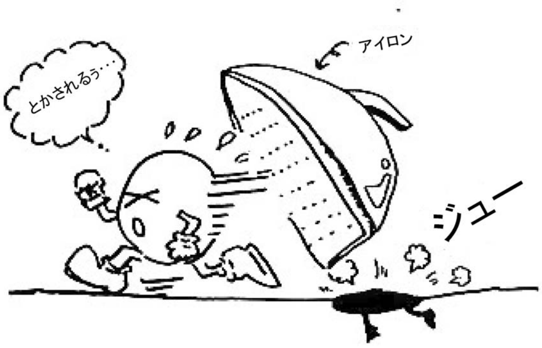
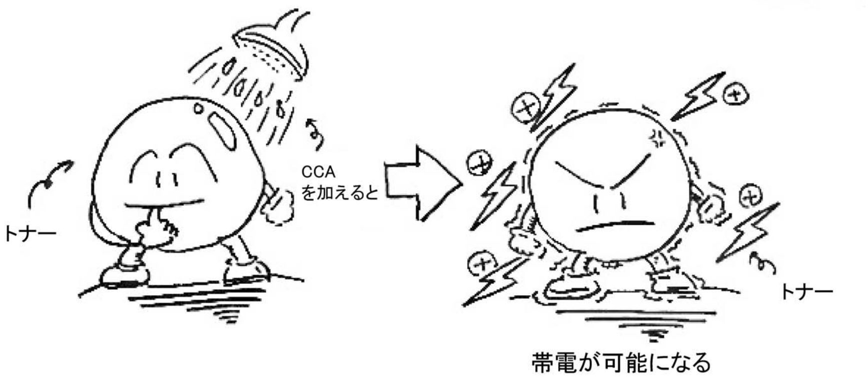
> **注意** 消耗品の交換や、プリンタの清掃をする場合は、下記の点に注意してください。
> - トナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが手や衣服に付着した場合には、すぐにぬれた布で拭き取るか、洗い流してください。
> - プリンタを使用した直後は、プリンタ内部がたいへん高温になっています。フロントカバーまたはバックカバーを開ける際には、下図のグレーの部分には絶対に手を触れないでください。





■ トナーとは

トナーとは、レーザープリンタで絵や文字を用紙上に再現するための粉のことを言います。インクジェットプリンタのインクと同じ役割をしています。トナーは大きく分けて、「高分子樹脂」、「荷電制御剤」、「ワックス」、「顔料」という 4 つの成分からできています。

<table>
<tr><td>高分子樹脂
（プラスチック）</td><td>レーザープリンタでは、印刷する時、トナーに熱を加えてトナーを用紙に定着させています。そのため、熱を加えることで溶ける性質を持った高分子樹脂がトナーには含まれています。

</td></tr>
<tr><td>荷電制御剤
（CCA ※）</td><td>レーザープリンタでは、トナーを帯電させて、トナーをローラーからドラム、そして用紙へと移動させています。トナーが帯電できるように荷電制御剤が含まれています。

</td></tr>
<tr><td>ワックス</td><td>ローラーにトナーがくっつかないようにするために、ワックスが含まれています。</td></tr>
<tr><td>顔料</td><td>トナーに色をつけるために、黒の顔料が含まれています。</td></tr>
</table>

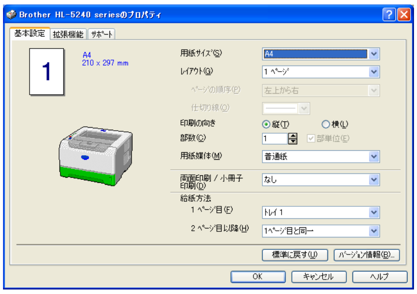
※ Charge Control Agent

豆情報（2）

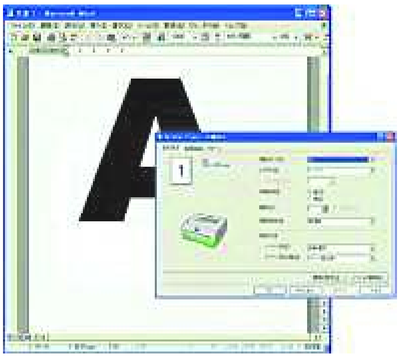
各社のレーザープリンタのしくみは基本的には同じですが、帯電させる極性（プラスかマイナスか）や、かける電圧などが各社で異なります。それぞれのプリンタに合うトナー（純正トナー）を各社が独自で開発しています。よりきれいに印刷し、長い間ご愛用いただくためにも、メーカー各社の推奨する消耗品（トナーなど）をお使いいただくことをおすすめしています。

■プリンタドライバとは

プリンタドライバとは、プリンタを制御するためのソフトウェアです。つまり、パソコンとプリンタの間を取り持ってプリンタを簡単に使えるようにしているのがプリンタドライバです。



例えば、ワープロソフトを使って「A」という文字を印刷する時は、通常次のような手順で行います。



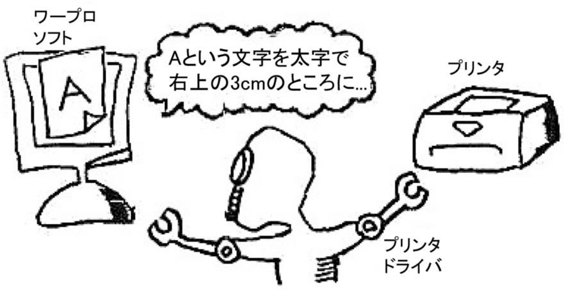
1. メニューから「印刷」を選ぶと、プリンタドライバの設定画面が表示されます。
2. 印刷枚数を選んだり、複数ページを 1 ページにまとめたりするため、設定をします。
3. 「OK」ボタンを押します。

あたり前の手順に見えますが「OK」ボタンが押されたあと、実はプリンタドライバは次のような作業をしています。

ステップ 1

まず・「A」と言う文字が書かれていること
・文字の大きさ
・フォントの種類
・文字の配置

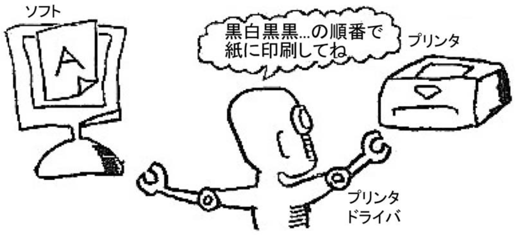
など印刷に必要な情報をワープロソフトから聞き出します。



安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

ステップ 2

次に「ステップ 1」で聞き出した印刷に必要な情報をプリンタがわかる言葉に翻訳してプリンタに伝えます。



4. プリンタが印刷を開始します。

このようにして、プリンタドライバは言わば、パソコンとプリンタの通訳をしながら、誰でもが簡単にプリンタを使えるようにする役割を果たしているわけです。

豆情報（3）

ワープロソフトなどのソフトウェアとプリンタドライバの間で使われる言葉のルールは決められています。しかし、ソフトウェアがバージョンアップされたり、新しいソフトウェアが登場したりすると、今まで使っていなかった新しい言葉が使われるようになり、プリンタドライバが通訳できなくなる、ということが起こり得ます。その場合ブラザーではその都度プリンタドライバをバージョンアップし、ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードしていただけるようにしています。どうぞご利用ください。

プリンタ仕様

エンジン

項目		内容	
		HL-5240	HL-5250DN
プリント方式		電子写真方式	
印字スピード※1		最速 24ppm（A4 サイズに印刷時）	
ファーストプリントタイム（レディ時）※2		10 秒以下	
解像度	Windows / Macintosh	1200dpi / HQ1200 dpi / 600 dpi / 300 dpi	
	Dos	600 dpi	
	Linux	600 dpi / 300 dpi	

※1　標準用紙トレイ及びオプション用紙トレイ（ただしトレイ 2 のみ）から印刷した場合
※2　プリンタ始動から排紙完了までの時間

コントローラ

項目		内容	
		HL-5240	HL-5250DN
CPU		266MHz	
メモリ	標準	16 MB	32 MB
	オプション	合計 528 MB まで増設可能（DIMM スロット ｘ1）	合計 544 MB まで増設可能（DIMM スロット ｘ1）
インターフェース	標準	Hi-Speed USB 2.0※3、IEEE 1284 準拠（パラレル）	Hi-Speed USB 2.0※3、IEEE 1284 準拠（パラレル）10/100BASE-TX Ethernet
エミュレーション		PCL6、Epson FX-850	
プリンタフォント		66 種のスケーラブルフォント（欧文用） 12 種のビットマップフォント（欧文用） 11 種のバーコード※4	

※3　Windows 95 / NT 4.0 はサポートしていません。
※4　コード 39、Interleaved 2 of 5、EAN-8、EAN-13、UPC-A、UPC-E、EAN-128、Codabar、FIM（US-PosrNet）、ISBN、コード 128

ソフトウェア

項目		内容	
		HL-5240	HL-5250DN
プリンタドライバ	Windows	Windows PCL ドライバ（Windows 95/98/Me/2000/XP※5、Windows NT 4.0）	
	Macintosh	ブラザーレーザードライバ（Mac OS 9.1/9.2、Mac OS X 10.2.4 以上）	
	Linux	LPR ドライバ（Linux※6）	
		CUPS ドライバ（Linux※6）	
ユーティリティドライバ		インタラクティブヘルプ※7	

※5　Windows XP Professional x64 Edition 用のプリンタドライバは http://solutions.brother.co.jp よりダウンロードしてください。
※6　Linux 用のプリンタドライバは http://solutions.brother.co.jp よりダウンロードしてください。
※7　問題の解決にアニメーションヘルプを採用

操作パネル

項目	内容	
	HL-5240	HL-5250DN
ランプ	4 つ（Toner / Drum / Paper / Status）	
ボタン	2 つ（Go / Job Cancel）	

用紙枚数

項目		内容	
		HL-5240	HL-5250DN
給紙枚数※8	多目的トレイ	50 枚	
	用紙トレイ（標準）	250 枚	
	用紙トレイ（オプション）	250 枚	
排紙	上面	150 枚	
両面印刷		手動	手動、自動

※8　80 g/m^2 用紙で計算

安全
プリンタ準備
印刷
オプション
メンテナンス
困ったときは
付録
索引

用紙仕様

項目		内容	
		HL-5240	HL-5250DN
用紙の種類	多目的トレイ	普通紙、普通紙（厚め）、ボンド紙、再生紙、封筒、官製はがき※10、ラベル紙、OHP フィルム※10、厚紙	
	用紙トレイ	普通紙、普通紙（厚め）、ボンド紙、再生紙、官製はがき※9、OHP フィルム※10	
	ローワートレイユニット（オプション）（LT-5300）	普通紙、普通紙（厚め）、ボンド紙、再生紙	
	自動両面印刷時	―	普通紙、再生紙
用紙坪量	多目的トレイ	60 ～ 161 g/m^2	
	用紙トレイ	60 ～ 105 g/m^2	
	ローワートレイユニット（オプション）（LT-5300）	60 ～ 105 g/m^2	
	自動両面印刷時	―	60 ～ 105 g/m^2
対応用紙	多目的トレイ	幅　：69.9 ～ 215.9mm　長さ：116 ～ 406.4mm	
	用紙トレイ	A4、レター、B5（JIS）、A5、A6、はがき	
	ローワートレイユニット（オプション）（LT-5300）	A4、レター、B5（JIS）、A5	
	自動両面印刷時	―	A4

※ 9　給紙枚数は 30 枚まで可能
※ 10 給紙枚数は 10 枚まで可能

消耗品

項目		内容	
		HL-5240	HL-5250DN
トナーカートリッジ	TN-35J	標準	約 3,500 枚（A4 を印刷密度 5 %で印刷した場合）※11
	TN-37J	大容量	約 7,000 枚（A4 を印刷密度 5 %で印刷した場合）※11
ドラムユニット	DR-31J	約 25,000 枚（A4）※11	

※ 11 印刷面積比や印刷ジョブなどによって実際の印刷枚数と異なります。

外形寸法 / 重量

項目	内容	
	HL-5240	HL-5250DN
外形寸法	371（W）× 384（D）× 246（H）mm	
重量	約 8.3 kg（ドラムユニット／トナーカートリッジを含まず） 約 9.5 kg（ドラムユニット／トナーカートリッジを含む）	約 8.6 kg（ドラムユニット／トナーカートリッジを含まず） 約 9.8 kg（ドラムユニット／トナーカートリッジを含む）

その他

項目			内容	
			HL-5240	HL-5250DN
電源電圧			AC 100V 50/60Hz	
消費電力※12		印刷時（平均）	590 W 以下（25 ℃）	
		ピーク時（平均）	920 W 以下（25 ℃）	
		スタンバイ時（平均）	75 W 以下（25 ℃）	
		スリープ時（平均）	8 W 以下	9 W 以下
		オフ時	1 W 以下	
稼動音	音響パワーレベル	印刷時	LWad 6.6 Bell (A)	
		スタンバイ時	LWad 4.8 Bell (A)	
	音圧レベル	印刷時	LpAm 53dB (A) 以下	
		スタンバイ時	LpAm 35dB (A) 以下	
省エネ機能		パワーセーブ	有	
		トナーセーブ※13	有	
装置寿命			20 万枚または 5 年間	

※ 12 電源スイッチがオフでも電源プラグがコンセントに接続されているときは、1 W 以下の電力が消費されます。消費電力を 0 W にするためには、電源スイッチでプリンタ本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

※ 13 写真やグレイスケールイメージの印刷にトナーセーブの利用はお勧めできません。

用語集

あ

● アイコン
パソコンの画面上で、ファイル、フォルダ、またはプログラムなどを示す絵文字です。

● アプリケーションソフトウェア
ワープロや表計算など、ユーザーが直接触って操作するソフトウェアです。

● インターフェース
パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

● ウィザード
Windows 95/98/Me などで、設定作業を半自動化してくれる機能です。

● オプション機能
標準仕様に対し、お客様の希望に応じて追加できる機能です。

た

● タスクトレイ
パソコンの画面上にあるプログラムの起動やフォルダの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● デバイス
ハードディスクやプリンタのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。

は

● パラレルケーブル
複数の信号線をまとめてあるケーブルで同時に数ビットまとめてデータを送ることができます。パソコンと本機を接続します。

● プリンタケーブル
本機とパソコンを接続するケーブルです。

● プリンタドライバ
アプリケーションソフトのコマンドをプリンタで使用されるコマンドに変換するソフトウェアです。

ら

● レーザープリンタ
レーザーを使って文字や画像を印刷用のドラムに照射し、トナーを用紙に定着させるタイプのプリンタです。高解像度、高品質、高速、静音といった特長を持っています。

数字

● 2 IN1
2 枚の原稿を縮小し、1 枚の用紙に印刷する機能です。本機ではレイアウト印刷機能で指定します。

● 4 IN1
4 枚の原稿を縮小し、1 枚の用紙に印刷する機能です。本機ではレイアウト印刷機能で指定します。

A to Z

● dpi
Dot Per Inch の略で、1 インチ (2.54cm) 幅に印字できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● Linux
UNIX 互換の OS で、Linus Torvalds が開発し、ユーザーによる改良がされている OS です。

● OS
Operating System（オペレーティングシステム）の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。

● PC/AT 互換機
IBM 社が開発したパーソナルコンピュータ（IBM.PC/AT）の互換パソコンに付いた名称です。日本では DOS/V パソコンとも言われます。

● USB
Universal Serial Bus（ユニバーサルシリアルバス）の略で、ハブを経由して最大 127 台までの機器をツリー状に接続できるインターフェース仕様です。機器の接続を自動的に認識するプラグアンドプレイ機能や、パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● Windows 95/98/Me/2000/XP
Microsoft 社が開発した OS で、それぞれ 95 年、98 年、Me/2000 は 00 年、XP は 01 年に発売されました。

● Windows NT
Microsoft 社が開発したサーバーワークステーション用 OS です。

アフターサービスのご案内

お客様のスタイルに合わせたサポート

サポートサイト
（ブラザーソリューションセンター）

よくあるご質問と解決法（Q&A）の閲覧や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル（電子版）のダウンロードなど各種サービス情報を提供しています。

サポート ブラザー　検 索

http://solutions.brother.co.jp/

オンラインユーザー登録：https://regist.brother.jp/

携帯電話向けサポートサイト
（ブラザーモバイルサイト）

携帯電話からでも簡単なサポート情報を見ることができます。

http://m.brother.co.jp/support/

ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）

® **0120-590-382**

受付時間：月～金 9:00 ～ 20:00/ 土 9:00 ～ 17:00
日曜日・祝日・弊社指定休日を除きます。
※ブラザーコールセンターはブラザー販売株式会社が運営しています。

安心と信頼の修理サービス

無償　ブラザーサービスエクスプレス

SERVICE EXPRESS ブラザーサービスエクスプレス　プリンタ　1 年間無償保障

製品ご購入後 1 年間無償保証いたします。※保証期間後の修理は発生の都度有償対応となります。

有償　サービスパック 3•4•5 年

商品ご購入と同時にご購入 / ご契約して頂けるサービスメニューです。
ご購入日から 3・4・5 年の長期保守を割安にご購入いただけます。

有償　サービスパック 1 年

商品ご購入後いつでもご契約頂ける 1 年単位のサービスメニューです。

※ 各サービスパックには、技術料 / 部品代が含まれます。
※ 出張修理は原則、コール受付の翌営業日にエンジニアが設置先へ訪問し修理対応いたします。
出張修理契約には、出張料が含まれております。
※ サービスパック 1 年は、ご購入後 4 年以内かつ当社基準に適合した製品である事が条件になります。

各定額保守サービスの内容、該当機種、料金などの詳細は下記窓口へお問合せください。
TEL：052-824-3253
http://www.brother.co.jp/product/support_info/s-pack/index.htm

トナーカートリッジ・ドラムユニットは当社指定品をご使用ください。当社指定以外の品物をご使用いただくと、故障の原因となる可能性があります。純正品のトナーカートリッジ・ドラムユニットをご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外で使用されている電源が本製品に適切ではない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

This machine is made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because the power requirements of your printer may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期限は製造打ち切り後 5 年です。（印刷物は 2 年です）

ご注文シート

- 消耗品はお近くの家電量販店でも取扱いがございますが、弊社にてインターネット、電話、FAXによるご注文も承っております。
- FAXにてご注文される場合は下記ご注文シートにご記入の上、お申し込みください。
- 配送料は、お買い上げ金額の合計が3,000円以上の場合は全国無料です。
- 3,000円未満の場合は350円の配送料を頂きます。(代引き手数料は全国一律無料)
- 納期については土日祝日長期休暇をはさむ場合はその日数が下記に加算されます。
- 配送地域は日本国内に限らせて頂きます。

＜代引き＞ .... ご注文後２～３営業日後の商品発送

※手数料は弊社負担です。

＜銀行前振込み＞........... ご入金確認後２～３営業日後の商品発送

※代金は先払いとなります。(銀行に備え付けの振込用紙等からお振り込みください。)
※振込手数料はお客様負担となります。

＜クレジットカード＞........ カード番号確認後２～３営業日後の商品発送

※カード名義人様のみのお申し込みとし、カード登録の住所のみへの配送とさせて頂きます。

【ご注文先】

ブラザー販売(株)ダイレクトクラブ
インターネット :http://direct.brother.co.jp/shop/
携帯サイト :右の二次元コードにアクセス
FAX :052-825-0311
® :0120-118-825 土･日･祝日、弊社長期休暇を除く 9:00～12:00、 13:00～17:00

http://direct.brother.co.jp/

振込先 口座名義:ブラザー販売株式会社 ダイレクトクラブ
三井住友銀行 上前津(カミマエツ゛)支店 普通6428357
ゆうちょ銀行 振替口座番号 00860-1-27600

お客様ご住所 〒＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

お名前＿＿＿＿＿＿＿＿ TEL＿＿＿＿＿＿＿＿ FAX＿＿＿＿＿＿＿＿

お支払い方法 代引き ・ カード ・ 銀行前振込

カード種類 ①VISA ②JCB ③UC ④DINERS ⑤CF ⑥Master ⑦JACCS

カードNo.＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

カード名義人名＿＿＿＿＿＿＿＿ 有効期限＿＿＿＿年＿＿月＿＿

HL-5240/5250DN

商品名	型番	単価（税込）	ご注文数	金額
トナーカートリッジ	TN-35J	8,562 円		
	TN-37J	14,700 円		
ドラムユニット	DR-31J	26,250 円		
ローワートレイユニット	LT-5300	26,250 円		
			合計	

※ 配送料および消費税は変更の可能性があります。
（消費税：2007 年 2 月現在）

索　引

へ

ほ

ま

め

よ

ら

り

れ